

一般社団法人 尾道青年会議所
2019年度 第12回 理事会



日 時：2019年12月 5日(木) 19:00 ~
場 所：尾道国際ホテル

第12回 理事会

資料一覧

[議事次第]

1. 第12回 理事会

[理事長報告]

[事務局連絡]

[資料]

1. 会員拡大の調査・研究・実践 事業報告 (案)	1-1 ~ 3
2. 会員拡大の調査・研究・実践 事業報告 (案) 決算 (案)	2-1 ~ 27
3. 災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践 事業報告 (案) 決算 (案)	3-1 ~ 13
4. 11月例会行事 事業報告 (案) 決算 (案)	4-1 ~ 11
5. 新入会員研修の調査・研究・実践 事業報告 (案) 決算 (案)	5-1 ~ 11
6. あるべき姿探求事業の調査・研究・実践 事業計画 (案) 予算 (案)	6-1 ~ 21
7. 卒業例会行事 事業計画 (案) 予算 (案)	7-1 ~ 15
8. 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 役員承認	8-1 ~ 7
9. 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 委員会事業計画 (案) 予算 (案)	9-1 ~ 6
10. 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 一般収支予算 (案)	10-1 ~ 6
11. 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 特別会員への入会 (案)	11-1 ~ 2
12. 例会・総会の設営及び運営 事業計画 (案)	12-1 ~ 3
13. 新年宴会 事業計画 (案)	13-1 ~ 4

一般社団法人 尾道青年会議所

2019年度 第12回 理事会

日時：2019年 12月 5日（木）

19:00～

場所：尾道国際ホテル

次 第

1. 開 会
2. 点 鐘
3. JCIクリード唱和
4. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和
5. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
6. 出席者の確認
7. 配付資料の確認
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名
9. 議題の確認
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 理事長報告
13. 委員会報告
14. 審議事項
 - 第 1号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業報告（案）に関する件
 - 第 2号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 3号議案 災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 4号議案 11月例会行事 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 5号議案 新入会員研修の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 6号議案 あるべき姿探求事業の調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 7号議案 卒業例会行事 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 8号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 役員承認に関する件
 - 第 9号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 委員会事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第10号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 一般収支予算（案）に関する件
 - 第11号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 特別会員への入会（案）に関する件
 - 第12号議案 例会・総会の設営及び運営 事業計画（案）に関する件
 - 第13号議案 新年宴会 事業計画（案）に関する件

第14号議案 その他

15. 協議事項

第1号議案 その他

16. 報告依頼事項

第1号議案 その他

17. 連絡事項

18. 監事講評

19. 次回開催日の確認

20. 点 鐘

21. 閉 会

理事長報告

11月 1日 (金)	ベッチャー祭 神輿渡御	於：尾道市内
11月 3日 (日)	ベッチャー祭 練り歩き	於：尾道市内
11月 4日 (月)	和作忌	於：西國寺
11月 5日 (火)	11月合同委員会	於：ベイタウン尾道
11月 6日 (水)	第11回理事会	於：尾道国際ホテル
11月12日 (火)	3JC引継ぎ式	於：グリーンヒルホテル
11月16日 (土)	DA!DA!DA!大脱出 ～楽しく学防祭～	於：尾道総合福祉センター
11月17日 (日)	秋季ゴルフ大会	於：尾道うずしおカントリークラブ
11月18日 (月)	11月例会	於：尾道国際ホテル
11月23日 (土)	尾道港開港850年記念事業 ～コメ フェスタ～	於：尾道駅前緑地帯
11月27日 (水)	第11回正副理事長会議	於：事務局

事務局連絡

11月30日 (土)	会員会議所会議	於：広島市内
12月 1日 (日)	クリスマス会	於：グリーンヒルホテル尾道
12月 4日 (水)	シニアクラブ	於：西山別館
12月 5日 (木)	第12回理事会	於：尾道国際ホテル
12月 6日 (金)	地区会員会議所会議	於：広島市内
12月16日 (月)	卒業例会	於：尾道国際ホテル
12月27日 (金)	第12回正副理事長会議	於：事務局
	上程締切12月20日 (金)	17:00まで

委員会報告

期間 2019年 10月25日～2019年11月24日

委員会名	日時	場 所	議 題
活気溢れる組織作り推進委員会	11月29日	大漁物産	活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践、クリスマス会
	11月5日	ベイタウン尾道	活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践、クリスマス会
	11月7日	大漁物産	活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践、クリスマス会
	11月11日	尾道ケーブルテレビ	活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践、クリスマス会
	11月13日	JA尾道	活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践、クリスマス会
	11月21日	尾道市内	活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践、クリスマス会
地域の魅力創造委員会	11月5日	ベイタウン尾道	一年の振り返り
次代を担う宝育成委員会	10月31日	浪漫珈琲	11月例会について
	11月5日	ベイタウン尾道	11月例会について
	11月11日	事務局	11月例会について
	11月19日	事務局	11月例会について
あるべき姿探求委員会	11月5日	ベイタウン尾道	あるべき姿探求事業の調査・研究・実践 しまなみ3JCへの参画
地域活性化促進委員会	10月28日	竹内建設	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月5日	ベイタウン尾道	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月6日	大吉	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月8日	竹内建設	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月11日	301号室	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月12日	301号室	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月14日	301号室	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
	11月15日	尾道市内	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践
拡大研修委員会	10月29日	尾道市内	新入会員研修について
	11月5日	ベイタウン尾道	新入会員研修について
	11月7日	参遍来	新入会員研修について
総務広報委員会	10月29日	事務局	卒業例会について
	11月5日	ベイタウン尾道	卒業例会について
	11月19日	事務局	卒業例会について

一般社団法人 尾道青年会議所 事業報告（案）

審議事項

委員会名：拡大研修委員会

委員長名：小林 暢玄

(1) 議案名

会員拡大の調査・研究・実践 事業報告（案）に関する件

(2) 事業名

会員拡大パンフレット作成

(3) 事業実施に至る背景

メンバーが拡大候補者に対し口頭のみで説明をした際、十分に尾道青年会議所の活動や魅力を伝えきれない場合があります。

(4) 事業目的（趣旨）

- a. （対外）拡大候補者が尾道青年会議所の活動をイメージしやすく、かつ魅力を感じやすくする事を目的とします。
- b. （対内）会員全員が拡大候補者に効率よく青年会議所活動を説明できるようにする事を目的とします。

(5) 実施日時 2019年 1月 1日（火） ～ 7月31日（水）

(6) 場 所 尾道市及び周辺地域

(7) 参加人員 内部 72名 外部 0名 計 72名

(8) 外部協力者

(9) 事業の目的は達したか？

本年は活動写真を多く掲載する事やメンバーの顔写真を載せ、親しみを持ちやすくする事など、各ページに狙いをもってデザイン作成を行いました。実際に拡大候補者を訪問した際に、パンフレットを活用しながら説明を行うことで、拡大候補者にとっては活動のイメージや青年会議所の全体像を大まかに把握することができ、かつ説明する側もページに沿って案内することで、スムーズな拡大活動ができたかと判断できます。よって、本事業の目的は達成できたと考えます。

(10) 実施上の問題点

候補者に、より多くの情報を伝えられる仕様にデザイン変更を行いました。文字が細かく見えにくいというご意見を頂きました。伝える情報をより精査して一目で分かるようなデザインや見出しにするよう心がけるべきでした。

(11) 次年度への引継事項

大きさやページ数に関しては適当だったと考えます。また、事務局に残っている残部数は21部でした。メンバーの手元にまだ残っている可能性が高いですが、200部の印刷数で適当か多少、減らす方向でも問題ないかと考えます。

内容として、活動紹介写真と現役メンバーの集合写真（会社名の見出し含む）、Q&Aのページは候補者の関心が高かったように感じます。逆に挨拶文などは読み飛ばされる傾向にありました。候補者の入会への不安材料となる、お金の事や時間の使い方の事などを内容としてより充実させても良いかと考えます。

また今年度の仮入会員から仮入会期間中の活動や参加頻度について知りたいとの声が多くありました。パンフレットに必ず参加して頂きたい事業の大まかな日程・内容、今までに実施された仮入会期間中の仮入会員が参加した事業の内容や写真、参加頻度などの情報、2019年度新入会員の仮入会期間中の感想等を掲載すれば、より不安が解消されると考えます。

(12) 委員長所見

今回のパンフレットは会社にデザインを発注するのではなく、写真選びから文章作成、デザイン構成などを委員会メンバーとともにに行い作成しました。作業自体は大変でしたが、そうすることで委員会メンバーの青年会議所活動への理解も深まり、拡大活動への思い入れも深まったと思います。ともに作成を行った委員会メンバー、そして写真提供や原稿依頼に快く応じて頂いたOB会員の皆様、現役会員の皆様に心から感謝いたします。

(13) 添付資料

会員拡大パンフレット記載内容と所感（参考資料）

第12回理事会 2019年12月 5日

会員拡大パンフレット記載内容と所感（参考資料）

ページ数	記載内容	内容詳細	所感
1	表紙	尾道の四季の風景写真をコラージュし、尾道市内の路地を表現しました。	初対面の相手に手作りという事を話すと、会話のとっかりの部分でスムーズに入れました。
2	理事長 挨拶	会を代表して候補者に青年会議所の説明と今年度の尾道JCが向かう方向性を挨拶の中でお話頂きました。	主には3信条の話を言う際、説明を行いました。やはり文章という事で読み飛ばされる割合も高かったように感じます。
2	現役メンバー企業一覧	現役メンバーの集合写真と企業一覧を掲載	最も効果的だった と感じます。会話が詰まった際の対応ツールの一つとしても活用できました。
3	魅力を教えます	現役会員よりJCの魅力を語っていただきました。2019年度は企業間でのビジネスネットと女性経営者の交流に焦点をあてました。	ビジネスネットに関しては候補者の関心も高かったように感じます。女性経営者の交流に関しては、現役会員の女性割合が少ないこともありますが、女性会員拡大に目をより向けるのであれば、本項目の充実は必須と考えます。
3 1-3	現役メンバーQ&A	勧誘の際によくある質問に対して現役メンバーが答える形をとりました。項目は大きく分けて、お金に関する事、時間に関する事、年齢・職種に関する事です。	特に候補者の関心が高かった項目は 経営者以外もJC会員であること でした（新宅委員の記事）。また不安材料である時間やお金に関しては、より記載内容を濃くするか、口頭でしっかりと説明できるようにしておくべきと考えます。
4	先輩から未来の会員へ	OBの皆様に入会のすすめというテーマでJCの魅力を語って頂きました。	どんな方々がご卒業されたのかという点で興味を持つ方もいらつしやいました。が、理事長挨拶と同様の理由で読み飛ばされることも多かつたように感じます。
5	尾道JCの活動方針	2010年代の活動方針を基にJCの活動理念を紹介しました	大切な項目ですが、 候補者にとって仮入会するか判断材料に、この項目を参考にしている方は少なかつた ように感じます。仮入会後のガイダンスや研修で伝えても良いかもしれません。
6・7	事業紹介	JC3信条ごとに事業を分け写真と見出しで紹介しました。また、豪雨災害時の活動を紹介しました。	非常に効果が高かつたように感じます。ただ写真選定において、こちら側が伝えたい事と候補者が求めている事が違う場合があるため、 仮入会員の意見を採用する事などの対応 が望ましいと思います。
8	入会要項	記載は例年通りです。	HPとFacebookのURLを記載していましたが、より閲覧に誘導しやすいように QRコードを記載する などの工夫があっても良いと考えます。
9	HPとfacebookの紹介		
10	お問い合わせ		

一般社団法人 尾道青年会議所 事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：拡大研修委員会

委員長名：小林 暢玄

(1) 議案名

会員拡大の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件

(2) 事業名

全会員で目指す！必達！！拡大仕事人！！

(3) 事業実施に至る背景

厳しい経済状況の中、全国的に青年会議所の会員拡大活動が難しい状況に置かれています。それは尾道においても同様です。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）尾道青年会議所の全会員が拡大活動に対して当事者意識を持ちつつ、意欲的に、効果的に拡大活動が行える環境を作る事を目的とします。

(5) 実施日時 2018年12月15日（土）～2019年11月 5日（火）

(6) 場 所 尾道市内・尾道国際ホテル・ベイタウン尾道

(7) 参加人員 内部 72 名 外部 名 計 72 名

(8) 外部協力者

(9) 事業の目的は達したか？

本年は「拡大目標数の明確化」、「拡大活動情報の全体共有」、「候補者へのアプローチ方法の検討と調整」、「拡大活動へのモチベーション維持と向上」を4本柱として拡大活動を行いました。拡大活動の見える化を推進し、全メンバーが拡大活動の状況を把握し、候補者にとってよりの確なアプローチ方法を検討し、目標に向かって邁進できたと考えます。結果として苦しい拡大状況の中、最終的には8名の新入会員をお迎えすることも出来ました。よって本事業の目的は達成できたと考えます。

(10) 実施上の問題点

今年度、実施した各取り組みについては後述の参考資料にて詳しくご報告させていただきますが、今回、一番問題だと感じた事は、数人のメンバーに拡大活動について尋ねたところ、自信をもってJCの勧誘ができないと話しておられた事です。その理由は歴が短いことによる経験の無さである事。また自分自身があまり活動を楽しめていない事。入会する事で良い部分も分かるが、悪い部分の方

が目につく事でした。自社の営業を行う事と拡大活動は大きく似ている部分があります。「自社の事が分からない」、「取り扱う商品が良いとは思わない」では、営業などとても出来ません。まずは拡大活動を行う以前に現役会員が組織の事や魅力を理解し、歴の浅いメンバーに経験を伝え、その良さや楽しさに着目できるような環境作りや姿勢を醸成していく必要があったと考えます。

(11) 次年度への引継事項

仮入会申込書を一時19通、獲得することが出来ましたが、結果的に8名の本入会となりました。仮入会申込書を頂いた時点での感触は悪くなかった方が大半でしたが、その後の仕事や家庭、自身の体調等の変化によって本入会を断念されたケースが多くありました。対して入会された方との相違点は事業への参加やコミュニケーションが仮入会後も円滑であった点です。どうしても、仮入会員審査までは仮入会申込書の数に目が行きがちですが、仮入会申込書を頂いた時点からの対応を今まで以上に、個々の状況に合わせて、よくよく練りこんでおく必要があると考えます。

(12) 委員長所見

「心に火を灯す」という所信を胸に1年4か月の活動を行って参りました。結果として、数字上では目標の20名には及ばず8名の本入会となりました。反省はありますが後悔はありません。そう思えるのも、各委員長をはじめとした理事構成メンバー、拡大研修委員会メンバー、そして積極的に拡大活動に携わって頂いたOB、現役メンバーの方々のお陰です。心から感謝を致します。

そして、新たに私たちの仲間となった8名の方に感謝するとともに、この8名の方がJC活動を楽しめるよう次年度委員長予定者をはじめとした委員会メンバーの方々により一層のフォローをして頂きますようお願い致します。

(13) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

2019年度拡大活動の振り返り（参考資料）

第12回理事会 2019年12月 5日

事業収支計算書(案)

事業名 全会員で目指す!必達!!拡大仕事人!!

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		60,000	60,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				60,000	60,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0			
			食事代支出			0			
			会場費支出			0			
			設営費支出			0			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
		小計			0	0	0		
		企画演出費支出	人件費支出					0	
			食事代支出					0	
			企画費支出	52,000	52,000	0	尾道商工会議所・浄土寺		
			演出費支出			0			
		小計			52,000	52,000	0		
		本部関係費支出	人件費支出					0	
			食事代支出					0	
			会場費支出					0	
			設営費支出					0	
			旅費交通費支出					0	
			通信費支出					0	
			運送費支出					0	
			消耗品費支出					0	
			レンタル料支出					0	
			保険料支出					0	
		小計			0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出					0	
			旅費交通費支出					0	
			宿泊費支出					0	
			保険料支出					0	
			謝礼金支出					0	
			会合費支出					0	
		小計			0	0	0		
		広報費支出	運営費支出					0	
			会場費支出					0	
			設営費支出					0	
			通信費支出					0	
			消耗品費支出					0	
			レンタル料支出					0	
		小計			0	0	0		
		資料作成費支出	通信費支出					0	
			資料費支出					0	
			消耗品費支出					0	
レンタル料支出						0			
小計			5,000	1,371	3,629	事務局			
報告書作成費支出	通信費支出					0			
	資料費支出					0			
	消耗品費支出					0			
	レンタル料支出					0			
小計			0	0	0				
懇親会費支出	人件費支出					0			
	会場費支出					0			
	設営費支出					0			
	旅費交通費支出					0			
	運送費支出					0			
	レンタル料支出					0			
小計			0	0	0				
渉外費支出	役員渉外費支出					0			
	記念品代支出					0			
小計			0	0	0				
旅費交通費支出	旅費支出					0			
	交通費支出					0			
小計			0	0	0				
参加記念品代支出				0	0	0			
保険料支出				0	0	0			
通信費支出				0	0	0			
販売物品仕入支出				0	0	0			
雑費支出				0	0	0			
事業予備費支出				3,000					
余剰金					6,629				
支出合計				60,000	60,000	0			

●余剰金 ¥6,629 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

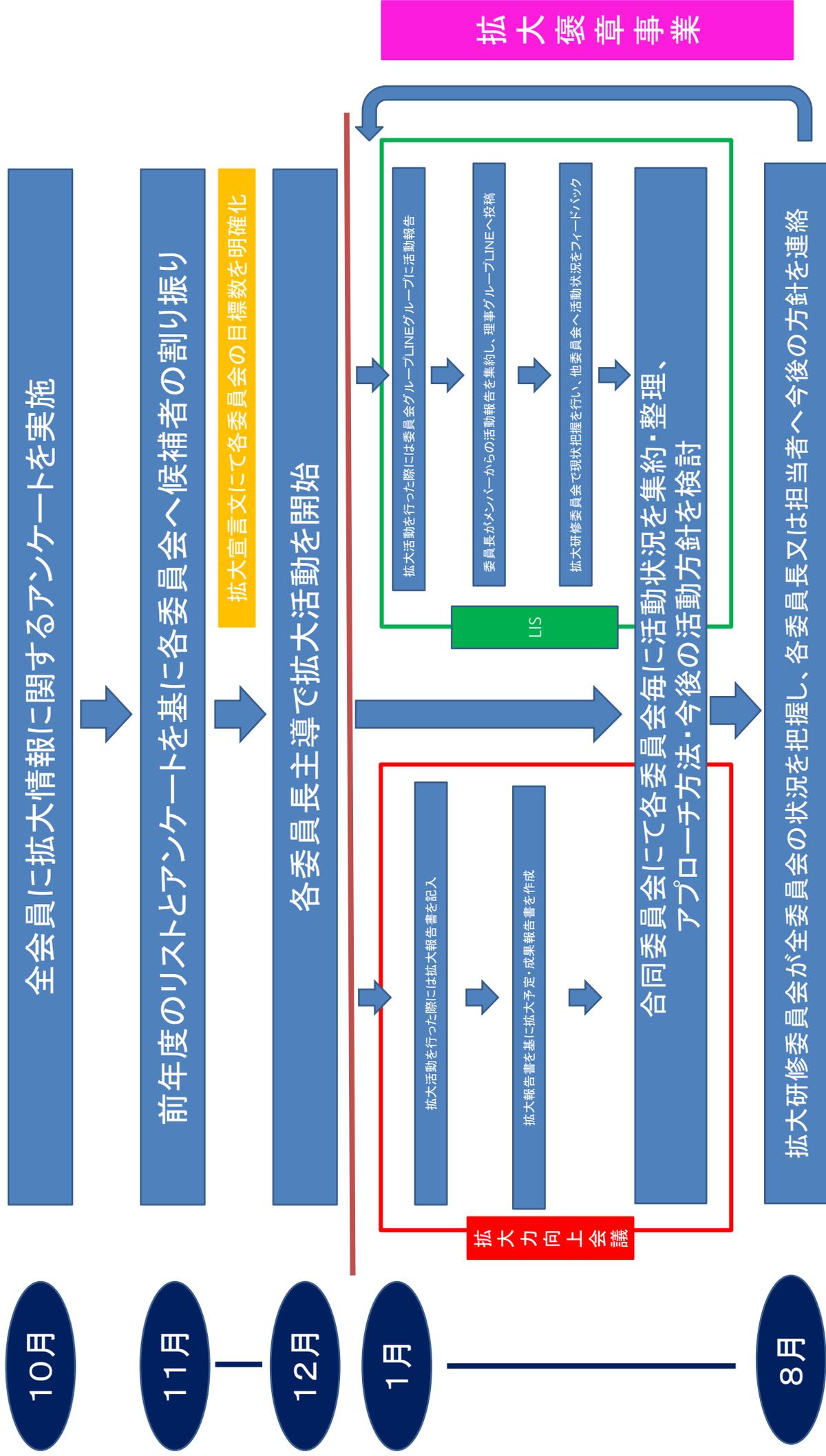


2019年度 拡大活動の振り返り (参考資料)

目次

1. 2019年度拡大活動 実施フォローチャート
2. 拡大アンケートに関する報告と考察
3. 拡大宣言文に関する報告と考察
4. LINEグループを利用した拡大情報システム(LIS)に関する報告と考察
5. 拡大力向上会議に関する報告と考察
6. 尾道拡大褒章事業に関する報告と考察
7. 仮入会後のフォローに関する報告と考察
8. 入会を決断できなかった理由
9. 本入会した候補者からの意見
10. 今後の拡大活動についての所見

<2019年度拡大活動 実施フローチャート>



＜拡大アンケートに関する報告と考察①＞

実施内容：＜現役会員＞昨年度のリストを基に候補者の既知と新規情報の抽出

＜2018年度新入会員＞新規情報入手の為、曼陀羅シートにて情報抽出

アンケート回答数：＜現役会員＞ 43名／66名

65%

＜2018年度新入会員＞4名／7名

57%

2018年度リストより

91名

1.8倍

拡大アンケート後

166名

初期から1.9倍

2019年度最終

173名

本年度、仮入会申込書19枚の内、14枚が新規情報より獲得。
又、正式入会8名の内、6名が新規情報より上がった候補者

<拡大アンケートに関する報告と考察②>

☆新規情報を可能な限り集めるのが大事

今年度の拡大成果を見る限り、既存リストで入会見込みの高い候補者は年々、少なくなってきた。

新たな候補者を毎年発見し続け、詳細な情報を得続けることが必要不可欠になる。その為にはメンバーがJ C関係の付き合いだけでなく、様々な環境に身を置き、拡大に対するアンテナを常に張り続けることが求められると感じる。

新規情報を入手するためには・・・

- ✓ シニアクラブ、新年互例会、その他コミュニティ、会社・銀行などの集まりに積極的に顔を出していく。
- ✓ Facebookなどで情報を探す
- ✓ 経済情報誌などは必ず目を通す。
- ✓ ローラー作戦は可能な限り行ったほうが良い。狙い目は2019年度行っていない南松永の工業団地と向島だが他会との兼ね合いを考慮すべき。
- ✓ 予定者や歴の長い人をお願いし、OBに電話で情報を求める
- ✓ 候補者から進んでJ Cに興味をもって頂けるよう、HPやfacebookの入会のご案内ページをより充実させる

＜拡大宣言文に関する報告と考察＞

実施内容：各委員会毎に拡大目標数を設定し、宣言文と仮入会申込書獲得表を事務局に掲示

委員会名	本入会目標数	仮入会申込書獲得数	本入会人数
活気溢れる組織作り推進委員会	3名	2名	1名
地域の魅力創造委員会	4名	5名	1名
次代を担う宝育成委員会	3名	1名	1名
あるべき姿探求委員会	3名	1名	1名
地域活性化促進委員会	3名	2名	1名
拡大研修委員会	8名	4名	1名
総務広報委員会	4名	1名	1名
正副事務局	4名	3名	1名

☆理事メンバー以外の拡大意識をどう上げるか

目標を明確にすることで一定の効果が表れたと考えるが、理事メンバー以外の会員の意識を更に向上させる必要性がある。又は完全に割り切って、拡大活動に特化した委員会構成メンバーで二委員会分の人数を配置するというやり方も考えられる。

<LINEグループを利用した拡大情報システム(LIS)に関する報告と考察①>

実施内容：LINEグループを利用し、報告を行うことでリアルタイムの拡大活動状況を把握する

電話アポイント数TOP5

順位	氏名	回数
1	小林暢玄	16
2	今岡正英	6
3	徳永剛志・長坂侑	5
4	大本誠・魚谷香緒里	4
5	岡田貴臣	3

訪問回数TOP5

順位	氏名	回数
1	小林暢玄	32
2	池田知和	9
3	大本誠・徳永剛志・ 長坂侑・魚谷香緒里	7
4	加藤雄大・岡田貴臣・ 大前慶倫	6
5	今岡正英・中島裕一郎	5

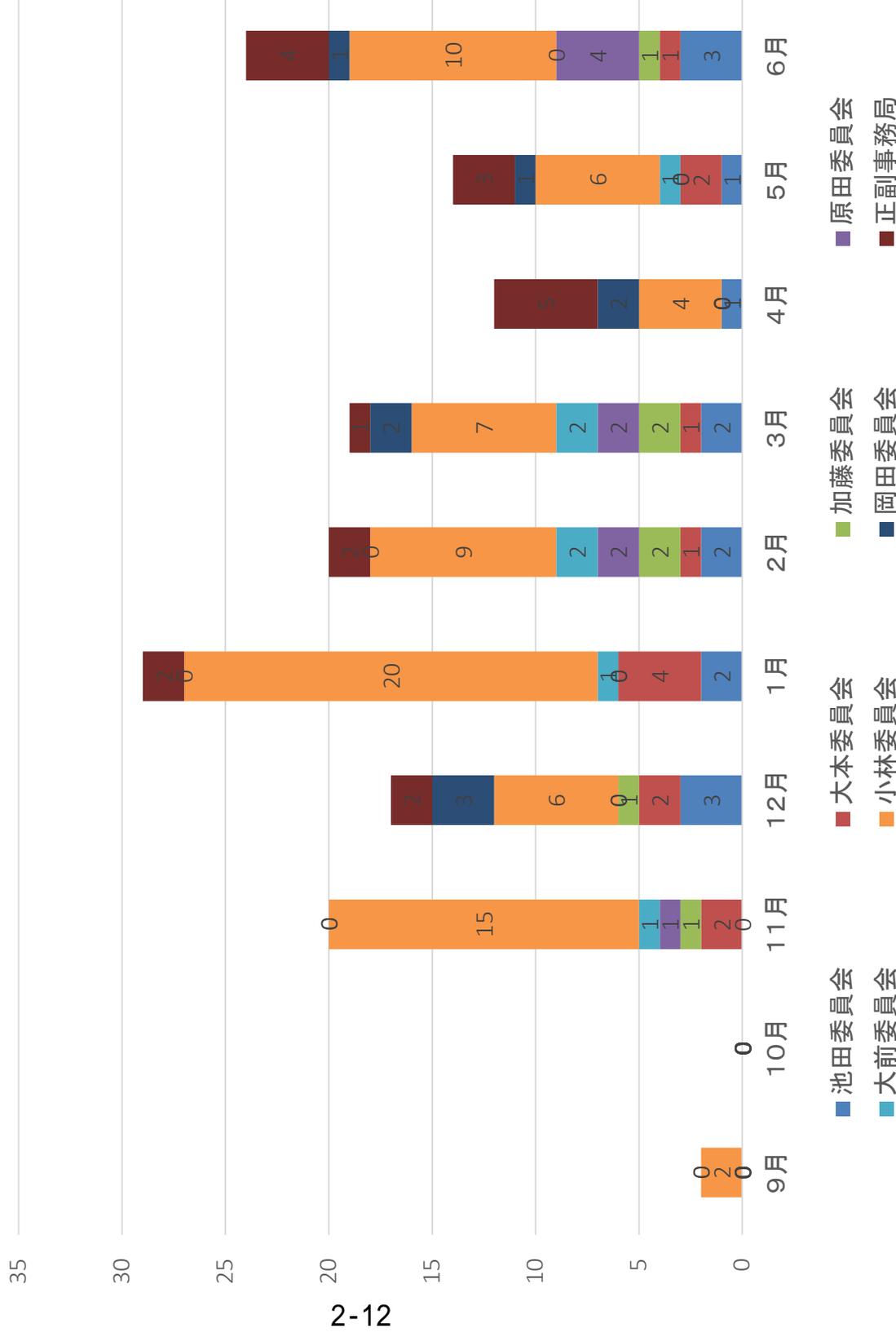
新規情報獲得数TOP5

順位	氏名	獲得数
1	小林暢玄	18
2	大本誠	11
3	長坂侑	10
4	池田知和	4
5	山北真也・高橋建太・ 二反田恭子・加藤雄大	3

上記の表から分かるように、拡大活動を行っているメンバーに偏りが出ている。前述したように拡大研修委員会と理事メンバー以外の意識向上を図れるような設えが今後より必要になる。また、拡大活動を行っているが報告をしていないというケースも多々ある。より精度の高い活動を行う為にも、活動状況の把握は必要な為、より報告がしやすいシステムの利便性や簡易性の向上も必要と考える。

<LINEグループを利用した拡大情報システム(LIS)に関する報告と考察②>

各月毎の各委員会の活動数



左記の表から11月～1月にかけての活動数は上昇傾向にある。リストも豊富にあり、また各委員会での活動も本格化していない時期であるのが大きな要因かと思う。

(*12月に減少しているのは年末の影響が大きい)

その後、下降線を辿っているが、これは各委員会の事業の本格化と拡大リストの枯渇が多きく影響を及ぼしていると推測される。

また、6月に増加したのは、異業種交流会で入手した情報を基に活動を行った事と5月例会を経て締め切りに向けて、意識が再向上したことが要因として考えられる。

このことから、**拡大活動を行う時期としては2月、3月までに、どれだけ活動が出来るかがポイント**となってくると思われる。

<LINEグループを利用した拡大情報システム(LIS)に関する報告と考察③>

その他、LISのデータから判断される傾向

- 報告があがってくる委員会と報告があがってこない委員会を比べた時、データ外での成果や活動量にも大きな違いが出ている。
- 報告が上がってくる委員会では拡大研修委員会や他委員会からのフォロワー数が多い、またそれが申込書獲得に直結している傾向がある。
- 申込書を獲得したシチュエーションの多くは、あらかじめ電話アポをとり、JCの説明をする時間を先方に確保してもらっているパターンが多い。また多くは複数人で訪問を行っている。
- 仕事の延長線上でJCの話をした場合の申込書獲得は今年度ゼロ。
- 拡大研修委員会委員長との付き合いの深さ（同期理事、同期入会、前年度同委員会等）も拡大活動に影響を与えている。
- 新入会員からの新規情報はゼロ。
- 候補者と一緒に写真を撮るというのは効果が高かった。

2-13

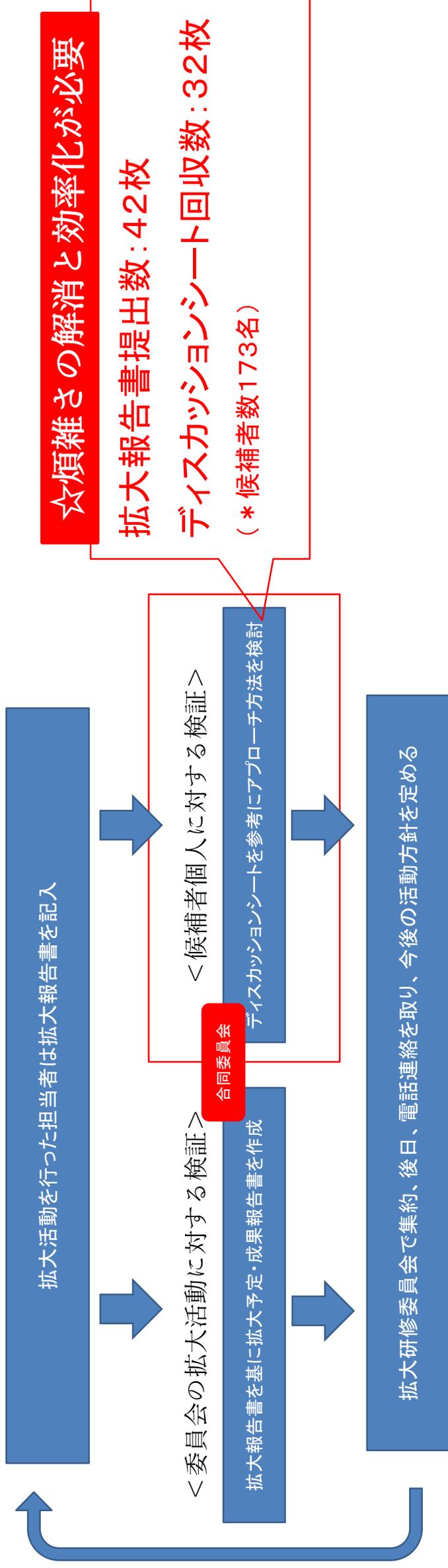
☆LINEでの情報共有(LIS)は改良必須

情報の共有やデータの検証など今まで行っていない部分で実現できた事は多くあった。しかし報告を行わない人や忘れている人の方が多い現状もあるので改善の余地は大いにある。もっと簡単なチェック形式にする、勝手に集計してくれるなどオートマチックなシステム構築やアプリ化を図れば、より緻密なデータを集計し、活動に役立てることが出来ると考える

＜拡大力向上会議に関する報告と考察①＞

実施内容：拡大グループディスカッション

拡大報告書を基に、各委員会単位でディスカッションを行う。その後、拡大予定・成果報告書を作成する



候補者173名に対し、拡大報告書は42枚と提出数に関しては、今一つという数字であった。要因として一番に挙げられるのは、手間がかかるという事であろう。実際に2月、3月までの提出率は悪くはなかったが、その後、落ち込んでいった傾向がある。しかし、拡大力向上会議後に、担当者に電話にて確認し今後の方針を話し合う上では、非常に助けとなり、それによって情報も蓄積できた。今後はより煩雑さを解消すれば、より効果が出せると考える。

＜拡大力向上会議に関する報告と考察②＞

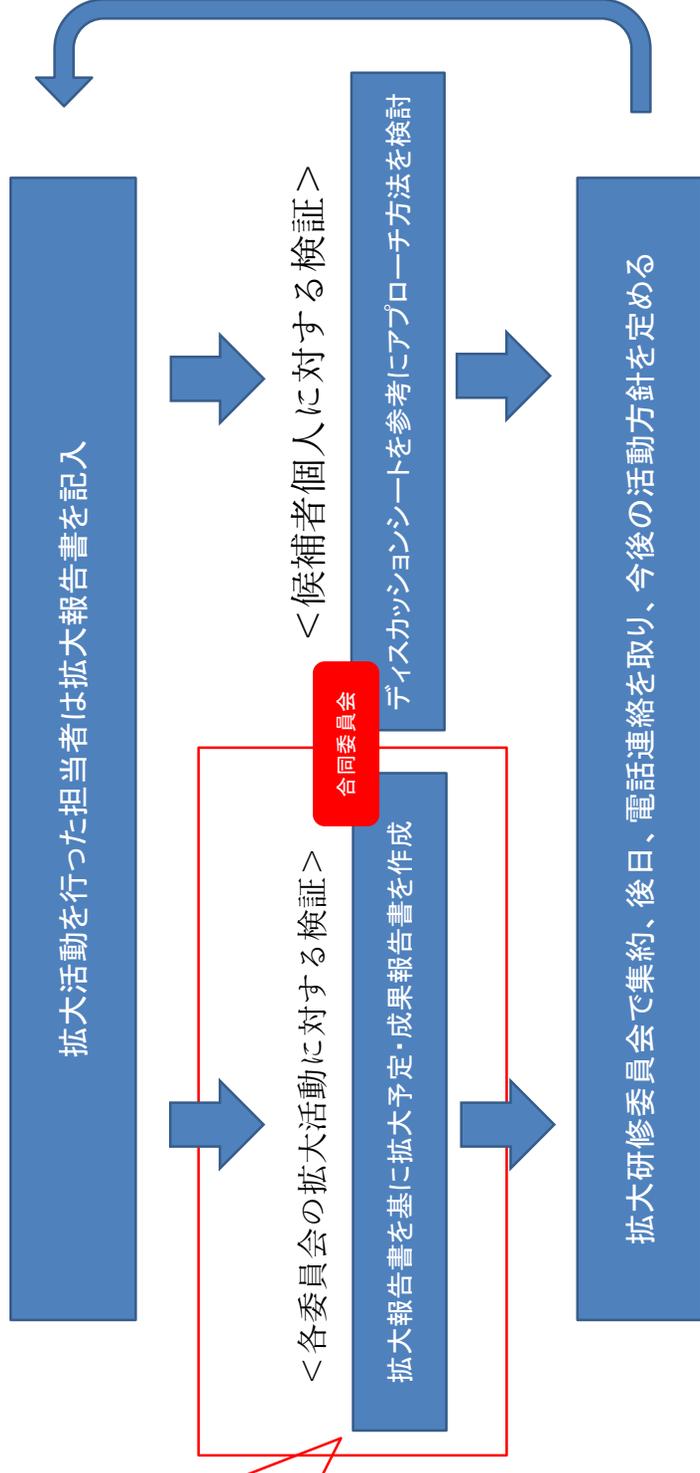
実施内容：拡大グループディスカッション

拡大報告書を基に、各委員会単位でディスカッションを行う。その後、拡大予定・成果報告書を作成する

☆拡大に対する難しさ意識のハードルを取っ払う事が大切

委員会での拡大活動に見える傾向

- 多くの委員会で思うような活動ができていないと感じている。
- 動き出しが遅かったと反省する声が多い。
- 活動量が絶対的に少ないとの反省が多い。
- 2015 既知の候補者には活動をおこなえているが、メンバーの知らない候補者は放置してしまっている。2割程は拡大に行けていない
- 新規情報の重要性は理解しているが、なかなか上手くない。
- 魅力が伝えられないなどの拡大活動への経験不足が目立つ。
- 時が経過するにつれ、具体的に誰がいつ訪問(電話)をするかを定める形式を取り始める。・・・①



委員会毎での拡大活動において反省点が多いが、何が悪かったのかが分かった為、改善する手段も様々考えられる。反省点の中にあって赤字①の部分は今後の拡大活動を行う上で、メンバー個人への責任感や全体スケジュールを考える上でも、拡大活動を始める当初から導入すると良いかと考える。

＜拡大力向上会議に関する報告と考察③＞

実施内容：ロールプレイング動画によるアプローチ方法の紹介(2月・4月実施)

2月：拡大活動への意識付け

最初の拡大力向上会議という事もあり、まずはメンバーの拡大への抵抗感をなくすことを目的に、拡大への心構えをVTRにし紹介を行った。十分な効果が見込めたかについては判断が難しいが、文章で紹介する事よりも映像にて紹介することで、興味を引いて頂けたのではないかと思う。

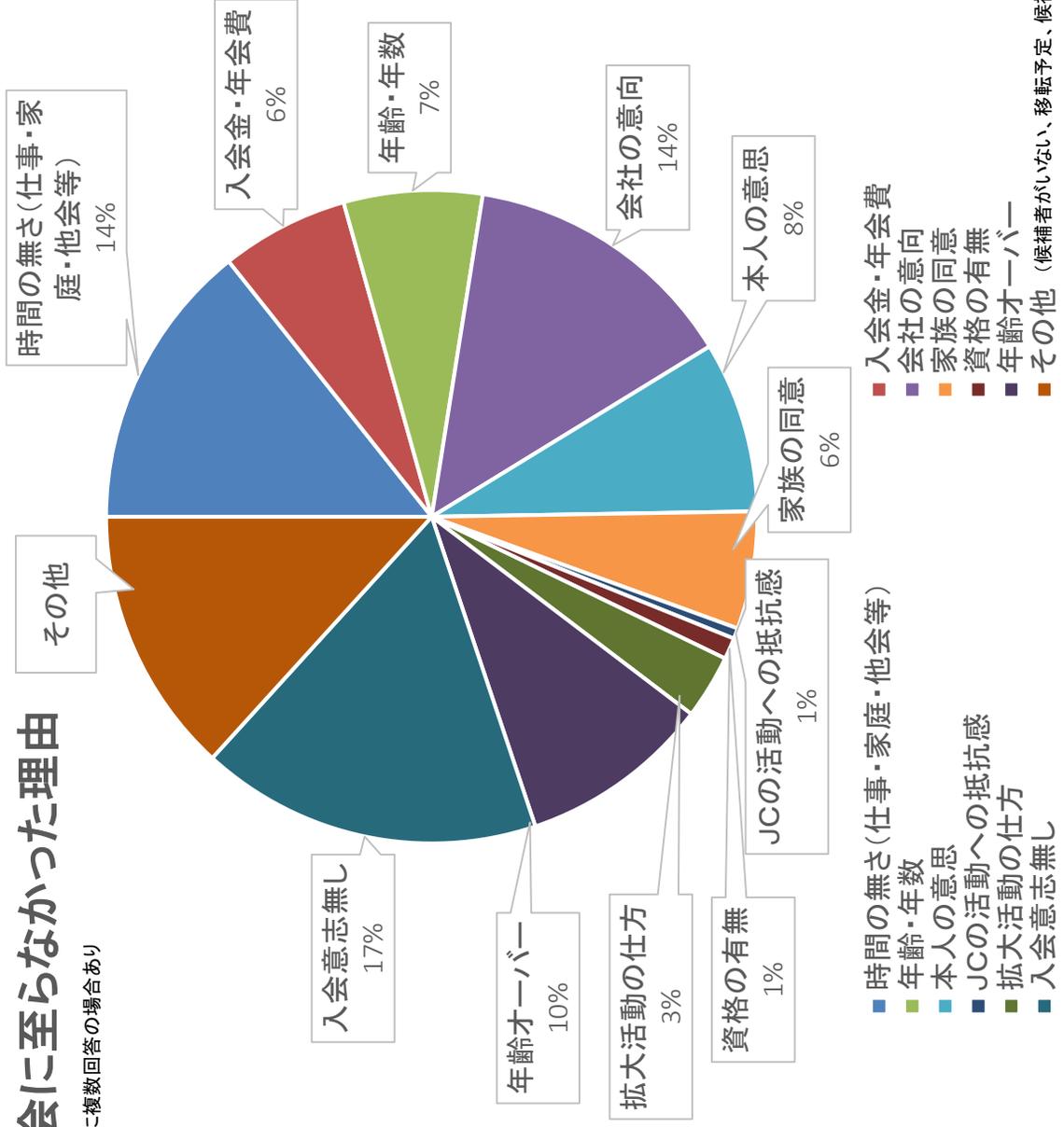
4月：クロージングの事例紹介

拡大活動も進み、よく直面するであろうクロージングの事について対処法を紹介させて頂いた。実際、この事例を使い仮入会申込書を頂いたケースも存在するので、こういった成功事例を多く蓄積し、次年度以降のマニュアルを作成しても良いかと考える。

＜拡大力向上会議に関する報告と考察④＞

仮入会に至らなかった理由

候補者1人に複数回答の場合あり



拡大報告書、拡大予定成果報告書、その後の聞き取り調査から、仮入会をしなかった大きな理由が見えてきたので、報告を行う。

候補者にとって、入会のネットワークになるのは、「時間の無さ」と「会社の意向」の割合が高いことが分かる。説明時に如何に時間の事を丁寧に伝え、活動可能なイメージをしてもらうか、また下準備として会社（社長）に話をある程度通しておくかが重要になる。

次いで多かったのが、「本人の意思」「入会金・年会費」「年齢」「家族の同意」であった。年齢に関しては今後入会するというポジティブな意見が多かった為、割愛するが、特に「入会金・年会費」に関しては、表面に出さなかっただけで、実際はもっと多く潜在する懸念事項の一つかと感じた。

尚、入会意志無しが17%いらっしゃるが、今後環境が変化し気持ちが変わることもあり得るかもしれないのでリストには残しておき、次年度は拡大活動を行わず様子をみてみたいかと思う。

＜尾道拡大褒章事業に関する報告と考察＞

実施内容：既定のポイントによって各委員会・個人の拡大活動を査定、褒章を行う

より効果的な手法にする為には継続が必要か

本年は尾道拡大褒章と題し、拡大活動のモチベーションアップの為に褒章事業を尾道JC単体で行ったが、私見としては、この拡大褒章によって目の色を変えて拡大を頑張っておられた方はいらっしゃらないと感じた。その要因はいくつか考えられるが、実施初年度の為、仕組みの認知が低かったこと、純粋に会の助けとなるために活動を行っていた方が多かった為だと考える。

本来、青年会議所活動は見返りを求めない活動が根幹の為、これに飛びつく方がいらっしゃらなかったのは素晴らしいことだと思う。しかし、会に貢献を行った方を認め讃えるのは間違ったことではないので、今後、モチベーションアップの為に本事業を行うのであれば継続して行い認知度を上げていくか、別の手段で「入会人数が少なくなる・・・になる。」というネガティブな動機付けではなく、会員の拡大意識を向上させ、より全員一丸となって活動できるような意識付け、モチベーションアップの手法を考えればきかかと考える。

＜仮入会後のフオローに関する報告と考察①＞

仮入会申込書を頂いた後のフオローの紹介と考察を以下で行う

事業予定日の早期通知と詳細な案内・報告

事業予定日に関しては基本1か月～2か月前の案内を心がけた。特に仮入会員は例会などの開催日が分らないことから、協議段階で日程が変わる可能性がないものに関しては、予定という形でお伝えするようにはしていた。

また、より興味をもって事業に参加して頂くために、現役会員に送る案内文に講師の詳細なプロフィールや事業内容より詳細にした書類を添付して送るようにはしていた。

加えて、事業後は参加して頂いた方へのお礼と、欠席の方へのどのような事業が開催されたのか分かるよう写真を添付し、報告を行っていた。

仮入会員の出席率が振るわない現状があるので、少しでも事業に参加しやすい環境を事前に調べ、また参加できなくても雰囲気や伝わり、活動がイメージしやすくすることは重要と考える。

仮入会員の皆様

いつもお話しになっております。昨日追加したお知らせ、業界交流会にお越しの皆様、ご参加頂き、ありがとうございました。また、所用で参加が難しくなった方もいらっしゃると思いますので、概要を少しだけご報告させていただきます。

講師の岡田会長にサッパリと通じて体験された事や今迄での取組内容を、時にコミュニケーションを交わしながら、熱く話して頂きました。今回テーマにしていた子ちゃん達の精神の大切さが随分伝わり、大切にしたいなと思います。

また、その後の交流会でも様々な業種の方にご参加頂き、それぞれに縁を結びました。

岡田会長のお言葉はどれも印象深いものでしたが、特に「人は出会うべくして出会っている。その時の出会いを自分にとって必ず意味のあるものになる」という言のお話私には心に響いていました。

親しい出会う人は人を成長させると思います。その為にも、今の業種から一歩チャレンジしてみることが大切なんだと感じました。そして仮入会員の皆様のご紹介で出会えた事に改めて感謝しております。

最後に申し上げますが、時には岡田会長のように有名な方と出会えるチャンスや学びも多々ありますので、是非、JO活動に積極的に参加してみてください。

追伸：交流会にご参加された方、岡田会長との記念写真をお送りさせていただきます。

(一社)尾道青年会議所
拡大研修委員会 委員長 小林博之

大本山 浄土寺
722-0043 広島県尾道市東久保町20-28
小林博之 k.takato522@yahoo.co.jp
mobile: 090-3748-2650
TEL: 0848-37-2361 FAX: 0848-37-4328

茶台画像



講師 風見 邦



記念写真.JPG

5月例会後の報告

2月例会案内 (講師プロフィール追記)

2月例会のご案内

挨拶 向香の服 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、2月例会ではSHOKU LEAD代表であり、管理栄養士の馬明真梨子氏をお迎えし、「食で育む命と未来～“食べること”から見えるもの」というテーマでご講演頂きます。現代の子どもたちには起きている体調の変化やその原因と考えられる社会背景、また現代の『食』の課題や問題点等についてお話し頂きます。

本例会行事を通じ、次代の至である子どもたちの健全な成長を見守る立場として、子どもたちにより一層意識になってもらうために、『食』に関する課題や問題点を認識し、日常生活の中の『食』に対する意識や行動を変える為の一助として頂きます。万層お繰り合わせの上ご出席下さいませようお願い申し上げます。

敬具

日 時 2019年2月15日(金) 19:50 開始予定
一配一
※1.9時20分までに尾道国際ホテル2Fロビーにお越し下さい。
場 所 尾道国際ホテル
例 会 テーマ 「食で育む命と未来」～“食べること”から見えるもの～
講 師 SHOKU LEAD代表・管理栄養士 馬明 真梨子 氏

講師プロフィール

馬明真梨子(まみょうまりこ)氏

管理栄養士/健康食育シニアマスター

SHOKU LEAD代表

広島県尾道市 安田女子高校卒業 東京応義女子大学人間文化学部健康栄養学科卒業
高校ソフトボール部時代に選抜なる経験と、専攻した運動から、スポーツ栄養士を目指す。スポーツジムに勤務し、専らパーソナルトレーナーの業務に専念し、食事と食事に関する指導として活動開始。現在は、広島を拠点に高松ソフトボール部や広島県高校ラグビー部の栄養サポート、健康志向の健康食(アスリート協会監修)を販売し、食生活の改善、幼児から高齢者の食育講座の講師も行う。小学生、幼稚園児、1歳児の3歳の母

夏期講習 (マネジメントゲーム説明 案内添付資料)

マネジメントゲームとは・・・

40年間で100万人が受講している研修

マネジメントゲーム(MG)研修は、40年間にソニーが実施した経験豊富な研修です。

現在でも大企業を中心に4,000社、100万人が受講しており、海外にも展開されています。米国、韓国には早くから導入し、韓国では企業研修プログラムで認定を受けています。

1974年、当時松下電器(現在のソニー)が、エンジニアに必要となるノウハウを研修で、深く伝達させるためにはどうすればいいかを考え、社内研修用に作りあげた研修です。

元ソニーの社内研修でしたが、非常に高い評価を受けて、社外に提供するようになりました。

現在では、ソニー以外の企業様を多数、著名な経営者や上層幹部の研修(社長研修など)の研修を提供し、その研修プログラムをアレンジして提供し、特に国際的な研修の研修者として知られています。自身でも100社以上を訪問し、かつソニー以外の研修者も100社以上を訪問し、研修者など(含む)毎年のように受講をされています。

体験学習で、自ら気づく

マネジメントゲーム(MG)研修の一番大きな特徴は、「ゲームを通じて」「体験学習」ができることです。

※/パリーのよりパドを動かしたゲームを動かすことで、実際の経営を体験し、実際に様々な経営課題を体験します。

「体験」することで、「自ら気づく」こと、そして「問題を解決する」ことができます。

とあるアンケートでは「唯一習得が難しい人財は問題解決力」といわれています。十分練習ができます。

一方で、その問題解決力は必ずしも「物事を解決・理解」したことがある人だけに限らず、「適切な言葉を使ったコミュニケーション」スキルを習得し、練習を繰り返すことで、「問題解決力」を身につけることができます。

MG研修は、そんな成長という人生のリスクを減らすことと深く「問題解決力」を身につけることができます。



経営者でも、新卒でも、学生でも！最後には決算書が「書ける」

それさえ、どんな仕事の人でも、その人なりに経営者に「気づく」ことができます。

＜仮入会後のフォローに関する報告と考察②＞

正副推薦者と関係者のLINEグループ作成

本入会に不安がある候補者に対して、仮入会が確定した後に、拡大研修委員会委員長と正副推薦者、拡大研修委員会メンバー1名、仮入会員と関係のある方を交えて、LINEグループを作成し、フォローについて、より密な検討を進めていた。

結果として、この中で話し合った事を実行し、本入会の可能性が低いと思われていた方が本入会したことから一定の効果があつたように感じる。

可能であれば、仮入会申込書を頂いた時点から、こうした対応を取ると更に効果があるように思える。

- グループ 81
- 仮入会員 岡さん対策室 (4)
 - 仮入会員 玉さん対策室 (4)
 - 仮入会員 山本さん対策室 (4)
 - 仮入会員 松井さん対策室 (4)
 - 仮入会員 神原さん対策室 (2)
 - 仮入会員 石岡さん対策室 (5)
 - 仮入会員 多田さん対策室 (3)
 - 仮入会員 カ石さん対策室 (6)
 - 夏期講習余興 (9)



その他、お花見会や個別の食事会などを行っている

☆仮入会申込後のフォローによって、可能性をひっくり返すことが可能

＜入会を決断できなかった理由＞

仮入申込書は記入したが、本入会をしなかった理由について調査を行ったので、報告を行う

ケース	仮入会申込書記入時点での反応	懸念事項として考えられていたもの	仮入会申込書記入後の 事業参加状況	本入会(仮入会)しなかった理由
1	初回で話を聞いて頂いて頂いた感じの可能性は半々だったが、人脈も増えるし事業に参加してみたいと感じていた	時間	5月例会	営業所の新設と引越し
2	本人は非常に前向きな印象で人付き合いも積極的な方だった。	会社、家族の同意	2月例会後のアフター、お花見会	仕事の都合で転勤
3	まずは体験してみたいと押し切る感じ。参加できれば考えますとの事だった。	時間	5月例会・異業種交流会	仕事の都合による時間無さ・家族の同意
4	本入会も見据えて仮入会申込書を頂いていた	会社の部署移動	お花見会	会社の部署移動の関係。但し、異動が無ければ入会したいとの事。
2-21	本入会を見据えての仮入会だった。ご家族の後押しもあり可能性の高い案件だった。		5月例会・異業種交流会	仕事の都合による時間の無さ
5	本入会はしないとのことであったが、まずは活動を見て欲しいとのことで仮入会する	時間	5月例会・新入会員ガイダンス・9月例会	仕事と他会との時間の兼ね合い。但し事業に参加する中で、全く入会する気が無かったところから、入会を今後考えると意識が変化した。
6	先輩のお力もお借りして仮入会にこぎつける。メリットは分かりやすとの事だった。	時間・家族の同意		家族の同意が得られなかった
7	本入会までは考えていないが、活動を経験する中で考える	入会金・年会費に見合うものがあるかどうか	4月例会	入会金・年会費の関係と時間の無さ
8	活動の良さも分かるし、魅力も感じるとの事。但し、参加できる時間がなさそうなので様子を見たい	時間		参加できる時間がない
9	非常に前向きで事業に参加してみたいとの事			会社の担当が変わったことによる仕事の繁忙さ
10	以前から誘いの話はあるが、そろそろ良いかと考えていたそう。但し参加できる時間があるかどうか不安。	時間	4月例会・5月例会・異業種交流会・新入会員ガイダンス・仮入会員研修	ご自身の体調。但し入会は体調が回復すればしたいとの事。

<本入会した候補者からの意見>

本入会をした新入会員に聞き取り調査を行ったので報告を行う

ケース	入会する上で不安だった事。懸念される事	入会を決めたタイミング、きっかけ	入会する上で魅力に感じた事	その他
1	活動が夜が多いので参加できるかどうか (今でも懸念材料)	特になし	人脈が出来そう	いつ入会なのか分からないままだったので、そこを明確にできたらよいかと思う
2	仕事は当然ですが、業界の会合もあり、両立できるかが今でも不安	ずっと断り続けてきたが、JCに入会できなくなる年齢に近づいてきたタイミングで同業者の先輩から誘って頂けた事。また自社での立場から見ても、外に出られる状況になって、一社会人としての成長を求めて入会した	尾道を代表する企業の方々がいらっしやること。そして、その方と一緒に事業を行うことができ、自分依とってすごく勉強になると感じています。	普段からお世話になっており、自分の事をよく知っている方から誘われると、断る理由を考えなくなり、期待にこたえたいと意識が向きました。
3	本業の仕事と両立できるかどうか	合同委員会や例会などを体験する中で無理な参加強要もなく、親身になって色々教えてくれた為	色々な業種の方とお付き合いができる事	
4	自分の業務に支障をきたさないかどうか心配だった。	自分の知らない世界や見識をもった仲間と交流することは自分にとってプラスになると父親からアドバイスを貰えたから。	自分と違った見識や経験をしている仲間と深く交流することが出来る事。	仕事との両立が出来るかが不安だったので、それが解消されたのが大きい。
5	なかなか参加できない事	皆さまの後押し。新しい自分探し	他業種の方の新鮮な話が聞ける	誘っていただいたことに感謝してます
6	活動内容と月の出席回数	浄土寺でのバーベキュー(お花見会)	人との繋がりが持てる事。人間力を養えること。	誘って頂くときに入るうえでのメリットを具体的に話して頂けると入会のきっかけになるかと思えます。
7	家族と仕事とどういったバランスを取っているのか。時間をどのくらい割くのかという事	メンバーに誘われた時から入会しようと思っていた	尾道のまちづくりに貢献できること。いろいろな人と出会え人脈を増やせること。	仮入会員として色々と非常に丁寧に丁寧に扱って頂いたと思っています。

ケース	入会する上で不安だった事。懸念される事	入会を決めたタイミング、きっかけ	入会する上で魅力に感じた事	その他
8	<p>いろんな方の話を聞いてあまり良いイメージがなかったこと。 入会金、会費を払ってまで入ってどんなメリットがあるのかわからなかったこと。</p>	<p>正直もう後戻りできない感じはあった。しかし、何事もやってみないとわからないので、1年間は続けてみて、自分にメリットがあるか判断してみようと思った。 あと、最近はぬるま湯につかって仕事をしているな、現状維持だなと感じていたので大変そうなことでも一歩踏み出そうと思った。</p>	<p>尾道で商売している人と繋がれるチャンスだと思った。(人脈を広げる) 大勢の人の前で自分の話したり、意見を言うのが苦手なので、克服できそうだった。そう言う機会が必然的に与えられるので。先輩方もすごく上手にスピーチなどしている姿をみて、魅力的だった。 会社の代表や、個人で商売されている方がほとんどなので、そういう先輩方の意見が聞けるから。 尾道にも自分の知らない業種がまだまだあることを知り、自分が困った時にもアドバイスや、助けてもらうことができると思ったし、引き出しが増えることで、自分の仕事にも活かせると思うたから。</p>	<p>親身になって話をしていただいたと思います。</p>

仮入会員と新入会員の意見から考察する3つのポイント その1

一番の懸念材料は「時間」

本入会するしないに関わらず、約7割の方が抱えていた最も不安に感じていることは時間の無さであった。

対応策の一案

仮入会期間中の過ごし方を、より丁寧に伝え、活動可能なことをイメージしてもらう

時間に関しては仮入会期間中の過ごし方や参加頻度で入会の可否を判断しているケースが見られる。よって、今までは口頭で説明をなんとなくしていたが、パンフレットなどに仮入会期間中の事業内容や写真、近年入会者がどのような過ごししていたのかを掲載するなどすることで、少しでも不安を解消させる事が可能と考える。

本入会(仮入会)しなかった理由
営業所の新設と引越
仕事の都合で転勤
仕事の都合による時間無さ・家族の同意
会社の部署移動の関係。但し、異動が無ければ入会したいとの事。
仕事の都合による時間の無さ
仕事と他会との時間の兼ね合い。但し事業に参加する中で、全く入会する気が無かったところから、入会を今後考えると意識が変化した。
家族の同意が得られなかった
入会金・年会費の関係と時間の無さ
参加できる時間がない
会社の担当が変わったことによる仕事の繁忙さ
ご自身の体調。但し入会は体調が回復すればいいとの事。

入会する上で不安だった事。懸念される事
活動が夜が多いので参加できるかどうか(今でも懸念材料)
仕事は当然ですが、業界の会合もあり、両立できるかが今でも不安
本業の仕事と両立できるかどうか
自分の業務に支障をきたさないかどうか心配だった。
なかなかに参加できない事
活動内容と月の出席回数
家族と仕事とどういったバランスを取っていくのか。時間をどのくらい割くのかという事
入会する上で不安だった事。懸念される事
いろんな方の話を聞いてあまり良いイメージがなかったこと。 入会金、会費を払ってまで入ってどんなメリットがあるのかかわからなかったこと。

J C入会の一番の魅力は人脈の広がり

仮入会員が入会する判断を行う上で、もっとも魅力に感じていた事は、新たな人に出会える人脈作りだった。



候補者にとって優先度の高い現役メンバーやOB、他LOMメンバーと知り合える場を設ける

今までも食事会をするなど、メンバーとできる限り顔を合わせる場を創出してきたが、まず候補者にとってビジネスメモットの高い方を優先的に合わせる。尾道J Cを卒業されたOBの方や他LOMの方と会話ができれば、より強固に魅力を発信できれば更に強固にできると考える。

入会する上で魅力に感じた事

- 人脈が出来そう
- 尾道を代表する企業の方々がいらっしやること。そして、その方と一緒に事業を行うことができ、自分依ってすごく勉強になると感じています。
- 色々な業種の方とお付き合いができる事
- 自分と違った見識や経験をしている仲間と深く交流することが出来る事。
- 他業種の方の新鮮な話が聞ける
- 人との繋がりを持つ事、人間力を養えること。
- 尾道のまちづくりに貢献できること。いろんな人と出会え人脈を増やせること。

入会する上で魅力に感じた事

- 尾道で商売している人と繋がれるチャンスだと思った。(人脈を広げる)
- 大勢の人の前で自分の話したり、意見を言うのが苦手なので、克服できそうだった。そう言う機会が必然的に与えられるので、先輩方もすごく上手にスピーチなどしている姿をみて、魅力的だった。
- 会社の代表や、個人で商売されている方がほとんどなので、そういう先輩方の意見が聞けるから。
- 尾道にも自分の知らない業種がまだまだあることを知り、自分が困った時にもアドバイスや、助けをもらうことができると思ったり、引き出しが増えることで、自分の仕事にも活かせると思ったから。

本入会を分けた要因は
候補者とのやり取りの頻度

候補者が本入会するかしないかの判断を下す際に、懸念事項である問題を如何に少しでも緩和することが重要である。

その為に、候補者が事業に参加してもらおう事や、メールでのやり取りをする、事業とは関係なく食事に誘って話をするなどで少しずつ解消させてきた。

但し、それも候補者がそのための時間を作ってくれることなど、JICに対する優先度の高さが前提条件となる。実際、本入会された方と本入会しなかった方を比べると、自発的な案内への返信の有無などに顕著な差が出ていた。

候補者自身の意識によるもの大きいですが、仕事ではない事に対して、どのようにしてやり取りを向上させるかは非常に重要である。解決策として、例えば、出欠の確認などは今まで委員長が一手に引き受けてきたが、候補者が断りづらい相手から連絡をしてももらうなどの工夫が必要と考える。

＜案内メールの自発的な返信割合＞

理事会で承認された仮入会員15名の案内メール10通

(新入会員ガイダンス～第1回新入会員研修)への返信状況で検証

新入会員 8名中7名 が自発的に返信していた傾向が高い

本入会に至らなかった 7名中1名 が自発的に返信していた傾向が高い

＜今後の拡大活動についての所見＞

組織が変わることも時に必要

単純に入会への懸念事項を解消するのであれば、お金に関しては入会金を安くする。時間に関しては合同委員会を各月にする。等、組織が変わることで解消されることもあるが、それによって今までの魅力がなくなってしまう場合もある。

一方で、子どもを持つ会員の為に例会には託児所を開設するなど組織改革を行い、新しい魅力を持つLOMもある。

変えてはいけない事もあるが、変わることを面倒に思う、恐れるというのは青年会議所の理念から外れる事でもあるはず。何を目的にしているのかを見定め、その為に必要に応じて変化していく勇氣も求められると考える。

尾道なりの拡大手法の確立を

拡大を行う上で、どう行動したらよいか分からないと戸惑っているメンバーが多かった。

また、仕事やプライベートの延長線上で話をしてしまえば結果的に断られる等、手法が確立してないことで仮入会まで至らないというケースもあった。

- 歴の長い人、拡大の経験値が高い人と歴の浅い人がバディを組む。
 - どういった流れでアポを取り、説明を候補者にするのかガイドラインを作る。
 - 月に1回ガイダンスを開催し、候補者に一貫した説明を行う
- など無理なく継続でき、且つ候補者にとっても現役会員にとってもメリットの高い拡大手法を尾道なりに確立していくことが求められると考える。

仮入会員・新入会員へのフォローを充実させる

拡大の中で仮入会申込書の数と新入会員の数がやはり一番に目を向けてしまいう事ではある。

しかし数に目が向いてしまうと本質を置き去りにしてしまえば、結果的にマイナスになる可能性もある。

候補者の多くは人との繋がりを魅力に感じて入会を決断する傾向が高い。だからこそ、仮入会員や近年、入会した新入会員に関心を向けフォローしていくことが肝要であると考え。

夜に出にくいい人の為に委員会を日中や夕方に開催する、声かけを必ず行うなど、現状のなかで対応する手段は多々あるはず。理事メンバーや歴の長い方には是非とも、そういったところで、拡大活動を手助けして頂きたい。

一般社団法人 尾道青年会議所 事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：地域活性化促進委員会

委員長名：大前 慶倫

(1) 議案名

災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件

(2) 事業名

DA! DA! DA! 大脱出 ～楽しく学防祭～

(3) 事業実施に至る背景

昨今、自然災害による被害が続く中で、まだまだ防災に対するの取り組みが出来ていない状況にあります。市民ひとりひとりの防災意識を向上させる事が、災害に強いまちづくりの第一歩ではないかと考えます。

(4) 事業目的（趣旨）

- a. （対外）防災を疑似体験して頂く事で、防災意識の向上を促します。
- b. （対内）我々も防災体験し学ぶ事で、防災意識が向上します。

(5) 実施日時 2019年 11月 16日（土） 9時～16時

(6) 場 所 尾道市総合福祉センター

(7) 参加人員 内部 46名 外部 370名 計 416名

(8) 外部協力者 尾道市 尾道市社会福祉協議会

(9) 事業の目的は達したか？

本事業を通じて防災について楽しみながら学んで頂き、大人だけでなく、子供達にも防災、災害について考えて頂く良いきっかけになった事、また、防災意識の向上に繋がった事から、目的は達したと考えます。

(10) 実施上の問題点

- ・脱出ゲーム以外のブース設置場所が、総合福祉センター駐車場奥という事で、外から見ると、何をやっているのか分かりにくい状態でした。表に看板を設置するなどして、来場客を増やす対応をすべきでした。
- ・当日はJA祭りもあり、そちらに多くの方が、行っている状況でした。事前に大きなイベントを調べて日程調整する必要があると感じました。また、小学校へのチラシの配布、Facebook、ホームページ、チラシの他にもっと集客のための工夫を考えるべきでした。
- ・脱出ゲームに集中してしまい、屋外の各ブースが、協力メンバー任せになっていました。

いろいろなケースを想定して、設えるべきでした。

・会場が、終日日陰で、11月という事もあり、寒かったので、体の温まる汁物などを販売するなど、考えるべきでした。

・脱出ゲームのアンケートですが、子供には、難しいという意見がありました。大人用、子供用に分けてアンケートを作成しても良かったと思います。

・会場の都合上、脱出ゲームの設営が当日しか出来ず、当委員会メンバーが着きっ切りになってしまい、屋外会場に委員会メンバーが付く事が出来ませんでした。事前にもっと良く考え、協力して頂くメンバーの役割、配置をリスト化し、一連の流れを明確にしておくべきでした。

(11) 次年度への引継事項

本年度は、因島J.Cの参加は、ごさいませんでした。次回この様なイベントをするのであれば、因島J.Cも交えて事業をしても良いかと思ひます。また、今後起こりうる災害に対して、4者協定としての関係をもっと強固なものにしないかと思ひますので、引き続き、各者と連携をとって頂けたらと思ひます。

日中のセミナー系の事業であれば、総合福祉センター4階大会議室など、広い会場で、スクリーンや、マイクなどもござひますので、検討してみても良いかと思ひます。

(12) 委員長所見

当委員会では、防災は楽しく、まず興味を持って頂く事が大事だと思ひ、この度の事業を企画致しました。参加頂いた方々のアンケートでは、「楽しかった」「防災について考える良いきっかけになった」といった意見を多く頂きました。また、尾道市社会福祉協議会様からも「防災を幅広く伝える事が出来る良い事業でしたね」といったお言葉も頂いております。地域の方の防災に対しての意識向上が図れたと思ひます。防災は、青年会議所として、地域、そして子供達に伝えていかなければならない課題の一つですので、我々が今後も継続的に知識を身に付ける必要があると思ひました。

屋外ブースでは、集客が思った程伸びなかったですが、ご協力頂いたメンバーが臨機応変に対応して下さり終始助けて頂きました。ここにも共助が生まれていたと思ひます。委員会の垣根を超え協力して下さったメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

(13) 添付資料

事業収支計算書(案)

収支計算明細書(案)

アンケート結果(参考資料)

事業風景(参考資料)

第12回理事会 2019年 12月 5日

事業収支計算書(案)

事業名 DA!DA!DA!大脱出～楽しく学防祭～

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		300,000	300,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入	販売収入		160,000	79,850	80,150	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				460,000	379,850	80,150	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0			
			食事代支出			0			
			会場費支出			0			
			設営費支出			0			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
		小計		0	0	0			
		企画演出費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			企画費支出	268,894	240,716	28,178			
			演出費支出			0			
			旅費交通費支出			0			
		小計		268,894	240,716	28,178			
		本部関係費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出			0			
			旅費交通費支出			0			
			通信費支出			0			
			運送費支出			0			
			消耗品費支出			0			
			レンタル料支出			0			
			保険料支出			0			
		小計		0	0	0			
		講師関係費支出	食事代支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
			保険料支出			0			
			諸謝金支出			0			
			会合費支出			0			
		小計		0	0	0			
		広報費支出	運営費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			通信費支出			0			
			消耗品費支出			0			
			レンタル料支出			0			
			作成費支出	37,180	37,180	0			
		PR費支出			0				
		小計		37,180	37,180	0			
		資料作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出			0			
		小計		4,800	4,800	0			
		報告書作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出			0			
		小計		0	0	0			
		懇親会費支出	人件費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			旅費交通費支出			0			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
			保険料支出			0			
			飲食費支出			0			
		小計		0	0	0			
		渉外費支出	役員渉外費支出				0		
			記念品代支出				0		
		小計		0	0	0			
		旅費交通費支出	旅費支出				0		
			交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
		小計		0	0	0			
		参加記念品代支出					0		
		保険料支出					0		
		通信費支出					0		
		販売物品仕入支出					0		
		雑費支出					0		
		事業予備費支出					0		
		余剰金					97,154		
		支出合計				310,874	379,850		

●余剰金 ¥97,154 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

一般社団法人尾道青年会議所

DA！DA！DA！大脱出～楽しく学防祭～

アンケート結果（参考資料）

脱出ゲーム参加者258名 アンケート148枚での集計結果となります。

1. 【今後予想される大地震を不安に思うことはありますか。】

いつも思う 37名
時々思う 88名
ほとんど思わない 21名
まったく思わない 3名

2. 【災害について家族や身近な人と話合った事がありますか。】

ある 98名
ない 51名

3. 【大地震に対して心配している事は何ですか（3つ選んでください）】

ア、家屋などの倒壊 イ、火災の発生 ウ、家族の安否 エ、家具などの転倒による危険性
オ、電気、ガス、水道の供給の停止 カ、食料品、日用品の不足 キ、津波の危険性
ク、土砂災害 ケ、河川崩壊による水害 コ、農林水産物への被害 サ、職場、学校の被害
シ、通信網の断絶 ス、その他（ ）

解答の多い順に記載致します。

ウ、家族の安否・・・97名
ア、家屋などの倒壊・・・69名
オ、電気、ガス、水道の供給の停止・62名
カ、食料品、日用品の不足・・・53名
イ、火災の発生・・・36名
ク、土砂災害・・・26名
エ、家具などの転倒による危険性・・・21名
キ、津波の危険性・・・17名
サ、職場、学校の被害・・・13名
ケ、河川崩壊による水害・・・7名
コ、農林水産物への被害・・・5名
シ、通信網の断絶・・・5名
ス、その他・・・1名

4. 【お住まいの近くにある避難所の場所を知っていますか。】

知っている 123名
知らない 25名

5. 【災害に対して普段から備えをしていますか。】

している 69名
していない 79名

6. 【問5で「している」と答えられた方にお聞きします。どういった備えをしているか、次の中から選んでください（複数回答可）】

- ア、避難経路や避難場所の確認
- イ、家具、冷蔵庫、テレビなどの固定化
- ウ、寝室の安全化（危ない物を遠ざけたり、寝る位置を変えるなど）
- エ、火災対策（燃えやすい物を火から遠ざけたり、毎回ガスの元栓を締めるなど）
- オ、消火器の設置
- カ、お風呂にお湯を溜めておく
- キ、火災警報器の設置
- ク、防災用品をそろえる
- ケ、家屋の耐震診断
- コ、家屋の耐震化や門扉の倒壊防止
- サ、被災後の家族の役割分担を話合う（家族と避難方法や連絡方法を決めている）
- シ、貴重品などをすぐに持ち出す準備
- ス、その他（ ）

解答の多い順に記載致します。

ア、避難経路や避難場所の確認	37名
ク、防災用品をそろえる	30名
ウ、寝室の安全化（危ない物を遠ざけたり、寝る位置を変えるなど）	24名
カ、お風呂にお湯を溜めておく	22名
キ、火災警報器の設置	21名
エ、火災対策（燃えやすい物を火から遠ざけたり、毎回ガスの元栓を締めるなど）	17名
イ、家具、冷蔵庫、テレビなどの固定化	14名
シ、貴重品などをすぐに持ち出す準備	14名
オ、消火器の設置	12名
サ、被災後の家族の役割分担を話合う（家族と避難方法や連絡方法を決めている）	7名
ス、その他（食料品、飲料水）	3名
ケ、家屋の耐震診断	2名
コ、家屋の耐震化や門扉の倒壊防止	1名

7. 【地域の自主防災活動・訓練に参加したことがありますか】

いつも参加している 9名
参加したことがある 63名
参加したことがない 74名

8. 【問7で「参加したことがない」とお答えになった方にその理由をお伺いします。】

地域にないから	13名
活動に関する情報がないから	30名
参加する時間がないから	19名
興味がないから	9名
その他（参加しにくい）	1名

9. 【災害時においてボランティア活動に参加したいと思えますか。】

積極的に参加したい	12名
条件があれば参加したい	80名
自分には無理とおもうので参加しない	13名
参加するつもりがない	9名
わからない	26名

10. 【昨年の豪雨災害の時、正確な情報は伝わっていましたか。】

伝わっていた	57名
伝わっていなかった	44名
わからない	34名
未回答	13名

11. 【南海トラフ大地震は何年以内にどのくらいの確率で、起こると思いますか。（調べず記入してください）】

正解は30年以内に70%～80%の確率で起こると言われております。

- ・1年以内60% ・2年以内20% ・2年以内25% ・2年以内30%
- ・3年以内50% ・3～5年以内15% ・4年以内60% ・5年以内30% ・5年以内80%
- ・8年以内50% ・10年以内100% ・10年以内90% ・10年以内78%
- ・10年以内70% ・10年以内60%～70% ・10年以内50% ・10年以内30%
- ・10年以内15% ・12年以内80% ・15年以内40% ・20年以内93%
- ・20年以内70% ・20年以内50% ・20年以内30% ・30年以内100%
- ・30年以内80% ・30年以内70% ・30年以内50% ・30年以内30%
- ・50年以内65% ・50年以内50% ・数年以内に80%
- ・無いと思いたい ・わからない ・あまり大きいのは無いと思う

12. 【今日の防災脱出ゲームに参加してみたの感想を聞かせて下さい。】

- ・意外とリアルで、ドキドキしました。楽しく学べて良かったです。
- ・すごく怖かったです。
- ・防災の知識が無い事を実感しました。
- ・ためになった。

- ・災害に備えての準備をしようと思った。
- ・子供達が喜んで「171」を見つけた時が一番盛り上がっていました。
- ・楽しかったけど、少し怖かった。
- ・ドキドキしたけど、最後脱出出来てよかった。
- ・急いでやらないという気持ちと焦った気持ちが続いた。
- ・災害について関心を持てた。大人も関心が持てる
- ・3才の子供には怖かったみたいです。
- ・防災の事が良く分かったし、楽しかったので、参加してよかった。
- ・難しかったけど、楽しかった。
- ・災害時伝言ダイヤルの番号を知らないという現実・・・勉強になりました。
- ・災害時伝言ダイヤル、スリッパの作り方など知らなかったなので、勉強になりました。
- ・思った以上に進めなかった。
- ・災害時のスリッパを家で作ってみたい
- ・また参加したい。参加してよかったです。
- ・時間ばかり気になり、ゲームを解く事ばかりきになり、防災の事が身に入らなかった。
- ・子供には難しかった。
- ・気付いていない事が、確認出来た。
- ・一位で脱出出来た。商品が、良い品揃いだった。
- ・最初は、面白いかなと思っていたけど、やってみたら、とても面白かった。
- ・防災について考える良いきっかけになった。
- ・どんなものか分かりませんでしたでしたが、参加して防災の大切さを学びました。
参加型で大変おもしろかったです。
- ・ドキドキしながら、子供と一緒に取り組む事が出来て良かった。
- ・いざという時に必要な物や、どうすれば良いかが少し分かった。
- ・実際に災害時に役立てれそうな事を学べて良かったです。
- ・室内が暗い為、小さい子供達が、ライトにつまづいたり、危ない場面もあった。
- ・防災についての勉強が、ゲーム感覚で出来て、楽しく学びました。
- ・とても為になる答えが多く自分が間違っていることなどが分かってよかった。
- ・子供が保育所だったので、少し難しかった。制限時間があること、急いで逃げなければいけない事はわかったみたいで、良かった。
- ・子供が小さく少し難しかったが、母が楽しむ事ができた。
- ・いきなりで、ビックリしました。だいたい災害は、こういうものなのかなと思いました。
- ・防災意識を高めるのに役立った。知識が身に付いた。
- ・いろいろ防災に関する事が学べて良かったです。
- ・ゲーム形式で、知らないうちに知識が身に付くと思いました。
- ・今後、災害が起きた時に実践してみたいです。
- ・おもしろくなかった
- ・かんたんだった。

- ・子供の防災の意識づけには良かった。ただ、小学校低学年には、難しかった。
- ・場の雰囲気と時間制限もある為、子供がパニックになってしまったので、実際に災害が起きた時の事を考えると不安になった。大人が冷静に判断して導いてあげないといけないと思いました。
- ・防災について興味がわいた。
- ・防災の為に準備が必要だと再認識しました。
- ・子供向けの防災ビデオを見ていて分かっているつもりでしたが、もう一度学習し直します。
- ・人を助けるみたいなものや、クイズだと思わなかった。
- ・小学2年には難しかった。どの年齢を対象としているのかチラシに書いてあると助かる。
- ・制限時間が設定してあり、リアルで楽しかったです。問題が少し難しかったです、4年と2年の男の子には、楽しめていました。ゲーム感覚で災害の事が知れて良い経験になりました。
- ・時間内にクリア出来るかドキドキして頭が回らなかったです。本当の災害の時も時間が無い中、落ち着いて行動出来るのか心配です。事前に考えておかないとすぐに対処できないので、よい機会になりました。

13. 【防災脱出ゲームに参加する前と、参加した後での防災に対する考え方の変化を率直にお聞かせ下さい】

- ・今すぐ行動出来るように防災グッズの見直しをしたいと思います。
- ・新聞紙やビニール手袋を使っているんな物が作れる事が知れて良かったです。実際に避難所で過ごした事は無いのですが、いつ起こるか分からない災害に対して、子供と話すきっかけになりました。
- ・みんなが、自分と、周りの人を安全に守れるよういつも心にとめときます。
- ・まあ逃げれるかなと思っていただけ、実際はすごく怖かったです。なめたら駄目だなと思いました。
- ・備えが大切だと思います。自助、共助
- ・まずは、自分を守ることを知りました。
- ・知識を磨かないといけないなと感じています。
- ・防災訓練に積極的に参加したい。
- ・家庭内での準備から始めようと思いました。
- ・やはり災害は、なんでも怖いものだと改めて感じました。
- ・地域や職場で、災害についてもっと考えようと思う。
- ・非常食の準備をしておこうと思った。
- ・普段からもっと備えをしようと思った。
- ・災害はいつ起こるか分からないから、避難する準備をしようと思いました。
- ・171（災害時伝言ダイヤル）を知って、いつでも掛けれるよう覚えておこうと思いました。
- ・家に帰ってどこに、何があるか確認します。
- ・子供も勉強になったし、興味を持ったと思うので、もう一度話をしようと思った。
- ・知らない事が多すぎて、自分にビックリしました。しっかり勉強しておきたいと思った。
- ・改めて必要な物を準備しておかなければと思う。
- ・自助、共助、公助 やはり地域との関わりを増やしていかないといけないと思いました。
- ・いつでも逃げれる様な行動、準備をしておかないといけないと思いました。
- ・何が必要なのが分かった。

- ・制限時間内に解答する＝非常時に似た状況だったので、焦った時に落ち着いて行動しなければいけないと再認識した。
- ・準備と訓練は、しておいた方が良かった。
- ・かわってない
- ・もう一度家で、考えてみようと思った。
- ・確認も出来たし、改めて必要な物も分かった。防災用品の見直しをしようと思いました。
- ・防災についてもっと知ろうと思いました。
- ・これから何が大切か知る事が出来ました。
- ・改めて防災の知識をつけ、実行する必要があると思った。
- ・水の違いを知り、経口補水を置いておきます。
- ・備えがあると少しは安心できると思った。
- ・少し変わりました。
- ・もっと準備をしようと思いました。
- ・防災について考えるきっかけになった。
- ・歯ブラシがそんなに大切とは、ビックリした。「171」も苦労して探したので、覚えていると思う。
- ・分かっているつもりでも、以外に実際起きると冷静に行動出来ないと思いました。
- ・災害は、いつ起こるか分からないから少し不安
- ・いつもは、災害時に何も感じず生活していたけど、脱出ゲームをして早めに準備しなければいけないと感じました。
- ・備品や薬など備えておこうと思います。
- ・災害は、とても大変な物と知った。
- ・いつかしようと思ってた備えを今しようと思いました。
- ・子供にも楽しく問題を解きながら、防災について学ぶ機会が出来て「防災」について家族で話し合うきっかけになりました。去年の断水の大変さを忘れかけていた頃だったので、良いきっかけになりました。
- ・もう少し準備する物を追加しようと思いました。
- ・防災に関する事は、大変という事が分かったので、気を付けていきたいです。
- ・災害が起こるとたくさん怖いことが起きると分かりました。「自助」「公助」「共助」を覚えたいです。
- ・災害は身近に起こると改めて感じた。
- ・ボランティアに積極的に参加しようと思った。
- ・参加する前は防災に対することを考えていなかったけど参加してからは防災の事を考えられるようになった。
- ・急いで行動しないといけないと思いました。
- ・防災グッズにどんな物が必要かわかった。
- ・避難する時にどうしたらいいのか具体的に分かった。
- ・もっと身近に感じる様な体験をする事が防災訓練につながると感じました。
- ・普段から防災を意識して生活をしたい。

14. 【一般社団法人尾道青年会議所では、これからも防災に対する活動を行ってまいります、機会があれば参加してみたいと思いますか。】

思う 115名

思わない 8名

その他 8名

未回答 17名

事業風景（参考資料）





一般社団法人 尾道青年会議所 事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：次代を担う宝育成委員会

委員長名：加藤 雄大

(1) 議案名 11月例会行事 事業報告（案）決算（案）に関する件

(2) 事業名 11月例会行事 テーマ 「次代へ繋ぐ『変わらないもの』」

(3) 事業実施に至る背景

本年度、当委員会が1年間活動してきたことを振り返って検証し、活動を通じて得られた学びを共有し、地域や家庭内で子どもたちの成長を見守り、『ひとづくり』、『まちづくり』を行っていく立場として周囲に還元していく必要があります。

(4) 事業目的（趣旨）

a.（対外）

b.（対内）当委員会の活動に携わって頂いた様々な立場の方々と交えて、客観的な視点から本年度の活動を検証し、親として、青年経済人として、また青年会議所メンバーとして、家庭や地域に還元できる様々な気づきを得ることで、今後日々の生活や青年会議所活動を通じて次代を担う地域の子どもたちを育てていくための学びの一助として頂くことを目的とします。

(5) 実施日時 2019年11月18日（月） 19時00分～19時20分 セレモニー
19時20分～19時45分 バッジ授与式
19時45分～20時50分 例会行事

(6) 場 所 尾道国際ホテル

(7) 参加人員 内部 59名 外部3名 計62名
(内部内訳：現役会員51名、新入会員8名)

(8) 外部協力者 SHOKU LEAD 代表 / 管理栄養士 馬明 真梨子 氏
佐藤農園 (K&K Farm) 代表 / 佐藤 顕治 氏
やまそらPerch Café オーナー / 清水 麻紀 氏

(9) 事業の目的は達したか？

アンケート結果からも、親として、また青年会議所メンバーの一員として、『食』に関連することや今後の青年会議所活動に役立てることのできる気づきがあったというメンバーがいらっしまったこと。また、当委員会の活動を受け、ご自身やご家族の意識や行動が変化していることが分かったことから、本事業の目的は達したと考えます。

(10) 実施上の問題点

今回の例会は3名の講師を招いてのパネルディスカッション形式とした為、マイクを3名の講師に1本ずつの計3本、演台の進行役に1本、JCメンバーへ話を伺うためのマイクラン用に1本、司会用に1本、合計6本のマイクの使用を想定していましたが、国際ホテルに確認したところ通常の例会で使用している慶安の間ではマイクを4本しか設置していないことがわかりました。当日は講師用のマイクの本数を減らして対応しましたが、どうしても複数マイクが必要な設えの場合は注意が必要です。

(11) 次年度への引継事項

毎年の事ではありますが、11月例会はバッジ授与式後に例会行事がスタートする為、事前に新入会員の人数やバッジ授与式のおおよその所要時間を考慮して例会を設える必要があると考えます。また、例会開始前のリハーサルにおいても、バッジ授与式と例会行事のリハーサルがバッティングしないように担当委員会同士で事前に連携を取っておくと良いと考えます。

(12) 委員長所見

本例会では『食』に関連にした気づきの他に、外部団体との関わり方を含めて当委員会の1年間の活動を一つのサンプルとして検証することによって、メンバーの皆様の今後の生活やJC活動のお役に立てればという想いで設営をさせて頂きました。アンケート結果からも、活動を俯瞰してみる検証の場にした意味があったと考えます。

また、同じ例会講師を2度お招きするという手法にトライしました。年間通じて連携を取らせて頂いたこともありましたが、話の方向性もブレずに進行出来た為、活動内容や例会内容にもよると思いますが、一つの手法として考慮に入れても良いのではないかと思います。

通常の例会としては最初となる2月例会と最後の11月例会を担当させて頂きました。最初から最後まで同じテーマを貫くという想いで走ってきましたが、最後まで皆様にあたたく見守って頂き、ご協力頂いたからこそやり切ることが出来ました。本当にありがとうございました。

(13) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

11月例会アンケート集計結果（参考資料）

次代を担う宝育成委員会活動報告パンフレット（参考資料）

第12回理事会 2019年12月 5日

事業収支計算書(案)

事業名 11月例会行事 テーマ「次代へ繋ぐ『変わらないもの』」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		60,000	60,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				60,000	60,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			会場費支出	7,000	7,000	0	(有)メディアジャンクション	
			設営費支出			0		
			運送費支出			0		
			レンタル料支出			0		
		小計				7,000	7,000	0
		企画演出費支出	人件費支出				0	
			食事代支出				0	
			企画費支出				0	
			演出費支出				0	
			旅費交通費支出				0	
			小計			0	0	0
		本部関係費支出	人件費支出				0	
			食事代支出				0	
			会場費支出				0	
			設営費支出				0	
			旅費交通費支出				0	
			通信費支出				0	
			運送費支出				0	
			消耗品費支出				0	
			レンタル料支出				0	
			保険料支出				0	
		小計			0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出				0	
			旅費交通費支出				0	
			宿泊費支出				0	
			保険料支出				0	
			諸謝金支出				0	
			記念品代支出	10,800	10,800	0	川原食品株式会社	
		小計				10,800	10,800	0
		広報費支出	運営費支出				0	
			会場費支出				0	
			設営費支出				0	
			通信費支出				0	
			消耗品費支出				0	
レンタル料支出					0			
作成費支出					0			
PR費支出					0			
小計				0	0	0		
資料作成費支出	通信費支出				0			
	資料費支出	34,056	34,056	0	事務局・紙誠株式会社			
	消耗品費支出				0			
	レンタル料支出				0			
小計				34,056	34,056	0		
報告書作成費支出	通信費支出				0			
	資料費支出				0			
	消耗品費支出				0			
	レンタル料支出				0			
小計				0	0	0		
懇親会費支出	人件費支出				0			
	会場費支出				0			
	設営費支出				0			
	旅費交通費支出				0			
	運送費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	保険料支出				0			
	飲食費支出				0			
小計			0	0	0			
渉外費支出	役員渉外費支出				0			
	記念品代支出				0			
小計				0	0	0		
旅費交通費支出	旅費支出				0			
	交通費支出				0			
	宿泊費支出				0			
小計				0	0	0		
参加記念品代支出				0	0	0		
保険料支出				0	0	0		
通信費支出				0	0	0		
販売物品仕入支出				0	0	0		
雑費支出				0	0	0		
事業予備費支出				0				
余剰金					8,144			
支出合計				51,856	60,000			

●余剰金 ¥8,144 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名 _____ 11月例会行事 テーマ「次代へ繋ぐ『変わらないもの』」

<収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	60,000	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
合 計				60,000	60,000	0	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	看板代	7,000	7,000	0	(有)メディアジャンクション	
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
		小 計			7,000	7,000	0	
		資料費作成支出	資料費支出	アンケート資料	264	264	0	事務局 88名×3円×1枚
							0	(※新入会員15名分含む)
							0	
			資料費支出	配布資料(3枚1セット)	792	792	0	事務局 88名×3円×3枚
							0	(※新入会員15名分含む)
			資料費支出	活動記録冊子(250部)	33,000	33,000	0	紙誠株式会社
							0	
							0	
		小 計			34,056	34,056	0	
		講師関係費支出	記念品代支出	記念品代(3名分)	10,800	10,800	0	川原食品株式会社
							0	
							0	
							0	
							0	
		小 計			10,800	10,800	0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
		小 計			0	0	0	
							0	
							0	
							0	
		小 計			0	0	0	
		参加記念品代支出					0	
		保険料支出					0	
	通信費支出					0		
	販売物品仕入支出					0		
	雑費支出					0		
事業予備費支出								
	余 剰 金				8,144			
支 出 合 計				51,856	60,000			

1 1月例会 「次代に繋ぐ『変わらないもの』」

アンケート集計結果

1 1月例会出席者数・・・59名（内8名 新入会員）

アンケート回収対象人数・・・52名（※次代を担う宝育成委員会7名を除く）

アンケート回収枚数（回収率）・・・37枚（71%）

1. 2月例会以降、当委員会の担当事業の中で、ご参加・ご出席頂いたものはどれですか？

（※複数チェック可）

- 2月例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・27名
- 家族会・・・・・・・・・・・・・・・・・・13名
- 食育サマースクール in ハラダ・・・・・・・・20名
- 1 1月例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・37名

2. 2月例会以降、普段の生活の中で自分自身やご家族の『食』に関することで、些細なことでも何か意識や行動を変えたこと（変わったこと）はありますか？

- ある・・・・・・・・・・・・・・・・・・26名
- ない・・・・・・・・・・・・・・・・・・11名

3. 質問1で【ある】にチェックされた方にお伺いします。

普段の生活の中で、意識や行動をどのように変えましたか？（変わりましたか？）

<自分自身への意識や行動の変化>

- ・少しだけ普段食べるものに気を遣うようになった
- ・好きなものばかり食べない
- ・残さず食べる
- ・間食を控える、フルーツや緑黄色野菜を摂る、食べ過ぎない、食べる時間帯を気を付ける等自分なりに食生活を変えています
- ・食材や料理、調理に対して考えるようになった

<ご家族に向けた自分自身の意識や行動の変化>

- ・同時でなくとも家族がいる際には近くで食事をするようになった
- ・家族でご飯を食べる時、何でできているか、どこで作られているかなど、些細なことですが、食に触れる会話をしています
- ・子どもが一人で食事をしていたら、そばにいるようになった
- ・子どもはまだ小さいが、早い段階から食に触れさせ、また家族の会話でも食について話していきたい

- ・家族揃って朝食は食べる
 - ・食事の時間を大切にできるようになった
 - ・子どもの食についての話し方が変わった
 - ・バランスの良い食事、子どもの食への意識について
 - ・共食の大切さ、食べ物だけではなく誰と食べるかも大切
 - ・笑顔で食べるように意識しました
 - ・自分も嫌いな食べ物は絶対食べなかったが、子どもに嫌いな物を食べさせる為に子どもの目の前で嫌いな物を食べる姿を見せて食べさせるようになるようになった
 - ・食卓と一緒に参加しないといけないと思うようになった
 - ・子どもと一緒に食事を摂るように意識するようになった
 - ・子どもの好き嫌いを叱るのではなく、まずなぜ嫌いなのかを聞くようになった
 - ・スーパーに子どもと行き、食材を見て楽しむ、何が美味しそうか見てどれを食べるか決める
- (※一部抜粋)

4. 質問2で【ない】にチェックされた方にお伺いします。

本日の例会に出席されてみて、改めて何か気づきがありましたか？

- 気づきがあった・・・・・・・・・・ 9名
- 特に無かった・・・・・・・・・・ 2名

5. 質問2で【ない】にチェックされた方にお伺いします。

本日の例会の内容がお子様の『食』に関するお悩み解決の参考になりましたか？

- 参考にしたい・・・・・・・・・・ 9名
- 特に参考にならなかった・・・・・・・・ 2名

6. 本日の例会に参加して、日常生活や子育て、青年経済人としての仕事の場面やJCメンバーとして今後の青年会議所活動などに役立てられる話がありましたか？

- あった・・・・・・・・・・ 35名
- なかった・・・・・・・・・・ 2名

【考察】

<内容について>

2月例会以降当委員会の活動を通じて、ご自身あるいはご家族に対しての『食』に関する意識が変わったメンバーが大半を占め、実際に日々の生活の中でも行動に移して頂いているメンバーが多くいらっしゃいました。多忙な生活の中で家族との食事の時間を確保する工夫や意識をされている方や、食事中の時間以外にも食に触れる機会をお子様と作っている方がいたり、各々内容は違っていますがポジティブな意識や行動の変化が見受けられることから、今回1年間通じて同じテーマを掲げて活動してきた成果があったと考えます。

また、質問 6 で多数の方が「役立てられる話があった」と回答頂きました。この部分に関しては聞き手それぞれに気づきとなるポイントに違いがあったかとは思いますが、本例会にご参加頂いたメンバーの今後の日々の生活やJC活動の中で活かして頂くことで本年度の当委員会の活動全体が意味のあったものになると思います。

<講師選定について>

本例会では、同じ例会講師を2度お招きするという形になりましたが、年初からこのような形をイメージしていたわけではありませんでした。最終的にこういった形をとった要因としては、馬明先生をはじめ、事業に関わって下さった講師の方々を『その事業1回限りの外部協力者』と位置付けるのではなく、自分たちの活動のアドバイザーとして考え、年間通じて良好な関係を継続し、連携を取らせて頂いたことが大きな要因の一つでした。継続してコンタクトを取っていたことで例会のイメージの共有もスムーズにでき、結果として再度講師としてお招きをするのにふさわしいと判断しました。一度事業にご協力頂いた外部協力者の方とは、それっきりになってしまう場合がほとんどかと思いますが、継続してコンタクトをとることで事業計画・実施の幅が広がる可能性もあると考えます。

子どものために考えたい

食の はなし



ご挨拶

まずは、この冊子に取って頂き、ありがとうございます。
 私たちは、2019年度 一般社団法人尾道青年会議所 次代を担う宝育成委員会です。私たちは、『子どもたちが【食】を通じて、心身ともに健やかに成長し、生きる力を育むためのきっかけづくり』をテーマに1年間活動して参りました。様々な調査・実践・実証・研究を重ねながら活動の中で、多くの学びと発見を得ることができました。

お子様の『食』に関して悩みを持っている親御さんが大勢いる

これも活動の中で得た気づきの1つでした。こうしたお悩みを持つ方々にも『何かお伝え出来ることがあるのではないか』、そう思い本資料の作成を致しました。

私たちは『食』に関する専門家ではありません。本資料に記載の内容も私たちが活動の中で得た学びのまとめであり、『食』に関する専門書ではありませんが、ご覧頂いた方々の『食』に対する関わり方や意識が少しでも変わるきっかけとなれば幸いです。

みなさまのこれから先の人生が『食』を通じて豊かで、健やかな毎日になりますように。

2019年度 一般社団法人尾道青年会議所
 次代を担う宝育成委員会 一同

現状の課題・考えたいこと

家庭環境、社会背景の変化の影響などもあり、家族で食時間を共有しにくい状況になってしまったり、食時間を大切にできない人が減っているとも考えられる。

こうした影響で『こ食』状態になってしまっているご家庭、あるいは子どもが増えすぎてしまっている状況。

その結果、『きょう食』をすることができず、食べることへの興味が薄れ、食べることが楽しみではないという状態になってしまい、偏った食生活になり、心身の発育・発達や将来の健康に良くない影響を及ぼす可能性がある。

食に興味・関心をもってもらい、『食を楽しむ子どもを育むこと』が、子どもたちの健やかな成長に繋がっていくと考え、様々な事業を展開しました。

食育の課題

7つの「こ」食

- 孤食：ひとりで食事を食べる
- 子食：子どもだけで食べる
- 個食：家族それぞれ違う食べ物を食べる
- 固食：自分の決まったものしか食べない
- 小食：いつも食欲がなく、食べる量が少ない
- 粉食：粉製品を中心に好んで食べる
- 濃食：濃い味を好んで食べる

きょう食

- 共食：一緒に食べる
- 協食：協力して食べる
- 教食：食を教わる
- 今日食：今日食べられる食を大切に(感謝の気持ち)
- 京食：京都発祥の江戸時代の和食
- 器用食：箸が上手に使えるように
- 清う食：味覚が整い、心や体がきれいに
- 起用食：体を目覚めさせる
- 喜陽食：ニコニコ楽しく

出典: Culinary design ひとはし∞ 永原味佳 氏

問題・課題に対する取り組み・実践の活動紹介

2月例会

子どもたちにより一層健康になってもらうために、現代の子どもの『食』に関する課題や問題点を認識し、子どもたちを見守る立場として、日常生活の中での『食』に対する意識や行動を変える為の学びを得ることができました。『こ食』、『きょう食』といったキーワードもこの例会で学ぶことができました。



家族会

普段食べているものがどのようにして出来ているのかを学ぶ『ミニ食育講座』を実施したり、昼食は家族みんなで一緒に作って、一緒に食べるという【きょう食】を実践しました。参加してもらったお子様たちには、食べるものを作る喜びと難しさ、そして美味しさを知って頂く良い機会となりました。



1day食育サマースクールinハラダ

『植える⇒収穫⇒調理⇒食べる』という、日頃気なく食べているものが口入るまでの工程を1日で全て体験して頂く体験プログラムを実施しました。普段とは違った角度で『食』に触れることで、子どもたちに、『食』は美味しく、楽しいものだ!と感じてもらえました。

実際にこの日の楽しい経験をきっかけに、それまで苦手だった野菜が食べられるようになったり、食べるものに感謝する意識を持てるようになったというポジティブな変化のあったお子様が多くいらっしゃいました。



11月例会

1年間通じて活動してきたことを振り返って検証する場となりました。1年間の活動の中でお世話になった食の専門家の講師の先生をお招きし、様々な意見を交わしながら、今後の生活の中でどういった意識で『食』に向き合っていくかという点について考えました。





取り組みから得られた成果

考察

体験プログラム(1day食育サマースクールinハラダ)を通じて実際に子どもたちどのような変化があったのか?

アンケートでの質問と回答

(※1 day食育サマースクール実施時の保護者向けアンケートより)

<質問>

プログラム参加後にお子様の『食』に対する意識や行動、発言に何か変化はございましたか?
プログラムに参加されてみてのご感想も含め、ぜひご記入下さい。

小エメ味は、お料理の食材に挑戦したいタイプで、きらいな食べ物
が食卓に並ぶと、テンションが下がる。食べようとせず拒否
する傾向で、今日は「おす」が食べれた!! おいしかった!!
と喜んでいました。小さな事ですが、今日一日ですごい進歩だと

アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。

思いました。お礼とご報告しました。

娘は、「せつたいに残さず食べる!」と断言して実行しています(♡)
大変貴重な体験をさせてもらい感謝しております。家族皆で、食の事を改めて考える
いいきっかけになりました。LIVE配信もありが良かったです。
またスクールがあるのなら、是非参加したいです!お礼とご報告しました。

アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。

ここに記載のあるように、実際に苦手な野菜が食べられるようになったお子様や、残さずに食べることを継続して頑張ってくれているお子様など、『食』を楽しむという前向きな経験が、子どもたちの意識や行動が変化していくきっかけとなることばかりでした。



専門家からのアドバイス

本年度活動を重ねる中で、お子様の『食』に関してのお悩みを持つ保護者の方々が多くいらっしゃるといふ事実も数多く目の当たりにしました。

そこで、尾道青年会議所メンバーや体験プログラムにご参加頂いた保護者の方々から寄せられた、お子様の『食』に対するお悩みに対して、管理栄養士の馬明(まみょう)真梨子先生よりアドバイス頂きました。皆様の日々の生活の中でお役に立てて頂けると幸いです。

管理栄養士 馬明 真梨子先生からのアドバイス

皆様がお悩みになられている事柄が起きるには、家庭での食事環境、食事への価値観、食事知識、お子さんの発育発達状況、食べ方、食べさせ方など、それぞれ背景があるからこそ起きている事柄です。お悩みを持つ皆様の詳細な状況が分かりかねますが、以下ご参考にして頂けると幸いです。

●好き嫌いが多い

におい、味、見た目などおおいと感じる要因がたくさんあるのと同様に、好き嫌いと感じるポイントも様々な要因を秘めています。食感が苦手なのか、味が苦手なのか、食べにくいのか、切り方の問題なのか、怒られるからなど。また苦味のある食べものは、本能的に嫌います(避ける)。(嫌わない子もいます。)

一概に解決方法は断言できませんが、嫌いでも構わず食卓にあげましょう。また、会話が成り立つお子さんは何が嫌なのか聞いてみましょう。まだ会話ができないお子さんは何が嫌なのかを、観察してみましょう。食べられなくても、『味が嫌なんだね』など、怒らず共感してあげましょう。

食材に親しみを持つ、興味をもつことが好き嫌い克服にも一役買います。一緒に買い物をする、冷蔵庫から出してもらって、野菜を触ってもらって、調理をする、畑仕事をするなど、食卓以外で食べものとの距離感を近づけてあげましょう。

●子どもが食に興味がない(食に執着する様子がない)



【興味を持ってない理由が何なのか】によって解決策は異なりますが、『早く食べなさい』、『まだ食べてないの』などネガティブな声掛けはしていませんか? またお子さんの生活リズムはお腹がすくリズムになっていませんか? 食事中はみんな笑顔ですか?

上記の●好き嫌いが多いというお悩みへのコメントもご参考に、食事中以外でも食べものに触れる機会や家族だけでなく、友達や仲間と食事を囲む機会を沢山作ってあげることが大事だと思います。



●スナック菓子を毎日食べる

スナック菓子はエンブレフフード(栄養の不足した食べ物)と言われています。また摂らなくてもいい添加物等もとらざるを得ない食品です。

お子さんの場合は、『1回の食事で成長に必要な栄養素や量を摂りきれないのではおやつで足りないものを摂りましょう!』というアドバイスで1歳半健診や3歳児健診などの時にもお聞きになっているはずですが、まずは成長に必要な食事を整えることを優先してみましょう!

必要な栄養が足りていればスナック菓子は欲しくなくなります。また味が敏感な子ども時期こそ、自然の味、味覚を獲得する学習期間です。スナック菓子はその味覚が鈍る(大人も)ので、友達と大人数でワイワイするとき、特別な時、ご褒美で、と決めてあげると良いでしょう。

本来のおやつの中には、おにぎり、サンドイッチ、肉まん、果物、やきいも、ゼリー、ヨーグルト、せんべい、クッキーなどがおススメです。(決して手作りをおススメしているわけではありません!手の込んだおやつでなくて大丈夫!)



●食が細い

食べる意欲が低い、食べる体力が低い、お子さんの性格など様々な要因があります。また未就園児さんは食べ方、噛み方などを学習している時期なので、食材の大きさや固さが合っていないから食が細い可能性もあります。他には食事中、他に興味がでるものが入るなど環境も起



背景により解決方法が違いますが、食が細くとも、噛む意識を続けること(噛んで食べる食材を出すこと)で、食べる体力は育まれます。身体の機能を高める=食べる体力をつける⇒食べる量の改善に繋がります。また食事中が楽しくなく、食べる姿勢が悪いがために、噛めない、食べられない、食が細い、という子もいます。環境要因も見直してみましょう。

上記のおやつのお悩みでもコメントしたように、朝昼夕の3回の食事ではお子さんの成長で必要な栄養や量を補いきれないので、おやつ時間も意識していくことが大切です。

食べ方や食材の効果、食卓の在り方は即効的ではありません。また魔法でもありません。ですが、食事に対する想いやワクワク、楽しみ、美味しいはお子さんの心にとっては温かい魔法(愛情)となります。

これは【お子さんを思う、身体を思うこと=食を思う、考えること]であると私は考えています。そして『想うこと』は皆様自身の意識さえあれば良いのです。

上記コメントはキッカケにしかすぎないかもしれませんが、食を大事に、食で笑顔になるお子さんが益々元気で笑顔になり、皆様のご活動が益々のご発展されることを祈念しております。

SHOKU LEAD 代表/管理栄養士
馬明真梨子

まとめ

【食】という切り口から、子どもたちが心身ともに健やかに成長してもらうためのきっかけづくりをテーマに調査、研究、実践を行って参りました。その活動の中で、多くの学びを得ることができました。

子どもたちに『食』に美味しく、楽しく触れる機会をたくさんつくってあげてほしい

これが、私たちが辿り着いた最も皆様に伝えたい想いです。

食が細い、好き嫌いが多い、食べるのが遅いなど、お子様の『食』についてお悩みになることが多々あるかとは思いますが、その一つ一つに真摯に向き合っていくことも大切だとは思いますが、まずはシンプルに『食』を楽しむことを改めて考えてみてはいかがでしょうか。

一緒に食べることも、協力して食べることも、食を教えたり、教わったりすることも、誰かと一緒に食べられないことでも、まずは、お子様に一番近い存在のご家族で、一緒にあって『食』に美味しく、楽しく触れていくって頂きたいと思えます。

食材を買いに行く、一緒に夕飯の準備をする、ちよっとした野菜を家庭で育ててみる、そういった何かないことも子どもたちにとっては『食』を楽しむことに繋がるのではないのでしょうか。

大人にとっては少し我慢が必要な瞬間もあるかもしれませんが、もしかしたらそれは子どもたちにとってワクワク、ドキドキの瞬間なのかもしれません。ぜひそういう機会を子どもたちにとたくってあげて欲しいと思います。

活動にご協力頂き誠にありがとうございました



原田芸術文化交流館 やまそら(NPO法人原田芸術文化交流館)
<https://ja-jp.facebook.com/yamasora.harada/>



SHOKU LEAD 代表/管理栄養士 馬明(まみょう)真梨子氏
<https://shokulead.wordpress.com/>

尾道スローフードまちづくり推進協議会

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/life/3/23/130/>



最後に、私たち次世代を担う宝育成委員会の活動を支えて下さり、携わって下さった全ての方々から感謝致します。ありがとうございました。

一般社団法人 尾道青年会議所 事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：拡大研修委員会

委員長名：小林暢玄

(1) 議案名 新入会員研修の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件

(2) 事業名 新入会員研修

(3) 事業実施に至る背景

新入会員が初年度の青年会議所活動をスムーズに行っていけるよう新入会員ガイダンス、仮入会員研修の中で説明した事を体験として学んでいく必要性があります。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）新入会員が青年会議所活動を体験として肌で感じることを目的とします。

(5) 実施日時 2019年10月21日（月） ～ 11月23日（土）

(6) 場 所 尾道青年会議所事務局・尾道商工会議所301・ベイタウン尾道・尾道駅前緑地帯広場

(7) 参加人員 内部 18名 外部 名 計 18名
（内部内訳：新入会員8名、拡大研修委員会9名、池田知和委員長）

(8) 外部協力者

(9) 事業の目的は達したか？

本年の新入会員研修は11月23日に実施された活気溢れる組織作り事業において、決められた背景・目的の下、ブース出店することを手法として設定し、新入会員で構成する委員会運営を当日と合わせて計4回行いました。

研修の中で事業の構築の仕方を体験し、新入会員が持つそれぞれの強みも生かしながら一致団結して委員会運営を行えました。また、幹事の役割や手続きの仕方などもお伝えし、1年目のJC活動をイメージをして頂くことが出来ました。

よって本事業の目的は達成したと判断できます。

(10) 実施上の問題点

特にありません。

(11) 次年度への引継事項

研修としてスクール形式で活動をお伝えすることも大切ですが、それをベースとし体験として研

修を行う事が非常に有効でした。新入会員同士がお互いの人柄を把握することもでき、また物品の手配などで先輩や現役会員ともやり取りを行う事も出来ました。今後の委員会の際にも役立つことが多かったと考えますので、仮入会員や新入会員にこういった機会を早めに提供することを推奨いたします。

(12) 委員長所見

研修の中で幹事の役割や諸手続き、JCIクリードなどの唱和も行いましたが、数回ではなかなか覚えられないこともあるかと思いますので、次年度委員長・副委員長の皆様を中心に、是非とも幹事の事を気にかけて頂き、JC活動が着なく行えるようフォローをよろしくお願い致します。

(13) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

新入会員研修 活動報告（参考資料）

第12回理事会 2019年12月 5日

事業収支計算書(案)

事業名 新入会員研修

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		50,000	50,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入			50,000	62,000	-12,000	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
寄付金収入	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入						0	
募金収入						0	
収入合計				100,000	112,000	-12,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出	25,000	16,893	8,107	基連高王会講師(後)泊尾工芸(有)高層設備・せいちゃんら・セブンイレブン・ダイソー(株)キヤンドゥ
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計	25,000	16,893	8,107		
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出	50,000	55,167	-5,167	せいちゃんら(有)源田商店・ダイレックス(株)・Fukuya
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計	50,000	55,167	▲ 5,167		
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		小計	0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			謝礼金支出			0	
			会合費支出			0	
		小計	0	0	0		
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
設営費支出				0			
通信費支出				0			
消耗品費支出				0			
レンタル料支出				0			
作成費支出				0			
PR費支出				0			
小計	0	0	0				
資料作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出	135	135	0	資料費		
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
小計	135	135	0				
報告書作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
小計	0	0	0				
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出			0			
小計	0	0	0				
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
	記念品代支出			0			
小計	0	0	0				
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
小計	0	0	0				
参加記念品代支出			0	0	0		
保険料支出			0	0	0		
通信費支出			0	0	0		
販売物品仕入支出			0	0	0		
雑費支出			0	0	0		
事業予備費支出			24,865				
余剰金				39,805			
支出合計				100,000	112,000		

●余剰金 ¥39,805 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名 新入会員研修

<収入明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			50,000	50,000	0	
販売収入			あら汁・ソフトドリンク・アルコール	50,000	62,000	-12,000	
						0	
						0	
						0	
合 計				100,000	112,000	-12,000	

<支出明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	301部屋使用料・テントクロス・プロパンガス・容器・備品類(ロープ・布巾・ゴミ袋・調理用手袋・包丁など)	25,000	16,893	8,107	尾道商工会議所@500・(株)沼尾工藝@5,500・(有)高垣設備@5,500・せいちゃんち@3,932・セブイレブン@251・ダイソー@990・(株)キャンドウ@220	
						0		
						0		
						0		
						0		
				小 計	25,000	16,893	8,107	
	企画演出費	企画演出費	あら汁材料・飲料水・薬味類	50,000	55,167	-5,167	せいちゃんち@25,000・(有)原田酒店@28,620・ダイレックス(株)@178・Fukuya@1,369	
						0		
						0		
						0		
				小 計	50,000	55,167	-5,167	
	資料作成費支出	資料費支出	資料(3円×1枚×15名×3回)	135	135	0	事務局	
						0		
						0		
						0		
				小 計	135	135	0	
						0		
						0		
						0		
			小 計	0	0	0		
					0			
					0			
					0			
			小 計	0	0	0		
					0			
					0			
					0			
					0			
					0			
					0			
					0			
事業予備費支出				24,865				
余 剰 金					39,805			
支 出 合 計				100,000	112,000			

2019年度 新入会員研修 活動報告

(参考資料)

第1回(2019.10.21) 於:事務局



写真①



写真③



写真②

写真①
魚谷委員が委員長役を務めました。歴の短いメンバーが経験をすることで理事の役割を知りきつかけ作りにもなったと考えます。
また、岡君からは母親・女性目線、神原君からは飲食店目線など各自の強みを生かした意見が活発に出していました。

写真②
鍵の開錠・施錠の仕方や部屋の借り方など幹事の役割も実地でお伝え出来ました。

写真③
研修後は同期会を開催し、懇親を深められたそうです。

第一回新入会員研修 議事録

日時 2019年10月21日(月) 16:00~18:00
場所 商工会議所事務局
出席 小林さん 魚谷さん 中島さん 岡 加藤 亀田 神原 沼尾 半田 水野
欠席 石岡

○幹事の役割について (別紙参照)
事務局の施錠について (別紙参照)

○議題

1. ブース出店の内容について

- ・11月23日(土)に行われるコメフェスタに新入会員でブースを出店
- ・参加者約850人を対象とするイベント
- ・費用はJCから25,000円預けるので、その中で必要なものを手配する
→奉仕活動の一環のため、利益を追求しなくてもよい

2. どのような店を出すか

- ・お米が無料で配られるので、それに合うおかわりの店を出す
- ・唐揚げ、牛丼、漬物、あら社などの案がある
→他のブースに出店予定がないため、**あら社とドリンク**を出す事に決定

3. 手配物について

- ・準備物一覧 (別紙参照) →足りないものがあれば教えてください
→LINEに手配物の金額が分かるものがある場合は投稿をお願いします

4. 役割分担

会計担当：沼尾
メニュー看板等デザイン担当：半田
ドリンク手配(原田酒店)：亀田
ガス&コンロ手配(高垣設備)：加藤
食材手配：神原、岡
その他備品・手配取りまとめ：水野
(石岡さんもお手伝いいただけると思います)

【次回までの確認事項】
亀田：ドリンク内容検討、仕入価格確認
加藤：ガス手配・価格確認、熱燗検討
岡、(神原)：食材内容検討・価格確認
神原：あら汁用容器サンプル、価格確認
水野：その他備品価格確認
沼尾：価格とりまとめ、損益計算
全員：屋号案検討

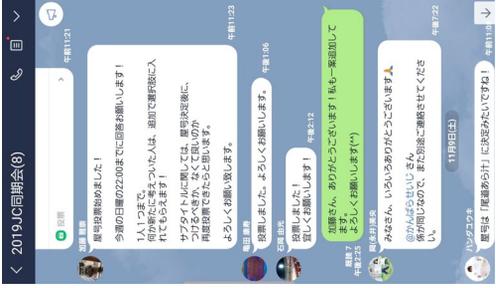
○次回委員会開催日 11月5日(火) 19:00~ 於：ペイタウン尾道

★議題 当日までの段取り、当日の人員配置、販売価格・個数最終設定
屋号決定 (11/5 迄に皆様1案考えてください) ex.おのみちあら汁
※11/5に参加できない方はLINEで1案あげて頂けると幸いです

第2回(2019.11.5 於:ベイタウン尾道)



写真①



写真③



写真②

写真①
 山本幹事主導の下、前回引き続き、話し合いを行いました。前回持ち帰りをした各自の確認事項を調べ、しっかりと検討を行っていました。

写真②
 アフターで卒業生スピーチを聞いての感想などを話しておられました。仮入会員の合同委員会への出席率アップにも効果があったと考えます。

写真③
 第1回後に作成した同期グループLINEで研修を欠席された方への報告や各自の意見交換などを行って、補填を行っていました。

第二回新入会員研修 議事録 訂正版

日時 2019年11月05日(月) 19:00~21:00
 場所 ベイタウン
 出席 小村さん、中山さん、高山さん、徳永さん、中司さん、加藤 亀田
 沼尾 半田 水野
 欠席 石岡 神原

〇議題 【コメフェスタ出店について】

- 1. ドリンク内容
 - ・ホットドリンク用のケースを借りらることに、ホットドリンクの提供
 - ・コールドドリンク (各1ケースずつ) 100円 (ポピュラービールは他店基準)
 - ・「ビール」「レモンチューハイ」「抹茶」「カルピス」「オレンジジュース」
 - ・ホットドリンク 100円 (他店基準は基本)
 - ・「お茶」「紅茶」「コーヒー(ブランク・機嫌)」
 - ・発注配方法について既述済。
 - ・8日前までに最終注次をすること!
 - ・熱間は販売しないことに決定
2. 持ち物。1口コンロ手配について
- ・1口5000円でレンタル。当日、高理設備さんが持ってきて下さる。
 - ・発注取付個体基準

- 3. 食材内容と価格について
- ・価格は1杯400円で決定。
- ・1.5口杯目標とする。(容器とお箸は各自に持たせる)
- ・材料の決定と、手配については神原さんが決めて下さる。
- ・当日運搬については当日の運搬方法については既述済

4. 商品について
- ・容器は中サイズで決定、200個 蓋なしで注次
 - ・箸は200本 お盆を数枚

- 5. 厨子について
- ・水盆決定。LINEにて各施設にて決めること。下記候補名 計6個
 「海神軒」「しまなみ屋」「尾道あふ汁」「かつらのあふ汁」「アラジ川」
 「しまなみ汁」「瀬戸内海鮮」「しまなみ屋」
 ~しまなみのタツ~ (サブタイトルとして、題につける)

- 6. 薪火に決まったこと
- ・品田元太さんに薪電機を借りるお願いをする。石岡さん担当。
- ・川原食品さんの味付き唐辛子を無料で提供して下さる。
- ・本客さんのごはんに唐辛子もしくはセルフで取ってもらう形で提供予定。唐辛子を載せて置く大皿の手配が必要。
- ・接客として3万円以内。沼尾さんが管理して下さるので、必要ならば申請を。経費を渡った後(1~2社)「仮定年次会議」直前で領金を買取事。

- 7. 次回までの確認事項
- 石岡: 薪電機運送の連絡
- 亀田: ドリンク価格とアルコールの販売価格検討
- 加藤: 当日の手配の時間と取り寄りの検討
- 岡: 神原: 食材内容の決定、容器とお箸の注次、前日準備と、運搬について検討
- 沼尾: 価格とりまとめ、経費管理
- 半田: 座席決定後、看板のデザイン
- 全員: 座席の決定の多岐決

〇次回委員会開催日 11月13日(水) 19:00~ 於: 尾道商工会議所 301

2019年11月8日(金) 加藤潤哉 作成

*未定事項に☆マーク。訂正事項に赤字を、をつけています。

第3回(2019.11.13 於:301)



写真①



写真③



第3回新入会員研修議事録

- 日時 令和元年11月13日(水) 19:00~21:00
 場所 商工会議所会議室 301.
 出席 小林委員長 中島副委員長 池田さん 高山さん 吉原さん 山本さん 松本さん
 水野 沼尾 半田 石岡 亀田.
 欠席 加藤 岡 神原
- 議題「ブース出展について」
 - 前回からの確認事項。
 - ・発電機 ⇒ 11/22 引取・設置 引取担当：石岡
 - ・飲料品・保温暖房 ⇒ 11/23 A M6:30 引取 引取担当：亀田・沼尾・小林委員長、(ドリンク販売の商品詳細は別紙参照)
 - ・ガス&コンロの手配 ⇒ 当日A M8:30 会場で受け取り 担当：加藤
 - ・屋号 ⇒ 「おのみちあら汁」～しまなみのデザインに決定
 - ・看板 ⇒ 屋号が決まったのでデザインを決め、展開していく 作成担当：半田
 - ・商品準備・買い出し ⇒ 《商品一覧 別紙参照》 担当：水野
 - ・あら汁 ⇒ 商品については神原さんに一任し「居酒屋 せいちゃんち」から仕入れる形をとることにした(11/15 試飲会予定) 11/23 引取担当：半田
 - ・川原食品さん配布の配膳方法 ⇒ 大きな器器に盛せてお客様にセルフで取ってもらう (箸器は小林委員長が準備)
 - 当日の販売・役割分担について。
 - 当日現地集合時間：A M8:00
 - 新入会員出展予定：7名(フルタイム人員6名)
 - 現役会員出展予定：1名(小林委員長)
 - ・調理・呼び込み ⇒ 水野・半田・石岡・岡(10時~15時参加)
 - ・会計 ⇒ 沼尾・加藤・亀田
 - ・釣銭準備 ⇒ 小林委員長
 - 来客数ピーク時刻は19:30頃の予想、そこは人員を集めておく。
 休憩は随時様子を見ながら取っていく。
 - 機材返却。
 - ・発電機 ⇒ 石岡
 - ・ドリンクの残り・保温暖房 ⇒ 亀田
 - ・プロパンガス&コンロ ⇒ 会場で返却
 - ・あら汁用鍋等 ⇒ 半田
 - 3分間スピーチ
 「新入会員研修を受けて」「JCIに入会しようと思ったきっかけ」
 というテーマで各3分間スピーチを行った。
 - 次回委員会開催日
 令和元年11月23日(土) 於：尾道駅前緑地部
 令和元年11月15日(金) 亀田康寿 作成

写真①

JCIクリード等を委員会前に唱和し、仮入会員研修でお伝えしたマナーやルールの再確認を行いました。(クリード等の唱和は第1回でも行っていました)

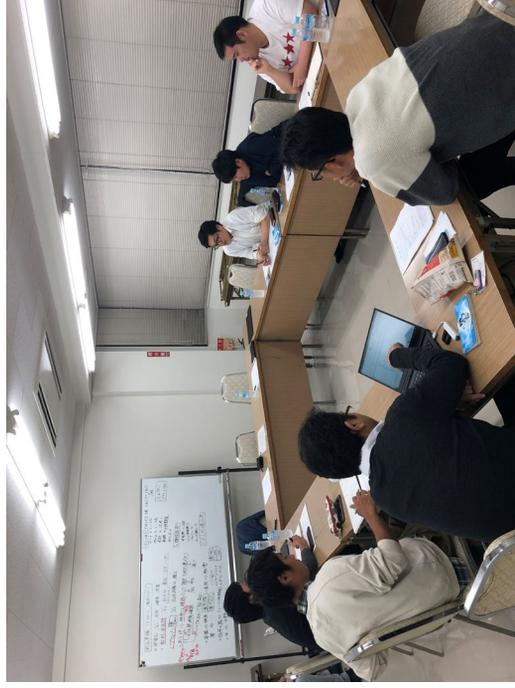
写真②

松本幹事主導で、最終の打ち合わせを行いました。まだ残っている検討課題を洗い出し手配などの最終確認をおこないました。

また委員会終了後、3分間スピーチを行いました。

写真③

第1回でお伝えした幹事の役割について、復習を行いました。



写真②

第4回(2019.11.23 於:尾道駅前緑地帯)



写真①



写真②



写真③



写真④

写真①当日、鳥取出張が入っていた沼尾君ですが、朝早くから可能な限り準備を手伝っておられました。

写真②神原君は現地には入れませんが、朝早くから漁に出て仕込みをし、あら汁を最高の状態で届けてくれました。

写真③朝早くからほぼフルに動いていた5人の力があつたればこそその成功かと思えます。

写真④岡君はお子さんの面倒を見つつ事業に積極的に参加してくれました。また岡君の広報を見て来られた方も多くいらっしゃいました。

**自分なりの貢献の仕方を見つけ、一致団結して行動する姿が見てとれました。
そして何よりとても楽しそうに研修を行っていました。**

2019年度 新入会員研修 出席状況と役割

NO	新入会員氏名	各自の主な役割	第1回 (10.21 16時～)	第2回 (11.5 19時～)	第3回 (11.18 19時～)	第4回 (11.28 6時～)
1	石岡 由光	発電機の準備	○ オブザーブ出席 (小林・中島・魚谷)	○ オブザーブ出席 (小林・中島・徳永・中司・高山・山本)	○ オブザーブ出席 (池田知・小林・中島・吉原・高山・山本・松本)	○ オブザーブ出席 (小林・中島・徳永・中司・高山・魚谷・松本・山本)
2	岡 美央	広報・宣伝	○			
3	加藤 雅崇	プロパンガスの準備	○	○	○	○
4	亀田 康寿	飲料関係の準備	○	○	○	○
5	神原 誠司	食材調達・調理	○			○
6	沼尾 一	会計・庶務	○	○	○	○
7	半田 祐喜	看板・POPのデザイン	○	○	○	○
8	水野 春樹	備品関係の準備	○	○	○	○

↑ 第1回を16時から開始しましたが、出席率は非常に良かったです。委員会を夜に開催するという既成概念に捕われないことなく、委員会メンバーの都合を聞いた上で夕方や日中に開催する日を設けるなど多くのメンバーが活動に携わられる環境づくりも検討すべきと考えます。

↑ 仕事や家庭の都合で、思うように参加できない方もいらっしゃいましたが、自分の得意分野で貢献し、意見を出しておられました。参加することは非常に大切ですが、それだけではなく自分のできる形で会に貢献する場を作り出すことも必要と考えます。

↑ 出席率が全体を通して、今までの研修より圧倒的に良かったと感じています。もちろん正式入会するという意思決定をした後という事もありますが、自分の役割があるという責任感と同期同士で意見を出しやすい環境だったことが出席率向上につながったと考えます。

一般社団法人 尾道青年会議所 事業計画（案） 予算（案）

審議 事項

委員会名：あるべき姿探究委員会

委員長名：原田 知晴

(1) 議案名

あるべき姿探究事業の調査・研究・実践 事業計画（案） 予算（案）に関する件

(2) 事業名

「ホスピタリティから学ぶ、あるべき姿」

(3) 事業実施に至る背景

あるべき姿を探究する過程で、紆余曲折し方向性を見失った中、最終的に人と繋がる事の大切さを見つめ直す一年となりました。そこで、人との繋がりを今一度考えて青年会議所運動を展開していくことが、あるべき姿と考えました。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）ホスピタリティを取り入れた組織論を学んで頂き、会員同士の繋がりを再考して頂く一助とします。

(5) 事業概要

a. 実施日時 2019年12月13日（金） 19:00～20:45

b. 場 所 ベイタウン尾道

c. 予算総額

d. 参加人員 内部 80名 外部 名 計 80名
(会員 72名 新入会員 8名)

e. 動員計画

f. 外部協力者 ホスピタリティ&マナー・ラボ 代表 長澤 さおり氏

g. 実施組織・推進リーダー 溝口 佳矢

h. 実施手順・プログラム

2019年10月28日	(月)	第10回	正副理事長会議	協議
2019年11月 6日	(水)	第11回	理事会	協議
2019年11月27日	(水)	第11回	正副理事長会議	審議
2019年12月 5日	(木)	第12回	理事会	審議
2019年12月13日	(金)			実施

(6) 事業内容（目的達成のための手法説明）

ホスピタリティは、他者に対する関心とそれに伴う行動です。愛に溢れ、会員同士が関心を寄せ合いながら、他のメンバーを認める組織を作る契機とするため、長澤氏にパワーポイントを用いてホスピタリティを取り入れた組織作りのお話をして頂きます。Give&Takeの関係ではなく、対等な関係で他者を認めることの大切さ、認めた上で関心を持って対応することがより関係を強固にする事を実例を交えて講演頂きます。更に、組織を作る上で、関係の質を如何に高めるかという点が重要であることを具体的事例を提示してお話頂きます。

また、講演の後半では、委員会メンバーが作成した映像を用いながら、ホスピタリティの精神の重要事項である関心を寄せ行動にうつすという部分を長澤氏の解説で理解度を高めて頂き、直ぐに実践して頂ける設えに致します。

(7) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

メンバーの方々には、「愛情（他者を受け入れる）→関心（気づく力）→自然と行動」、というホスピタリティの根幹を学んで青年会議所活動に取り入れて頂きます。ホスピタリティを取り入れた組織は強固な繋がりを生み、組織として成長を遂げるので、実践して頂きます。そして、ホスピタリティマネジメントの実践は、延いては自社の会社作りに寄与しますので、是非とも自社でも実践し取り組んで頂きたいと考えています。

(8) 審議のポイント

予算と内容

(9) 会議での意見とその対応

意見) 質疑応答は無いのでしょうか。

対応) 行います。それに伴い、タイムスケジュールも変更しました。

意見) 参加メンバーも入り込める内容なのでしょうか。

対応) 当委員会が作成した動画を流す際に参加できる設えにしています。

意見) 全体事業ということで宜しいのですか。

対応) 皆で、尾道青年会議所のあり方を再考する機会を設えるという意味で全体事業と考えています。

意見) 12月16日に卒業例会があります。13日に行う理由を教えてください。

対応) 理事長等の日程調整を行ったところ、13日しか空いて無かったので決めさせて頂きました。卒業例会準備でお忙しいとは存じますが、何卒、ご協力をお願い致します。

意見) 商工会議所でも講演していますが、商工会議所から話は伺いましたか。

対応) 講演内容が被ってないので、話は聞いておりません。

意見) 講演は聴きましたか。

対応) 講師が対会社、対学校で講演を行うので、参加が困難な為、講演には行っていません。しかし、講演以上に時間割いて頂き、講演内容を詳細にお話頂きながら、こちらの要望を理解して頂きました。

意見) 持って帰って頂きたいことは何ですか。

対応) ホスピタリティの精神を学んで頂き、会社や青年会議所の組織作りに活かして頂きたいです。

意見) 委員会メンバーは当日何をするのでですか。

対応) 講師よりご教授頂いた、ホスピタリティが体感できる設えにして、皆様をお出迎え致します。

(10) 他委員会への依頼事項等

卒業例会が差し迫って、多忙な時期で大変恐縮ですが、各委員長からメンバーに事業に参加頂ける

ようにアナウンスをお願い致します。

(11) 添付資料

事業収支予算書 (案)

収支予算明細書 (案)

事業概要 (案)

講師プロフィール (参)

タイムスケジュール (案)

会場レイアウト (参考資料)

アンケート (案)

会場見積書

講師見積書

案内文 (案)

講演資料 (参)

第12回理事会 2019年12月 5日

事業収支予算書(案)

事業名 「ホスピタリティから学ぶ、あるべき姿」

収入の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業収入	事業費	事業費繰入収入	事業費繰入収入		300,000	-300,000	
		事業費繰入収入	事業費繰入収入			0	
		登録料収入	登録料収入			0	
		販売収入	販売収入			0	
		広告料収入	広告料収入			0	
		負担金収入	負担金収入			0	
		雑収入	雑収入			0	
		国庫補助金収入	国庫補助金収入			0	
		地方公共団体補助金収入	地方公共団体補助金収入			0	
		民間補助金収入	民間補助金収入			0	
補助金等収入	補助金	民間補助金収入	民間補助金収入			0	
		国庫補助金収入	国庫補助金収入			0	
		地方公共団体補助金収入	地方公共団体補助金収入			0	
		民間補助金収入	民間補助金収入			0	
寄付金収入	寄付金	寄付金収入	寄付金収入			0	
		募金収入	募金収入			0	
収入合計				0	300,000	-300,000	
支出の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業費支出	事業費	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出		19,833	-19,833	ペイタウン尾道
			設営費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			小計	0	19,833	-19,833	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計	0	0	0		
		本部関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		渉外費支出			0		
		小計	0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出		80,000	-80,000	謝礼金
小計	0	80,000	-80,000				
広報費支出	運送費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	通信費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	作成費支出			0			
	PR費支出			0			
小計	0	0	0				
資料作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出		261	-261	事務局		
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
小計	0	261	-261				
報告書作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
小計	0	0	0				
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出			0			
小計	0	0	0				
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
	記念品代支出			0			
小計	0	0	0				
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
	宿泊費支出			0			
小計	0	0	0				
参加記念品代支出				0			
保険料支出				0			
通信費支出			880	-880	振込手数料		
販売物品仕入支出			0	0			
雑費支出			0	0			
事業予備費支出				199,026	-199,026		
支出合計				0	300,000	-300,000	

収支予算明細書(案)

事業名 「ホスピタリティから学ぶ、あるべき姿」

<収入明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	
		合 計		300,000	

<支出明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	備考	
事業費支出	会場設営費支出	会場費支出		19,833	ペイタウン尾道	
			小 計	19,833		
			小 計	0		
			小 計	0		
		資料作成費支出	資料費支出	アンケート 87枚×3円	261	事務局
		小 計		261		
	講師関係費支出	諸謝金支出	謝礼金	80,000	ホスピタリティ&マナーラボ	
		小 計		80,000		
	参加記念品代支出					
	保険料支出					
	通信費支出			880	振込手数料	
	販売物品仕入支出					
	雑費支出					
事業予備費支出				199,026		
		合 計		300,000		

事業概要（案）

ホスピタリティとは、他者に対する関心とそれに伴う行動です。接客・接遇の場面だけで発揮されるものではなく、人と人、人と社会、などの関わりにおいて力を発揮します。

一方通行のものではなく、人が人のために行なう行動に対して、それを受ける人も感謝の気持ちを持ち、人が喜びを感じていることが人に伝わることで、共に喜びを共有するという関係が必要と考えています。すなわち、ホスピタリティは両者の間に「相互満足」があってこそ成立します。

つまり、両方がお互いに満足し、それによって信頼関係を強め、共に価値を高めていく「共創」がホスピタリティにおける重要なキーワードです。

更に、社会全体に対して、その構成員である人々が、ホスピタリティの精神を発揮することで、相互に満足感を得たり、助け合ったり、共に何かを創りあげることができ、それによって社会が豊かになっていくという大きな意味でもホスピタリティは重要です。

ホスピタリティの実践の結果から生まれてくるものは相手にとっても自分にとっても利益になります。ここでいう利益とは、ビジネス上の利益に限らず、相手にも自分にもプラスとなり、役立つことも意味します。例えば、貴重な体験、相手との素晴らしい時間の共有、満足感・達成感の共有などです。

このような、ホスピタリティの精神に基づいて組織論を展開するホスピタリティマネジメントは、組織作りを見直す契機となるので、まずは自社の会社作りから実践して、青年会議所の組織づくりに繋げていけるメリットがあるので、経済活動をする我々メンバーには有益です。

1. 講師講演概要（90分）

①ホスピタリティとは

ホスピタリティの精神の基本をお話頂きます。

愛情（受け入れる）⇨ 気づく ⇨ 行動（相手を思い自然にでる行動・所作）というホスピタリティ特有の流れを基本を押さえながら学びます。

②ホスピタリティとサービスの違いについて

Give&Takeのような関係（サービス）と対等・共創関係（ホスピタリティ）の考え方の違いを明瞭にして頂き、これの違いがどの様に人に接する際に違いを見せるかを学びます。どの様にして、人との繋がりをつくるのが良いのかを中心にご説明頂きます。

③ホスピタリティマネジメントの基礎

ホスピタリティとマネジメントを融合した場合の組織の作り方を、事例を交えながらお話頂きます。強固な繋がりを作る上での重要事項をお話頂きます。

④ホスピタリティマネジメントの実践

ホスピタリティマネジメントを実際にどの様に実践していくのか、事例を挙げてお話頂きます。

⑤映像を用いた学習

ホスピタリティをより理解して頂く為に委員会メンバーが作成した映像を下にして、先生に解説を頂き深く学んで頂きます。

2. 講師選定理由

本年度、私の至らない言動で委員会メンバーをはじめとする会員メンバーに多大なご迷惑をお掛けしたにも拘わらず、私に感心を寄せ思っ頂き、叱咤激励・応援を含め見捨てない方々に救われました。この一年で、あらゆる方から人の多様な優しさを体感させて頂き人との関係性を見つめ直しました。毅然とした厳しさの中に、深い愛情が存在するからこそ尾道青年会議所があり、そのメンバーの繋がりこそ活動の原動力なのだと感じさせて頂きました。そのような経験から、より愛情に満ち溢れた組織になれば、尾道青年会議所がメンバー個々にとって一層寄り添える特別な組織になると考えました。

そこで、愛情と関心を取り入れた組織作りを提示している方を探したところ、ホスピタリティマネジメントの会社を運営している長澤さおり氏に行き着きました。

講師の長澤さおり氏は、ANAに勤めて肌で感じた経験で培ったことは、「大切な事は自分で気づくこと。自分で気づくと行動が変わる」という考えに至ったと話をしていました。そのような考えの下、閉塞感ある自身の生活環境に気づき、打開すべく、会社を興されました。自身が得た経験は私しか伝える事が出来ない、その強い思いで行動にうつされました。

このような強い意志でホスピタリティマネジメントを講演されているので、実体験を基に臨場感あるお話が伺えます。ホスピタリティの仕事に対して生き生きと取り組まれている講師であれば、会員メンバーに当委員会メンバーの思いが伝わると考え、長澤氏を選定致しました。

講師プロフィール (参)

プロフィール



- 1993年 愛知淑徳大学文学部 卒業
ANA 全日本空輸株式会社 入社
- 2002年 ANA 全日本空輸株式会社 退社
- 2010年 エクセレントホスピタリティ研修講師認定
- 2016年 ホスピタリティ&マナー・ラボ 起業
- 2017年 岡山理科大専門学校 非常勤講師 (～現在)
西日本調理製菓専門学校 非常勤講師 (～現在)
障害者職業リハビリテーションセンター 研修講師 (～現在)
- 2018年 岡山医療技術専門学校 非常勤講師 (～現在)

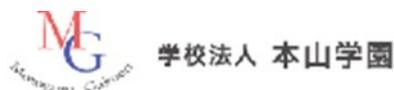
保有資格

- ホスピタリティコンサルタント (一社) CA ネットワーク
- アンガーマネジメントファシリテーター (一社) 日本アンガーマネジメント協会
- ケアストレスカウンセラー (一財) 職業技能振興会
- 博物館学芸員資格
- 高齢者ケアストレスカウンセラー養成講座終了
- サービス接遇検定
- 秘書技能検定
- 日本マナープロトコール検定
- 色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1
- コミュニケーション能力 1 級：一般財団法人日本コミュニケーショントレーナー協会
- 心理カウンセリング 1 級：同上
- コーチング 1 級：同上

兼職・所属団体

- 中小企業庁ビジネス創造等支援事業 (ミラサポ) 専門家
- 岡山県女性活躍推進アドバイザー
- 一般社団法人 CA ネットワーク 認定講師 ホスピタリティコンサルタント
- 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 認定講師 AM ファシリテーター
- 一般財団法人 職業技能振興会 認定 ケアストレスカウンセラー
- 岡山理科大学専門学校 キャリアマナー 非常勤講師
- 西日本調理製菓専門学校 キャリアプランニング 非常勤講師
- 岡山医療技術専門学校 医療接遇 非常勤講師
- 人材開発マネジメント株式会社 パートナー講師
- 日本マネジメント研究所株式会社 パートナー講師
- コンサルタントブレイン株式会社 パートナー講師

業務実績



新見商工会議所・玉野商工会議所・尾道商工会議所・米子商工会議所・備北商工会・笠原町商工会・中小企業基盤整備機構・岡山県産業振興財団・岡山中小企業診断士会・一般社団法人事業再生支援協会 S R C 瀬戸内支部・岡山三法人会青年部・新見法人会・井原ロータリークラブ・岡山ハーモニーライオンズクラブ・岡山県女性活躍推進事業・倉敷市・岡山県交通安全対策協議会鯉山支部・おかやま信用金庫・備北信用金庫・三菱自動車工業株式会社・両備ホールディングス株式会社・株式会社 B&B・人材開発マネジメント株式会社・株式会社吹屋・愛知淑徳大学・岡山理科大学・岡山理科大学専門学校
キャリアマナー・西日本調理製菓専門学校 キャリアプランニング・岡山医療技術専門学校 サービス接遇・株式会社タマノヤ
医療機関、福祉施設、建設業、販売業、不動産業、サービス業、その他多数

タイムスケジュール (案)

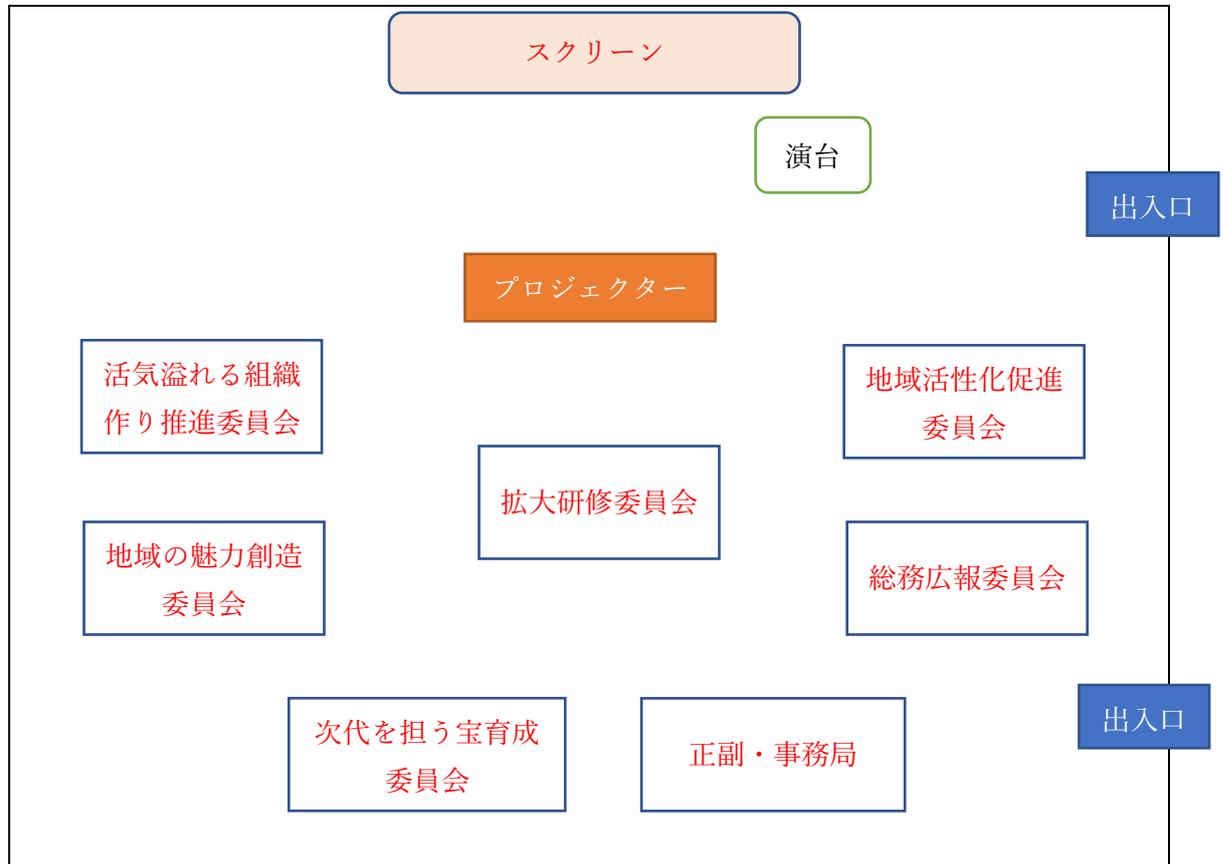
日時：2019年12月13日

19:00～

場所：ベイトウン尾道

19:00～	講師 入場	1分
19:01～	理事長 挨拶	3分
19:04～	委員長 趣旨説明	2分
19:06～	講演 開始	90分
20:36～	質疑応答	5分
20:41～	副理事長 謝辞	3分
20:44	講師 退場	1分
20:45	閉会	

会場レイアウト（参考資料）



アンケート（案）

あるべき姿探究事業

テーマ「ホスピタリティ学ぶ、あるべき姿」

①本事業の講演の満足度を教えてください。

大変満足 満足 どちらでもない やや不満 不満

②ホスピタリティの精神は理解出来ましたか。

出来た どちらでもない 出来なかった

③講演内容に興味をもった点を教えてください。

【
】

④ホスピタリティマネジメントの組織作りは理解出来ましたか。

はい どちらでもない 出来なかった

⑤ホスピタリティマネジメントを会社やJCで実践しようと思いましたか。

はい どちらでもない いいえ

⑥その他、ご意見をお書き下さい。」

【
】

アンケートにご協力頂き、ありがとうございます。

重ねて、本日は、師走のお忙しい中、ご参加頂き誠にありがとうございます。

社会開発室 あるべき姿探究委員会

御見積書

一般社団法人 尾道青年会議所 殿

尾道市東尾道4番地4
協同組合ベイトウン尾道
理事長 福井 弘

この度お引き合い頂きましたベイトウン尾道 組合会館会議室の使用料につきまして、下記のとおり御見積り致します。

記

御見積額合計 ￥19,833円(消費税込)

項	摘 要	数量	単価	金 額
1	会議室使用料 (第1会議室)	1 部屋	7,100×0.9	6,390
2	会議室使用料 (第2会議室)	1 部屋	6,600×0.9	5,940
3	会議室使用料 (第6会議室)	1 部屋	2,500	2,500
4	マイク	1 式	1,400	1,400
5	演台	1 台	500	500
6	空調代(第1・2 会議室)	2 時間	600	1,200
7	空調代(第6 会議室)	0.5 時間	200	100
8	消費税			1,803
合 計				19,833

令和1年10月24日

尾道青年会議所 御中

〒700-0951 岡山県岡山市北区田中148-101-203
 ホスピタリティ&マナー・ラボ 代表 長澤 さおり
 Tel. 090-7755-8015 Email:info@hospitality-m-l.com



御見積書

貴会議所ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 講師料として、下記のとおりお見積り申し上げます。
 どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

合計 80,000 円

1. 請求額

	日付	明 細	数量	報酬額	消費税額	合 計
1	12/13	セミナー講師料	1	80,000	0	80,000
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
小 計				80,000	0	80,000

内 訳	期間	報酬額	消費税額	合 計
1 源泉徴収税(10.21%)				
2				
3				
4				
5				
6				
小 計				

尾 青 会 発 号
2019年12月 5日

会 員 各 位

一般社団法人 尾道青年会議所
理 事 長 山 北 真 也
副理事長 中 谷 純 也
委 員 長 原 田 知 晴

あるべき姿探究事業
テーマ「ホスピタリティから学ぶ、あるべき姿」のご案内

拝啓 師走の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本事業では、ホスピタリティ&マナー・ラボ 長澤 さおり氏をお招きし、「ホスピタリティから学ぶ、あるべき姿」というテーマでご講演頂きます。

ホスピタリティの精神を取り込んだ組織作りを学び、人との繋がりを再考し、より良い組織・会社を作る為のお話を、長澤さおり氏を招きしご講演頂きます。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時	2019年12月13日(金) 19:00~20:45
場 所	ベイタウン尾道
事 業	テーマ「ホスピタリティから学ぶ、あるべき姿」
講 師	ホスピタリティ&マナー・ラボ 長澤 さおり 氏
担 当 委 員 会	あるべき姿探究委員会
返 信 締 切	12月10日(火) 必着
返 信 先	(一社)尾道青年会議所 FAX 0848-20-1112 E-Mail ojc@urban.ne.jp
返 信 方 法	委員会ごとに取りまとめの上、幹事より FAX かメールで事務局まで返信ください。

ホスピタリティマネジメント「心を紡ぐリーダーシップ」

ホスピタリティ&マナー・ラボ

長澤 さおり



～CA 流人財育成、究極の ES が強い組織をつくる～

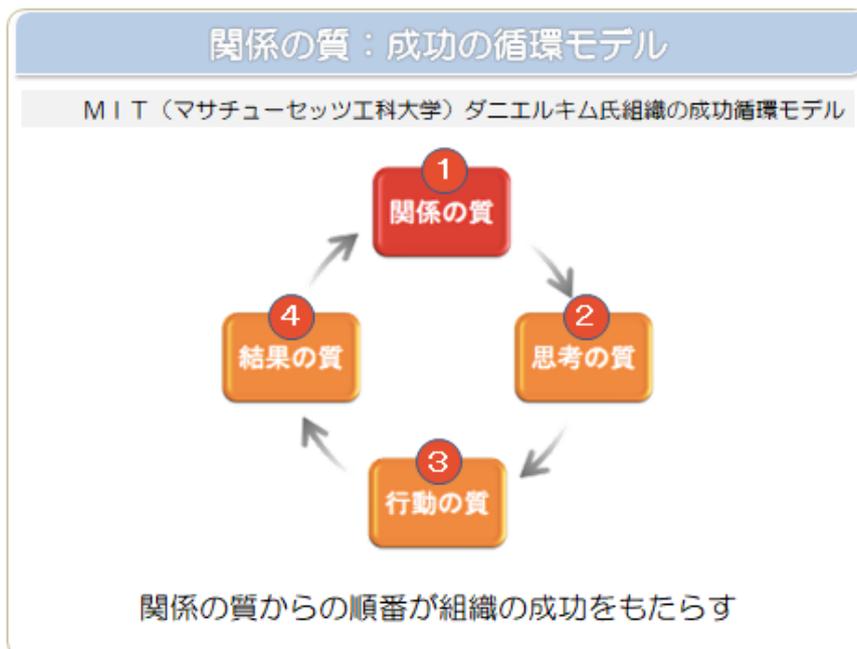
● ホスピタリティとは

主体が自律的にアイデンティティの獲得を目指して
自己を鍛え、
自己を発信しながら、
他者を受け入れ交流して、
信頼関係づくりを行い、
互いに補完し合って、
社会の発展に貢献する価値を共創する活動である

相手の気持ちをプラスにするために
働きかける心、行動のこと！

©YOSHIHARA Keisuke

● 「関係の質」向上が組織の成功をもたらす



Hospitality & Manners ・ Lab

《見えるもの見えないもの》

- ・ 良いサイクルを回すことが重要

「行動・結果の質」のように目に見えて分かりやすいものではなく、「関係・思考の質」のように目には見えず分かりにくい重要なものに焦点をあてられるかということ。

● 「心理的安全性の確保とは

Google労働改革プロジェクト
「プロジェクト・アリストテレス」が導き出した結論

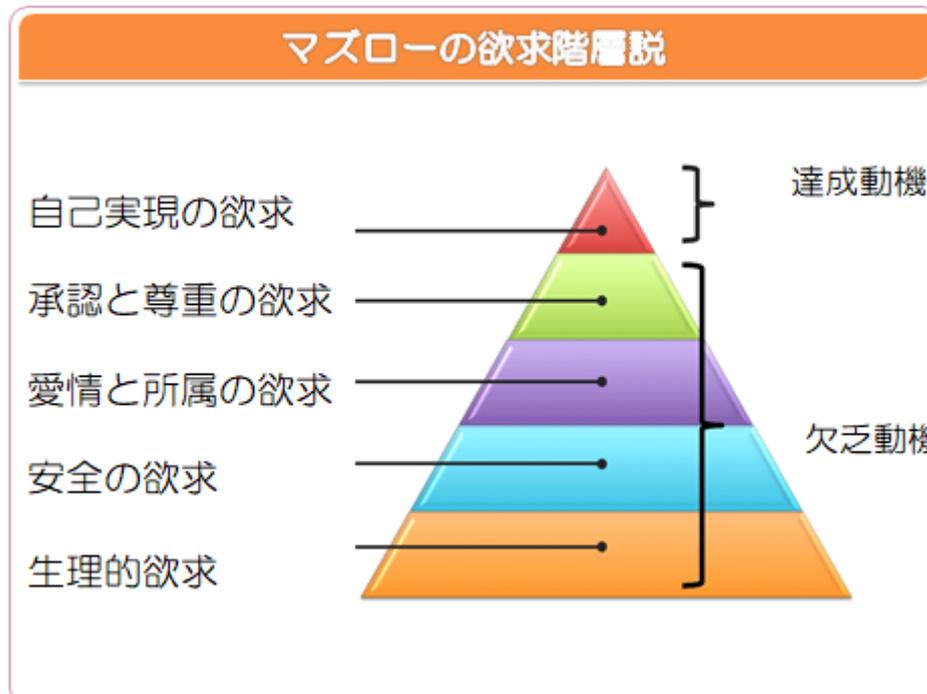
成功する（結果を出す）チームでは
「他者への心遣いや同情、あるいは配慮や共感」
といったメンタル面が円滑であった

↓

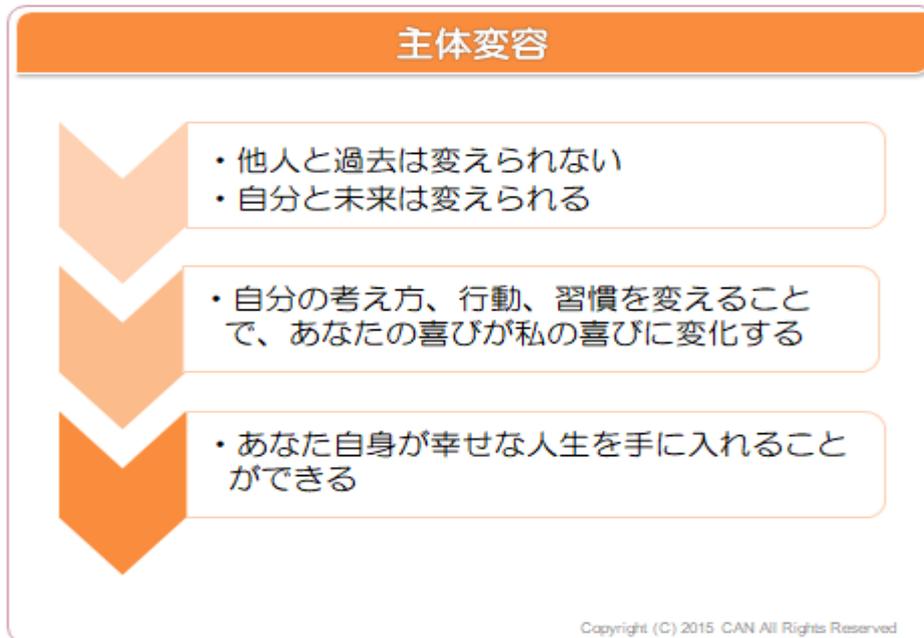
社員一人一人が会社で

- ・ 本来の自分を曝け出すことができること
- ・ それを受け入れるための「心理的安全性」の確保

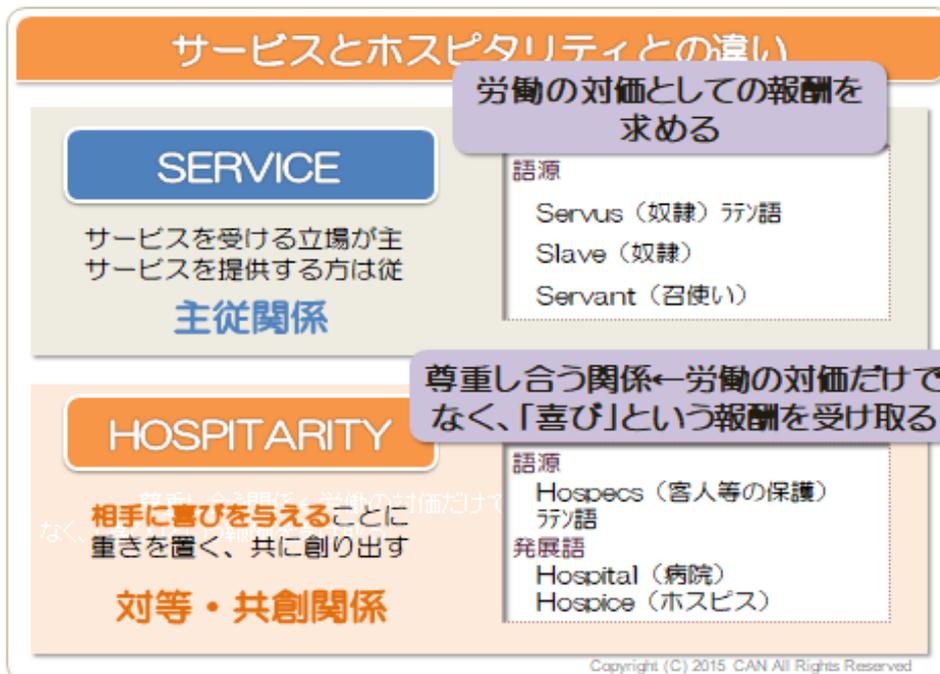
つまり、他者への心遣いや共感、理解力を醸成することが、
間接的にはあるが、
チームの生産性を高めることにつながる。



● 成果の出せる人



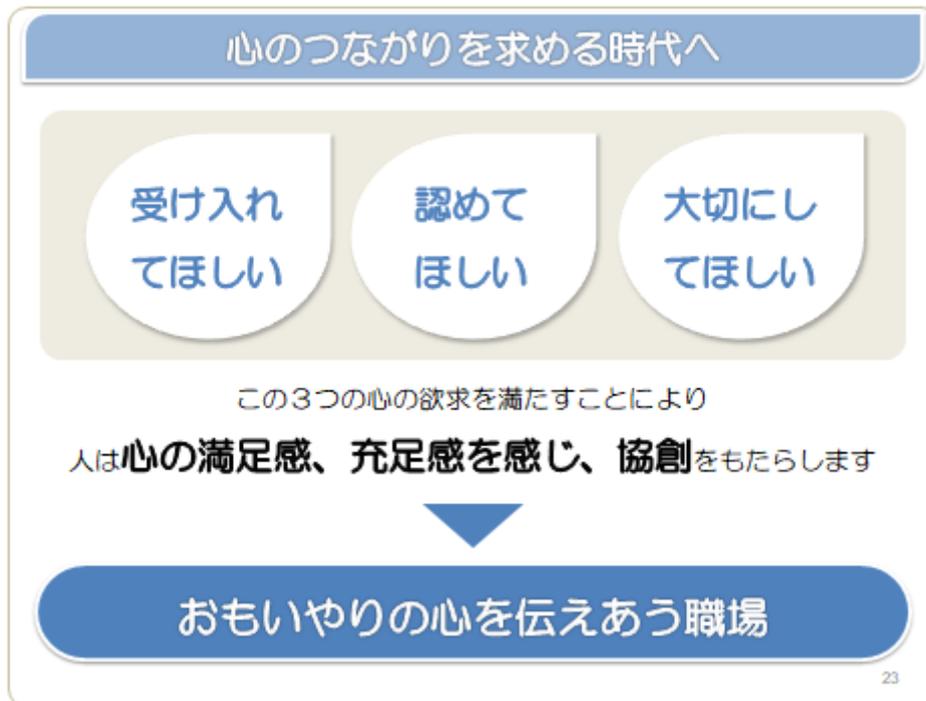
● サービスとホスピタリティの違い



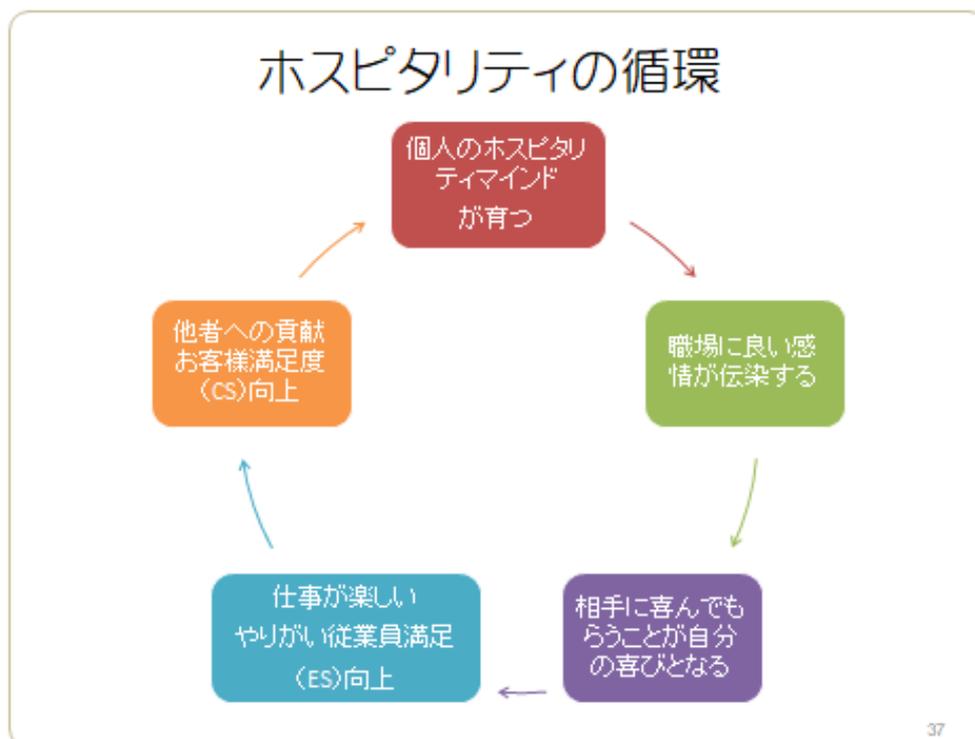
● ホスピタリティマネジメント～ホスピタリティの実践～

ホスピタリティ価値の創造と提供を主な目的として、
組織関係者を方向付け、一体感を醸成して、
プラスの相乗効果を生み出す活動である

©YOSHIHARA Keisuke



- 労働対価としての報酬を求めているのではなく、嬉しい気持ちを与えることに重きをおいている経営方法。
- ホスピタリティにおいて重視されるのは、人間性や信条、個性、感性などであり、金銭的報酬を求めての行動ではない。
- 嬉しい気持ちを通じて、報酬は結果としてついてくるという考えで経営風土を作り上げる。
- スタッフの不安感を下げ、存在感を高め、やる気を引き出す感情のマネジメント



意識することで心が形となって表れる、そうすると行動が変わります
所作、その行動が意識しなくてもできるようになると習慣になります
ありのままの「ホスピタリティ」が体現できてきます

意識が変われば、行動が変わる

行動が変われば、習慣が変わる

習慣が変われば、人格が変わる

人格が変われば、運命が変わる

運命が変われば、人生が変わる

マザーテレサ

一般社団法人 尾道青年会議所 事業計画（案）予算（案）

審議 事項

委員会名：総務広報委員会

委員長名：岡田 貴臣

(1) 議案名

卒業例会行事 事業計画（案）予算（案）に関する件

(2) 事業名

卒業例会テーマ 「Brave Hearts～勇敢なる者たちよ、旅立ちの時」

(3) 事業実施に至る背景

7名のご卒業される方々への感謝と敬意を表する場として、12月例会を「卒業例会」として開催し、現役会員、OB、特別会員の皆さまと共に盛大にお送り出す場とする必要があります。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）卒業生の皆さまが、これまでENGINEとしてご活動されてきた思い出を振り返るとともに、卒業生への感謝と敬意を表し、卒業生を最高の舞台でお送りすることを目的とします。

(5) 事業概要

a. 実施日時 2019年12月16日（月）

例会セレモニー 18:00～18:30

卒業式 18:30～20:30

懇親会 20:40～22:00

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額 ¥760,000円（詳細は別紙予算書）

d. 参加人員 内部 80名 外部 60名 計 140名

（内部内訳：現役会員 65名 新入会員8名 卒業生 7名）

（外部内訳：特別会員 31名 OB会員 29名）

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 総務広報委員会 委員 内海 洋平

委員 村橋 聡

委員 吉田 嵩正

h. 実施手順・プログラム

2019年10月25日（金）第10回正副理事長会議 協議

2019年11月 6日（水）第11回理事会 協議

2019年11月27日（水）第11回正副理事長会議 審議

2019年12月 5日（木）第12回理事会 審議

2019年12月16日（月）12月例会 実施

(6) 事業内容（目的達成のための手法説明）

本例会は、①オープニング映像、②卒業生紹介・送辞・答辞（代表者挨拶を含む）、③エンディング映像の3つの構成とします。①については、卒業生を紹介し、これから卒業例会が始まるという期待感を醸成する演出を行います。②は、卒業生の各自事前にリクエスト曲をヒアリングし、入会から今日に至るまでの活動の軌跡が振り返られるような映像を用意します。送辞・答辞については、例年同様の流れをくみ取り、送る側と送られる側の想いを伝えます。③では、本年度の尾道青年会議所の活動の軌跡を振り返ります。さらに最後に卒業生の主推薦者等、ゆかりの深い方より、一言ずつお祝いのお言葉を事前に頂戴し、紹介します。また、卒業の記念品として卒業生の皆様それぞれの写真データをDVDに記録し贈呈します。DVDケースには各委員会で寄せ書きをして頂きます。

(7) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

本年度7名の卒業生をお見送りするに当たり、これまで確立されてきた厳粛な卒業式の流れを踏襲し、懇親会の時間を確保するため、開始時刻を18:00とさせていただきます。

また、卒業例会の準備段階で収集した卒業生の写真をDVDに収め、卒業後も思い出としていつまでも振り返られるようにします。

(8) 審議のポイント

内容・予算について

(9) 会議での意見とその対応

意見) 卒業生のリハーサルの時間は何時からですか。

対応) 現段階で、17時と考えております。今後の準備状況を踏まえて、正式にご案内させていただきます。

意見) 毎年、前年を踏襲された設えとなっておりますが、岡田委員長の色はどこにありますか。

対応) 今回は、オープニング、エンディング、紹介ムービーをどれだけ工夫するかを考えました。入会后、卒業生の皆さまがJC活動を通じて成長され、卒業後に新たな旅に向かう姿を描きたいと考えています。また、最もゆかりのある主推薦者の皆さまからも、可能な限りメッセージをいただき、ご卒業に華を添えたいと考えております。

意見) 鍋島委員長のご担当の時には、別日にリハーサルをされています。また、来年の1月新年宴会には、事務員の林さんがおられないのではないかと思います。新年宴会をスムーズに迎えるためにも、OB諸先輩方への対応について引継ぎを徹底いただければと思います。

対応) 今年度も、別日でリハーサルを予定しております。また、受付について、次年度につつがなく引継ぎ出来るよう、対応してまいります。

意見) 他委員会への依頼事項の中に、クリード等を大きな声で行うようありますが、今年度工夫されることはありますか。

対応) 画面に映すことも考えておりますが、OB諸先輩方に対して失礼にならない設えをしたいと考えております。

(10) 他委員会への依頼事項等

卒業例会は、現役会員全員でお送りすることで、卒業生の心に届く設えになると考えております。ぜひ、現役メンバーの皆さまに出席いただきますよう、お声掛けをお願いいたします。

また、OB・特別会員の皆さまへ、現役メンバーの活気をお見せしたく、セレモニー時のクリード等は、元気よく唱和したいと存じます。

(11) 添付資料

- 事業収支予算書（案）
- 収支予算明細書（案）
- 卒業例会概要（案）
- 卒業例会タイムスケジュール（案）
- 卒業例会次第（案）
- 懇親会次第（案）
- 卒業例会 会場レイアウト（案）
- 懇親会 会場レイアウト（参考資料）
- 看板見積（参考資料）
- 見積書（懇親会・スクリーン）（参考資料）
- 送辞用紙見積（参考資料）

第12回理事会 2019年12月 5日

事業収支予算書(案)

事業名 2月例会 テーマ「Brave Hearts～勇敢なる者たちよ、旅立ちの時～」

収入の部				前年度予算	本年度予算	差異	備考
大科目	中科目	小科目	細目				
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		60,000	60,000	0	
	事業費繰入収入	事業費繰入収入					
	登録料収入	登録料収入		245,592	236,240	9,352	
	販売収入	販売収入		474,408	463,760	10,648	
	広告料収入	広告料収入					
補助金等収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入					
	地方公共団体補助金収入	地方公共団体補助金収入					
	民間補助金収入	民間補助金収入					
	国庫助成金収入	国庫助成金収入					
	地方公共団体助成金収入	地方公共団体助成金収入					
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入					
	募金収入	募金収入					
収入合計				780,000	760,000	20,000	

支出の部				前年度予算	本年度予算	差異	備考		
大科目	中科目	小科目	細目						
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出	23,200	23,500	-300	(有)メディアジャンクション・尾道国際ホテル		
			運送費支出				0		
			レンタル料支出				0		
		小計				23,200	23,500	-300	
		企画演出費支出	人件費支出					0	
			食事代支出					0	
			企画費支出					0	
			演出費支出	16,416	10,780	5,636	花のよしはら・紙誠楼		
			旅費交通費支出				0		
			小計	16,416	10,780	5,636			
		本部関係費支出	人件費支出					0	
			食事代支出					0	
			会場費支出					0	
			設営費支出					0	
			旅費交通費支出					0	
			通信費支出					0	
			運送費支出					0	
			消耗品費支出					0	
			レンタル料支出					0	
			保険料支出					0	
		渉外費支出					0		
		小計				0	0	0	
講師関係費支出	食事代支出					0			
	旅費交通費支出					0			
	宿泊費支出					0			
	保険料支出					0			
	諸謝金支出					0			
	会合費支出					0			
記念品代支出					0				
小計				0	0	0			
広報費支出	運当費支出					0			
	会場費支出					0			
	設営費支出					0			
	通信費支出					0			
	消耗品費支出					0			
	レンタル料支出					0			
	作成費支出					0			
PR費支出					0				
小計				0	0	0			
資料作成費支出	通信費支出					0			
	資料費支出					0			
	消耗品費支出					0			
	レンタル料支出					0			
作成費支出	3,950	2,930	1,020	エディオン尾道店					
小計				3,950	2,930	1,020			
報告書作成費支出	通信費支出					0			
	資料費支出					0			
	消耗品費支出					0			
	レンタル料支出					0			
作成費支出					0				
小計				0	0	0			
懇親会費支出	人件費支出					0			
	会場費支出					0			
	設営費支出					0			
	旅費交通費支出					0			
	運送費支出					0			
	レンタル料支出					0			
	保険料支出					0			
	飲食費支出	720,000	700,000	20,000	尾道国際ホテル				
アトラクション費支出					0				
小計				720,000	700,000	20,000			
渉外費支出	役員渉外費支出					0			
	記念品代支出					0			
小計				0	0	0			
旅費交通費支出	旅費支出					0			
	交通費支出					0			
小計				0	0	0			
参加記念品代支出						0			
保険料支出						0			
通信費支出						0			
販売物品仕入支出						0			
雑費支出						0			
事業予備費支出				16,434	22,790	-6,356			
支出合計				780,000	760,000	20,000			

収支予算明細書(案)

事業名:月例会 テーマ「Brave Hearts～勇敢なる者たちよ、旅立ちの時」

<収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	
			正会員@2,178×80名	174,240	例会食事代を繰入
			特別会員@2,000×31名	62,000	例会食事代を繰入
懇親会収入	登録料		正会員@2,822×80名	225,760	
			特別会員@3,000×31名	93,000	
			OB会員@5,000×29名	145,000	
合 計				760,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考	
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	看板代	7,000	(有)メディアジャンクション	
		レンタル料支出	スクリーン大(縦2.4m×横2.7m)	16,500	尾道国際ホテル	
	小 計				23,500	
	企画演出費支出	演出費支出	コサージュ@1,100×7	7,700	花のよしはら	
			送辞用紙@385×8	3,080	紙誠(株)	
	小 計				10,780	
	資料作成費支出	作成費支出	iTunesカード	2,000	エディオン(卒業生紹介用曲)	
			DVD トールケース(10個入り)	930	エディオン尾道店	
	小 計				2,930	
	懇親会費支出	飲食費支出	正会員@5,000×80名	400,000		
			特別会員@5,000×31名	155,000		
			OB会員@5,000×29名	145,000		
	小 計				700,000	
	小 計				0	
		参加記念品代支出				
		保険料支出				
		通信費支出				
		販売物品仕入支出				
		雑費支出				
	事業予備費支出				22,790	
	合 計				760,000	

2019年度 一般社団法人 尾道青年会議所 卒業式概要 (案)

<テーマ>

「Brave Hearts～勇敢なる者よ、旅立ちの時」

日時 2019年12月16日(月)

18:30～20:30

場所 尾道国際ホテル

<概要>

①オープニング映像

卒業生を一人一人紹介し、卒業式の雰囲気を出していきます。勇敢な心を持った卒業生の皆さまにフォーカスした演出にいたします。オープニングイメージは、「戦いに出る勇敢な戦士たち」をイメージし、尾道青年会議所活動を力強く引っ張って下さった卒業生の輝かしい姿を、振り返っていただくことを考えております。

②卒業生紹介・送辞・答辞

各卒業生の皆様が登壇される前に映像を流します。内容は、入会から今日に至るまでのご活躍の様子を紹介します。

卒業生一人一人持ち時間の中で送辞と答辞を行い、送る言葉を送ります。

③代表送辞と代表答辞

現役メンバーから代表1名、卒業生から代表1名が送辞と答辞を行います。現役メンバー代表は、加度2020年度理事長予定者をお願いしております。

④エンディング映像

2019年度の締めくくりとして、本年度の事業を振り返り、事業を総括します。エンディングイメージでは、「戦いを終え、目的を果たした卒業生、そして次なる戦いへ旅立つ」ことを表現します。

最後に、卒業生お一人ずつに対して、主推薦者等、ゆかりの深い方より、一言ずつお祝いのお言葉を事前に頂戴し、紹介させていただきます。

2019年度 一般社団法人 尾道青年会議所 卒業式タイムスケジュール
(案)

1. 開会		18:30
2. 卒業生入場	(1分)	18:30
3. オープニング (映像)	(4分)	18:31
4. 委員長挨拶	(1分)	18:35
5. 卒業生紹介 送辞・花束贈呈・答辞	(91分)	18:36
・ 紹介 PP	1.5分	
・ 登壇・降壇	1分 (各0.5分ずつ)	
・ 送辞・答辞 各	8分 (各4.0分ずつ)	
・ 花束	0.5分	
<hr/>		
計77分 (11分/人×7人)		
・ 予備	14分 (2分/人×7人)	
6. 現役会員代表送辞	(6分)	20:07
・ 卒業生登壇 (1分)、代表送辞 (5分)		
7. 卒業生代表答辞	(6分)	20:13
・ 代表答辞 (5分)、卒業生降壇 (1分)		
8. エンディング映像	(10分)	20:19
・ 2019年度事業振り返り		
9. 卒業生退場	(1分)	20:29
10. 閉会		20:30

2019年度 一般社団法人 尾道青年会議所
卒業例会 次第 (案)

日時：2019年 12月16日(月)
18:30～20:30
場所：尾道国際ホテル2階 慶安の間

卒業例会

1. 開会 (入場)	(1分)	18:30
2. オープニング (映像)	(4分)	18:31
3. 委員長挨拶	(1分)	18:35
4. 卒業生紹介 送辞・花束贈呈・答辞	(91分)	18:36
5. 現役会員代表送辞	(6分)	20:07
6. 卒業生代表答辞	(6分)	20:13
7. エンディング映像	(10分)	20:19
8. 卒業生退場	(1分)	20:29
9. 閉会		20:30

卒業例会終了後、懇親会を行います。

2019年度 一般社団法人 尾道青年会議所

卒業例会 懇親会 次第（案）

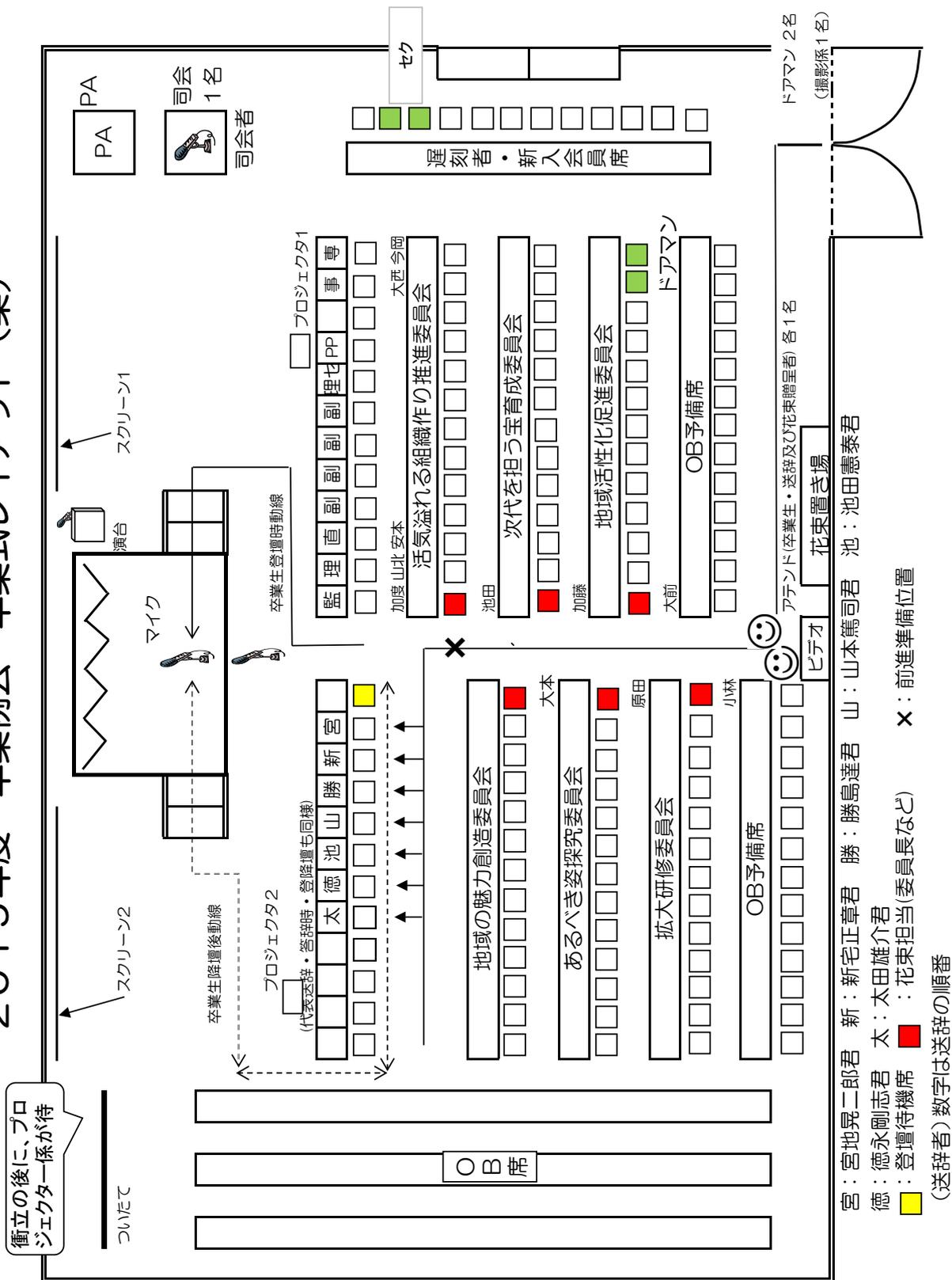
日時：2019年 12月16日(月)

20：40 ～ 22：00

場所：尾道国際ホテル2階 瑞雲の間

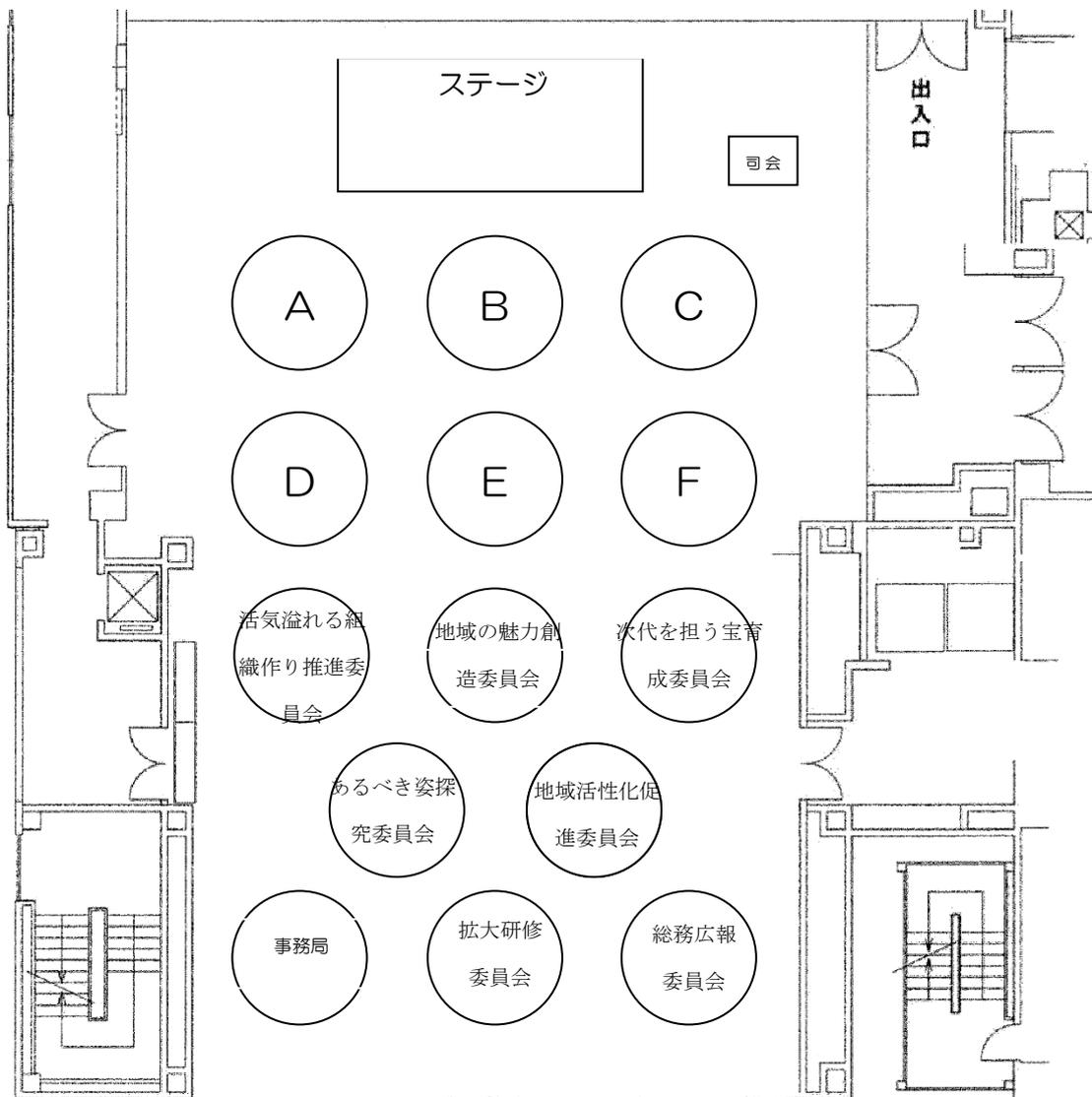
1. 懇親会開会 20：40
2. 理事長挨拶
3. シニアクラブ会長ご挨拶
4. 乾杯
5. ご歓談
6. 若い我ら合唱
7. 中締め挨拶
8. 懇親会閉会 22：00

2019年度 卒業例会 卒業式レイアウト (案)



花束は各委員長から。

2019年度 一般社団法人尾道青年会議所 卒業例会 懇親会 会場図 (参考資料)



2019年 10月 2日

御見積書

No. 6279

一般社団法人尾道青年会議所 御中

12月例会看板制作 (2019年)

下記の通り御見積申し上げます。

納入期日 年 月 日
 納入場所 別途ご相談
 取引方法 別途ご相談の上
 有効期限 年 月 日



Media Junction

有限会社メディアジャンクション

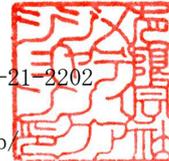
〒722-0017

広島県尾道市門田町23-30

TEL:0848-21-2201 FAX:0848-21-2202

info@mediajunction.jp

http://www.mediajunction.jp



御見積金額	¥7,000
-------	--------

--	--	--

内容・仕様	数量	単位	単価	金額
12月例会看板制作 (2019年)	1.00	式	7,000	7,000
合計				7,000

御見積明細書

商品名	単価	数量	料金	割引	金額	備考
卓盛パーティー料理・お飲物・室料一式(税サ込)	5,000	140	700,000		700,000	
① 小計			700,000		700,000	
合計			700,000		700,000	
(内サービス料)			(57,851)		(57,851)	
(内消費税)			(63,636)		(63,636)	

合計	単価	数量	料金	割引	金額	備考
小計【①】			700,000		700,000	
合計					700,000	
(内サービス料)					(57,851)	
(内消費税)					(63,636)	

御見積明細書

商品名	単価	数量	料金	割引	金額	備考
吊下げスクリーン	15,000	1	15,000		15,000	
① 小計			15,000		15,000	
消費税			1,500		1,500	
合計			16,500		16,500	

合計	単価	数量	料金	割引	金額	備考
小計【①】			15,000		15,000	
消費税【①】			1,500		1,500	
合計					16,500	

御見積書

2019年10月1日

一般社団法人 尾道青年会議所 様



紙誠林業株式会社



〒722-0051 広島県尾道市東尾道1-1-3
TEL (0848)20-2131 FAX (0848)20-2135

総合計 3,080

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	御見積後3ヵ月

承認	査閲	担当

担当： 山北

No	商品名	数量	単価	金額
1	式辞用紙 大 罫入り	8	350	2,800
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
小計				2,800
消費税				280
合計				3,080

備考

素そにして上質

2020年度理事長 加度 亮平

「素」とは全てを支える根のようなものです。根がしっかりするから、大きく育った幹や枝を支えることができ、上質な実がなるものです。私たちがいま根を張っている尾道は、敬愛する先輩方が創ってくれた最高の土壌です。根もまた、良い土壌がないと良い根に育つことはありません。私たちが育ててくれた先人への感謝の念を根底とし、私たちには根をさらに良いものに育て上げ、次代に継ぐ責務があります。

我々青年経済人が自社をしあわせな会社にする事が、まちづくりの根である。

まちは小さなコミュニティの集合で出来ています。この小さなコミュニティの1つとして会社が挙げられます。尾道青年会議所は会社の経営者や幹部が会員の9割以上を占めており、社員やその家族、関連会社の方々も含めると、尾道の経済への影響力は相当なものです。人生の大半を過ごすことになる会社をしあわせな会社にすることが青年経済人の努めであります。自分と自分の周りを明るく豊かにすることが尾道を明るい豊かなまちにすることにつながります。

また関わる人全てをしあわせにするためには、働きやすい環境を整える必要があります。もちろんツールやシステムなどを揃えるのも重要ですが、会社の根底になるのは人です。人が育つ環境と、成長を心から喜べる本当の意味での働き方改革を起こせる人づくりも私たちに求められています。

橋渡しを担う我々だからこそ出来る魅力ある尾道の創造

2018年の西日本豪雨災害をはじめ、多くの災害の発生が「尾道は比較的 안전한地域」という概念を崩し去りました。災害は築きあげてきたものや最も尊い命でさえも一瞬にして奪っていきます。災害からの早期復興には地域の連携が不可欠ではありますが、まずは、単純に「死なない事」が大前提です。防災は大事というのは誰もが思うことではありますが、その意識を啓蒙することは長期的ビジョンで見ていく必要があります。2017年に締結された四者協定を活かし、地域との橋渡しを得意とする青年会議所だからこそ出来る、子どもへの早期の防災教育を推進していかなければなりません。

また、こうした活動の促進にしても、前述のしあわせな会社をつくるにしても同士がいないとその活動に限界も出てきます。志を同じくする仲間を増やし、互いを尊敬し切磋琢磨できる場をたくさん作ることが、昨今問題視される出席率低下や活動意識の低下という問題の解決策と考えます。

ひとりで見る夢は夢でしかない。誰かと共に見る夢は現実だ。

「夢」がない者に「計画」はありません。「計画」がない者に「行動」はありません。「行動」がない者に「反省」はありません。「反省」がない者に「成長」はありません。「成長」がない者に「しあわせ」はありません。まずは夢を見て、その夢を語り合えるつながり作りが夢への第一歩です。そして、その描いた夢を形にし、共有することが最も大事です。その共有するためのツールとして、2020年代の活動指針を策定し、次代に引継いでいきます。

また、私たちの活動や、尾道青年会議所の魅力を発信することは、会員拡大にも効果的です。対外への発信力の強化には、SNSをはじめ多くの情報発信ツール活用する事で、従来の広報の手法を現代にあわせていかなければなりません。

むすびに

未来のことは誰にもわかりません。しかし、誰かが未来を思い描き、創造し、行動することで、未来が創られていきます。辛い事、嫌な事もあると思います。しかし、それらを乗り越えた先に成長があり、喜びがあるのだと思います。そして、そこに苦楽を共にし、切磋琢磨し、笑いあえる仲間がいたならそれがどれだけしあわせな事でしょう。そのような活動を私は皆さんとしたいと思ひますし、尾道青年会議所の活動をそんな経験が出来る場にしたしたいと思います。基本を大切に根幹から強くあり続けるビジョンを持ち、強くてユニークな活動をしていきましょう。

「生かし合う」

2020年度 人が育む経済活性化室
副理事長 今岡 正英

どんなに良いことでも一気に事が成るということはありません。また一気に事を決するということを行えば必ずどこかに無理が生じてきます。すべての事は、一步一步成就するということが望ましいと考えられます。それが良いことであればあるほど、それが正しいと思えば思うほど、何よりも辛抱強く、根気よく、続けていくという心構えが必要です。

人のしあわせは非常に尊いものです。尊いものは誰もが尊重しなければいけません。しかし自分のしあわせが尊いことはわかっているとしても他人のしあわせもまた尊いことは忘れがちです。私心に走り私利私欲が先に立つこともしばしば起こります。つまり自分にとらわれるということで、これも人間の弱さとしてやむを得ないことなのかもしれません。しかしこれではお互いの繁栄が生まれてくることはありません。人間本来の姿は生かされません。

人のしあわせ、ひいては豊かなまちづくりのためには、自己を捨て去りまず相手を立てる、私利私欲を抑えて相手を生かす。そうした考えに立ってみななければいけません。そこに相手も生きて自己も生きる力強い繁栄の姿が現れてきます。相手が生きて自己もまた自ずから生きるようになる、これが双方の「生かし合い」ではないでしょうか。

青年会議所には豊かなまちづくりをしていくための責務があります。そのために活動をしていく使命が与えられています。また自らの思い一つでまちを変えられる力さえも秘めています。必ず良いものになる。そう思える事業は、一步一步着実に歩を進め、お互いを生かし合いながら実施していくべきと考えます。

「真摯に、誠実に」

2020年度 魅力ある尾道創造室
副理事長 政成 啓行

近年、少子高齢化に起因する人口減少、地域コミュニティの希薄化や財政問題といった諸問題に加え、2018年に発生した西日本豪雨災害のような従来の安心・安全を根本から覆す災害が発生するなど、尾道のまちに根を張る私たちは新たな課題に否応なく対応し解決していく必要に迫られています。

新たな課題に直面した時、その解決には多くの人の賛同と参画が必要となります。誰かに賛同してもらうこと、参画してもらうことには、真摯な姿勢と誠実な対応が欠かせません。

過去、先人たちが様々な課題を乗り越え、まちの発展に尽くしてきたように、私たちも新たな課題を解決し、あるいは自らが課題を設定し、魅力あるまちの未来を描いていく必要があります。

その為には、私たち自身が切磋琢磨するのは勿論のこと、様々な人と手を取り合い、協力して課題に向き合うべきであると考えます。そうするにあたり、尾道に住み暮らしている人々との密なコミュニケーションや、先人たちが築き上げてきた歴史や伝統に敬意を払うことで、自らがまちの一員であるという当事者意識を持ち行動しなければなりません。

また、魅力ある尾道を望むのであれば、青年会議所運動を共にし、志を同じくする仲間を増やすことは必須です。過去の拡大運動を精査し、それを元に現実に即した活動方法を模索し、如何に様々な人から青年会議所運動への賛同と参画を得るかが問われています。

上っ面の言葉や行動ではなく、真摯に誠実に、まちとひとに向き合い、青年会議所運動に当事者意識をもって臨んでいきましょう。それが、先人への感謝の念であり、次代に継ぐべき姿勢だと考えます。

「Future & Past」

2020年度 夢見る大切さ推進室

副理事長 大西 貴明

人は困難な経験をした時ほど成長しますが、これぐらいでいいと思えば後退していきま
す。困難な場面でも「自分の成長の糧になる」と思えばたいていのことは乗り越えられます。

また、私たちは一年を通して様々な活動をしますが、内部だけに留まり独りよがりになっ
てしまう事もおおいにあります。現在では広報や発信ツールは様々で外部に我々の運動を
発信するにも手段はたくさんあります。何が適しているかまた何を発信するかを決定し実
行していきましょう。

私たちは組織として共有できる夢をもちそれを語り合い、強固なモノにして未来につな
げる責務があります。

数年、十数年先の未来を見据え多角的な視点を持ち多様性を受け入れることで会社も組
織も強くなっていきます。我々一人一人の成長が組織や会社の成長への一歩です。

時代とともに伝承と変革を決め、現在をしっかり踏みしめ夢への一歩を踏み出しましよ
う。

「継続は力なり」

2020年度 専務理事
高橋 建太

世の中に失敗というものはない。
チャレンジし続けている限り失敗はない。
諦めたときが本当の失敗である。

【稲盛和夫】

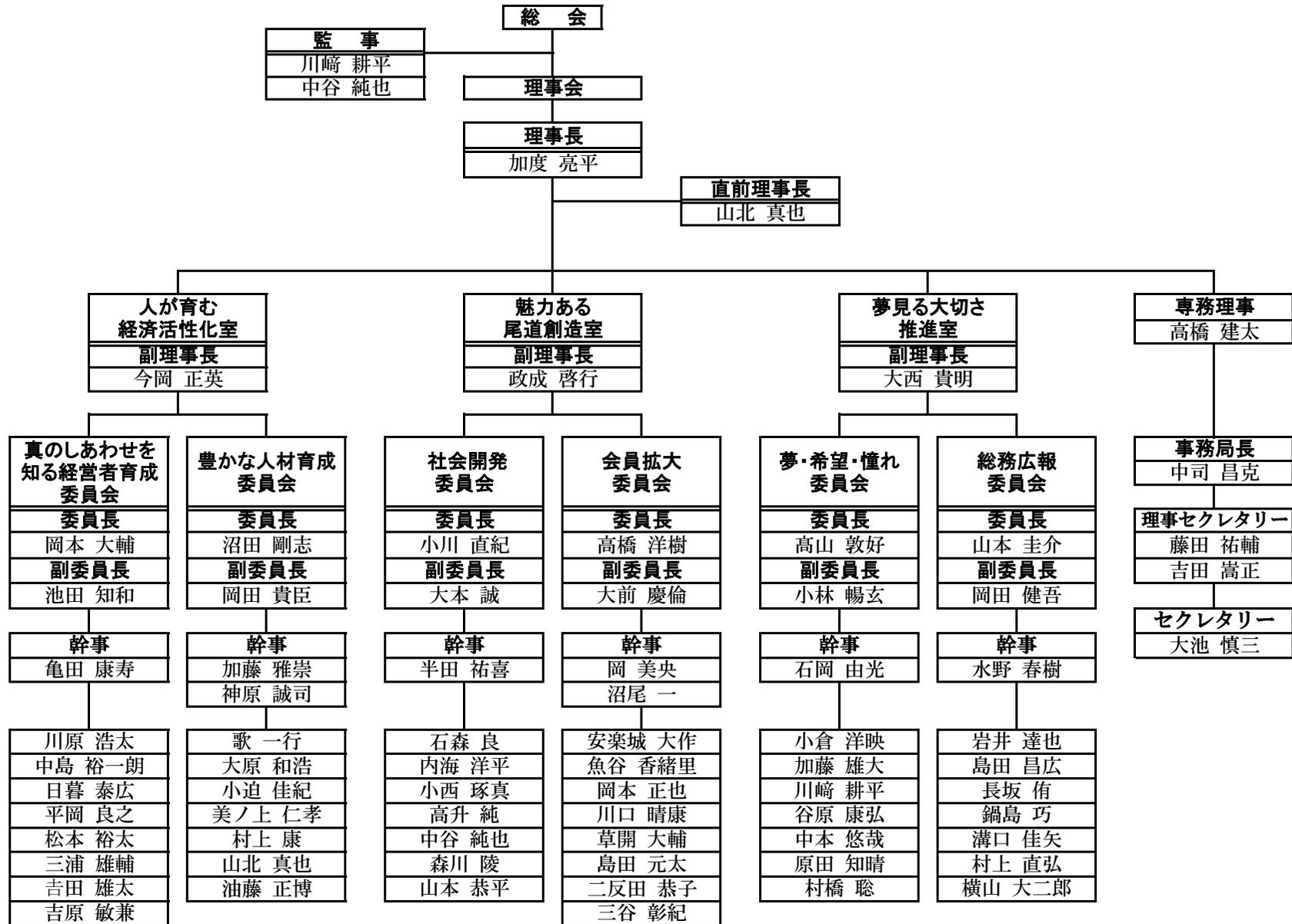
尾道青年会議所は諸先輩方、市民の皆様、行政、関係諸団体に支えられ「明るい豊かな社会の実現」に向けて今日まで運動を展開してきました。先人たちが築き上げてきた尾道青年会議所を今まで以上に盛り上げるためには、委員会の質を高く保つ必要があると考えます。

委員会の出席率向上はもちろんですが議論も活発でないといけません。もちろん委員会に出席することが素直に楽しいと思えることは大前提にあります。そのために何が必要か自ら考え、行動し、チャレンジしていくことが尾道青年会議所全体を盛り上げ次代へ引き継いでいく一助になるのではないのでしょうか。

毎年、様々な事業をしています。一人で出来るものは何一つありません。メンバーが協力し、支え合っているからこそ事業が成り立っています。ゴールに至るまでに壁が立ち塞がることもありますし、様々な要因で心が動くこともあるかもしれません。しかし何事にも左右されることなくしっかりとした信念を持ち、諦めずチャレンジし続けている限り失敗はありません。

J C活動は仕事や家庭と違い参加するか否か自分で決めることができます。だからこそ本気で向き合うことは成長に繋がると信じています。限られた時間の中で上質なJ Cライフを歩んで行きましょう。

2020年度 一般社団法人 尾道青年会議所 委員会構成図



委員長 岡本 大輔

副委員長 池田 知和

テーマ「生き方」

毎日慌ただしく、忙しい日常で人はしあわせを見失います。急激な速さで変わりゆく時代と経済の中では当然の事なのかも知れません。そんな人生の中でも私たちは生きる喜びを見出さなければなりません。喜びを感じ、心が満たされれば私たちの中には生きる力が溢れ、私たちの支えとなってくれます。

我々、青年経済人は常に人の人生を大きく左右する程の力があることを忘れてはなりません。常に人のしあわせを考え、大切な人たちをしあわせにするため決断し行動する。私たちの心は常にその事と向き合っていないければなりません。その心と思いが人の心を満たし、人をしあわせにします。多くの人に助けられている事、支えられている事を忘れず、感謝を忘れない。ただ直向きにそれらと向き合い、考え、努力しなければなりません。沢山の苦難を乗り越え伝えてきたしあわせの波は人から人へ伝播し、多くの人々の人生を豊かに、社会を明るく力強いものへと変えていきます。ただただ生きることもできるが、どうせなら人をしあわせにする生き方をしよう。尊く、かけがえのない人たちの為に。

事業計画	時期	予算
真のしあわせを知る経営者育成事業の調査・研究・実践	通年	300,000
例会事業	2月	60,000
例会事業	9月	160,000
クリスマス会	12月	200,000
しまなみ3JCへの参画	通年	
会員拡大の実践	通年	
合計		720,000

委員長 沼田 剛志
副委員長 岡田 貴臣

テーマ「研鑽」

「豊かな人材」とは何を意味するだろうか。

人材の数をもつての豊かさなのか、人材の質をもつての豊かさなのか、それとも個々の精神的な心の豊かさなのか。人によって捉え方は様々あります。

まちには人の暮らしがあり、その人たちの多くは会社に属しています。つまり、まちも会社も人で出来ていると考えます。

私たちが暮らすこの尾道というまちをより豊かにするためには、多くが会社のリーダー的な立場である、私たち尾道青年会議所の会員自身も豊かな人材であるべきであると考え、私たちに関わる人たちが豊かな人材であれば、まちも自社もより豊かなものになっていくだろうと考えます。

まずは、私たち自身が豊かな人材となれるよう、自己の研鑽を重ねることが大切です。

私たちに関わる人達が一人でも多く豊かな人材となるよう、ともに考え行動してまいりましょう。

事業計画	時期	予算
豊かな人材育成事業の調査・研究・実践	通年	300,000
家族会	4月	100,000
ゆかた会	7月	100,000
例会行事	10月	60,000
会員拡大の実践	通年	
合計		560,000

委員長 小川 直紀

副委員長 大本 誠

テーマ「一生残る、一瞬のために」

何もない楽な1日は、明日の記憶、10年後の記憶にも残りません。しかし、試行錯誤し苦しんで乗り越えた壁の先には、いつまでも消えることのない強い信念が生まれ、生きる道しるべとなります。そうやって先輩方が創り上げてこられたこの尾道のまちを、さらに魅力あるまちへ創造していくために、まずは私たちが目の前の壁を乗り越え成長していくことが大切です。

社会開発委員会は防災事業や祭事への参画など、多くの市民の皆様と交流する機会がございます。尾道青年会議所の活動を、地域に広く伝える絶好の機会であるこの瞬間を逃さないよう、まちや市民の皆様に真摯に、誠実に向き合いニーズを探求し魅力ある事業を展開していきたいと考えます。

私たちは家庭や会社の多くの時間を割き、明るい豊かな社会の実現のため青年会議所活動に取り組んでおります。家庭を支えてくださる人がいて、会社を支えてくださる人がいて、地域で支えてくださる人がいて、応援してくださる人がいて、その後ろ盾で私たちの活動が成り立っています。感謝の気持ちを伝えるのは当然のことながら、私たちが成長し、強く生きる力をつけ、家族や会社、地域に行動で還元していくことが、これまで支えていただいた方々、応援していただいた方々への恩返しになると考えます。

二度と戻ってこない今を一瞬一瞬大切にし、自分にとって、家族にとって、会社にとって、地域にとって、一生残る活動を行って参りましょう。

事業計画	時期	予算
地域と協働する防災教育啓蒙活動の調査・研究・実践	通年	150,000
尾道の伝統文化の調査・研究・実践	通年	
新年宴会	1月	200,000
例会行事	6月	60,000
会員拡大の実践	通年	
合計		410,000

委員長 高橋 洋樹

副委員長 大前 慶倫

テーマ「俺がやらねば誰がやる」

私たちは尾道で生まれ育ち、青年経済人として尾道という土壌の上で経済活動をさせていただいております。

今、自分の置かれた立場や責任を見つめ直した時、子供のころに楽しんだ「祭り」「イベント」「学習」社会に出てからは「ビジネス」「人間関係」など、様々な面で明るい豊かな社会を享受していることに気づかされました。

それらの活動を担い与えてくれた先人達や先輩方の未来へつながる活動から多くを学び、想いを引き継ぎ、次世代を思い描きながら行動することの重要性とそれを担う有難さを改めて実感しております。

今を生きるということは未来を創ることだと思います。その未来は人により引き継ぎ担うものであります。そのためには今を担う我々が次世代の人材を探し、受け継がれる意志を継承していかなければなりません。尾道の発展を願い行動する尾道青年会議所という輪の中に一人でも多くの同志を増やしていくために「俺がやらねば誰がやる」という強い意志を持ち、率先して行動し、共に明るい豊かな社会を目指しましょう。

未来の種を探し、そして種をまき、尾道にしっかりと根を下ろす上質で豊かな人材が必ず花開くことを信じ、一步一步、尾道という土壌を踏みしめていきます。

事業計画	時期	予算
会員拡大の調査・研究・実践	通年	40,000
例会行事	3月	60,000
例会行事	11月	60,000
新入会員ガイダンスの調査・研究・実践	7月	50,000
仮入会員研修の調査・研究・実践	9月	50,000
合計		260,000

委員長 高山 敦好
副委員長 小林 暢玄

テーマ「憧れ」

尾道は、私たちは、私は変わる必要があるのだろうか。

これまで長い歴史の中、尾道というコミュニティーは姿、形を変化させながら持続しています。多くの先人たちが家族や次世代のため明るい夢と希望を持ち、多くの変化に対応し邁進してこられた結果、現在の JC 活動が出来る平穏な時代があります。

例えば昨今の災害において、なんの対策もなく、立ち向かうことなく進んでいくと街から人がいなくなっていく姿が思い浮かびます。

そのような様々な逆境を、尾道青年会議所として夢と希望を抱き共有し、その目標に向かう事が私達には求められるのではないのでしょうか。

私たちは明るい豊かな社会を築くためにも、起点や原動力となる「夢」について必要性を再認識し、「夢見る大切さ」を胸に刻み活動していく必要があります。

そして現代、インターネットインフラにより様々な人との距離が近くなり、多様性を受け入れる、夢が違う人同士がバランスを取り、誰一人取り残さず皆で幸せになるという意思を持つ街や人にこそ人が集まってきます。

グローバル化したこの現代、私たちは様々な「夢」の形を受け入れなければなりません。その様々な夢を私たちが理解し、寄り添った夢や希望を現実に作り上げていく姿こそが「憧れ」の存在になり、その「夢」や「希望」を次代に引き継ぎたいと思ってもらう事で地域は持続していきます。

私たち JAYCEE として、この先未来を担う世代に向けて叶えるべき「夢」や「希望」について行動を起こし、時代の変化に立ち向かい、そして諦める事無く組織力をもって立ち向かっていく、強い JC の姿に「憧れ」の念を抱いていただける活動をしていきましょう。

事業計画	時期	予算
夢見る大切さ促進事業	通年	400,000
2020年代活動指針作成	通年	30,000
例会行事	4月	60,000
夏期講習	8月	300,000
会員拡大の実践	通年	
合計		790,000

委員長 山本 圭介

副委員長 岡田 健吾

テーマ「過去を知ること」

現在の情報発信ツールを活用し、次代に引き継いでいき、互いに共有していくために、責務あるものとしてはどうすればベストなのだろうか、未来の事は誰にもわからない。責務あるものとして、現在の情報発信はどんな事をしているのだろうか。それさえわかっていない。敬愛する先輩の教えに習い、よりよい未来を創り出すためにはまずは過去を調べよう。そこから入ろう。

過去を知らないで、現在を知ることはできない。

私たちは前を見すぎて、過去を蔑ろにしがちです。過去は私達の現在や未来について、たくさんの事を教えてくれます。次代へ継ぐため、よりよい未来を創っていくためには、過去についてのより良い理解が不可欠だと信じています。

次代へ継ぐ責務あるものとして、敬愛する先輩たちが歩んでいた歴史と向かい合い、現在をしっかり踏みしめ、その経験と知恵を拝借した上で、夢への一步を踏み出し、よりよい未来を創り出してまいりましょう。

事業計画	時期	予算
例会・総会の設営及び運営	通年	7,000
全体的な庶務の遂行	通年	70,000
例会行事	5月	60,000
新理事研修	8月	50,000
卒業例会	12月	60,000
活動記録の整理・保存及び広報活動の実践	通年	233,000
会員拡大の実践	通年	
合計		480,000

一般社団法人 尾道青年会議所 事業計画（案） 予算（案）

審議 事項

事務局

専務理事：高橋 建太

(1) 議案名

2020年度 一般社団法人 尾道青年会議所 一般収支予算（案）に関する件

(2) 事業名

2020年度 一般社団法人 尾道青年会議所 一般収支予算（案）

(3) 事業実施に至る背景

前年の決算が終わっていない現在での段階で、次年度での予算を組むことにより尾道青年会議所の資産を明確にしてきた。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）2020年度の予算を決定し、目的達成の為の事業を円滑に行う。

(5) 事業概要

a. 実施日時 2020年 1月 1日（水）～12月31日（木）

b. 場 所

c. 予算総額 〃（詳細は別紙予算書）

d. 参加人員 内部 名 外部 名 計 名

（内部内訳：）

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 専務理事 高橋 建太

h. 実施手順・プログラム

2019年10月15日（火）	2020年度	第3回正副理事長予定者会議	協議
2019年10月25日（金）	2020年度	第3回理事予定者会議	協議
2019年11月 8日（金）	2020年度	第4回正副理事長予定者会議	審議
2019年11月15日（金）	2020年度	第4回理事予定者会議	審議
2019年12月 5日（木）	2019年度	第12回理事会	追認

(6) 事業内容（目的達成のための手法説明）

繰り越し、会費・事業費・固定費等を明確にする。

繰り越しが確定した時に、修正予算として再度上程する。

(7) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

一般社団法人制度の会計基準に沿って行う。

(8) 審議のポイント

一般収支修正予算について

(9) 会議での意見とその対応
意見)
対応)

(10) 他委員会への依頼事項等

(11) 添付資料

2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 一般収支予算（案）

2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 一般収支予算（案）管理費明細

第12回理事会 2019年12月 5日

一般社団法人尾道青年会議所 一般収支予算書内訳表(案)
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位:円)

	実施事業等会計			その他の事業会計				法人会計	合計	
	1	2	小計	1	2	3	4			
	青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業		例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業			
I 事業活動収支の部										
1. 事業活動収入										
(1) 会費収入										
正会員会費収入								12,159,000	12,159,000	
年会費収入								10,080,000	10,080,000	
新入会員入会金								0	0	
特別会員会費収入								504,000	504,000	
OB会員会費収入								1,575,000	1,575,000	
(2) 事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
登録料収入			0					0	0	
懇親会費収入										
広告料収入			0					0	0	
雑収入										
負担金収入			0					0	0	
業務委託料										
(3) 補助金等収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体助成金			0					0	0	
民間助成金										
(4) 寄付金収益										
寄付金収益										
(5) 雑収入	0	0	0	0	0	0	0	121,000	121,000	
雑収入			0					0	120,000	
受取利息収入			0					0	1,000	
(6) 他会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別会計からの繰入金収入			0					0	0	
事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	12,280,000	12,280,000	
2. 事業活動支出										
(1) 事業費支出	150,000	1,000,000	1,150,000	3,013,832	450,000	540,000	342,000	4,345,832	5,495,832	
会場設営費支出	0	0	0	2,273,832	0	0	0	2,273,832	2,273,832	
会場費支出	0	0	0	757,944	0	0	0	757,944	757,944	
食事代支出	0	0	0	1,515,888	0	0	0	1,515,888	1,515,888	
企画演出費支出			0					0	0	
本部関係費支出			0					0	0	
講師関係費支出			0					0	0	
広報費支出			0					0	0	
資料作成費支出			0					0	0	
報告書作成費支出			0					0	0	
懇親会費支出			0					0	0	
渉外費支出			0					0	0	
旅費交通費支出			0					0	0	
参加記念品代支出			0					0	0	
保険料支出			0					0	0	
通信費支出			0					0	0	
販売物品仕入支出			0					0	0	
雑費支出			0					0	0	
給与手当支出										
リース料支出										
光熱水道費支出										
賃借料支出										
事業予備費支出			0					0	0	
(2) 管理費支出								6,502,978	6,502,978	
会議費支出								560,500	560,500	
給与手当支出								1,572,000	1,572,000	
福利厚生費支出								251,520	251,520	
旅費交通費支出								100,000	100,000	
通信・発送費支出								679,200	679,200	
消耗品費支出								525,694	525,694	
会員支給品費								0	0	
リース料支出								298,080	298,080	
印刷製本費支出								776,160	776,160	
光熱水料費支出								208,932	208,932	
賃借料支出								1,056,720	1,056,720	
租税公課支出								33,000	33,000	
渉外費支出								200,000	200,000	
雑支出								241,172	241,172	
(3) 負担金支出								1,339,200	1,339,200	
JCI負担金支出								135,200	135,200	
日本JCI負担金支出								460,000	460,000	
地区協議会負担金支出								80,000	80,000	
ブロック協議会負担金支出								240,000	240,000	
国際協力資金支出								146,000	146,000	
日本JCI出向者負担金支出								0	0	
We Believe購読料支出								240,000	240,000	
その他LOM負担金支出								38,000	38,000	
事業活動支出計	150,000	1,000,000	1,150,000	3,013,832	450,000	540,000	342,000	4,345,832	7,842,178	
事業活動収支差額	-150,000	-1,000,000	-1,150,000	-3,013,832	-450,000	-540,000	-342,000	-4,345,832	4,437,822	-1,058,010
II 投資活動収支の部										
1. 投資活動収入										
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
周年事業積立資産取崩収入	0	0	0					0	0	
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 投資活動支出										
周年事業積立資産支出										
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
III 財務活動収支の部										
1. 財務活動収入										
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 財務活動支出										
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
IV 予備費支出								0	-1,058,010	
当期収支差額									0	
前期繰越収支差額										
次期繰越収支差額									-1,058,010	

一般社団法人尾道青年会議所 正味財産増減計算書 一般収支予算内訳表(案)
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位:円)

	実施事業等会計			その他の事業会計				法人会計	合計
	1 青少年育成 に関する事 業	2 地域活性化 に関する事 業	小計	1 例会	2 会員研修に 関する事業	3 委員の親睦 に関する事 業	4 その他の庶務 に関する事業		
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
①経常収益									
(1)受取会費									
正会員会費収益								12,159,000	12,159,000
正会員会費								10,080,000	10,080,000
新入会員入会金								0	0
特別会員会費収益								504,000	504,000
OB会員会費収益								1,575,000	1,575,000
(2)事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録料収益								0	0
懇親会費収益								0	0
広告料収益								0	0
雑収入								0	0
負担金収益								0	0
業務委託料								0	0
(3)受取補助金等収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体助成金								0	0
民間助成金								0	0
(4)寄付金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付金収益								0	0
(5)雑収益	0	0	0	0	0	0	0	121,000	121,000
雑収益								0	120,000
受取利息収益								0	1,000
(6)他会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別会計からの繰入金収益								0	0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	12,280,000	12,280,000
②経常費用									
(1)事業費	150,000	1,000,000	1,150,000	3,013,832	450,000	540,000	342,000	4,345,832	5,495,832
会場設営費支出	0	0	0	2,273,832	0	0	0	2,273,832	2,273,832
会場費支出	0	0	0	757,944	0	0	0	757,944	757,944
食事代支出	0	0	0	1,515,888	0	0	0	1,515,888	1,515,888
企画演出費支出				0				0	0
本部関係費支出				0				0	0
講師関係費支出				0				0	0
広報費支出				0				0	0
資料作成費支出				0				0	0
報告書作成費支出				0				0	0
懇親会費支出				0				0	0
渉外費支出				0				0	0
旅費交通費支出				0				0	0
参加記念品代支出				0				0	0
保険料支出				0				0	0
通信費支出				0				0	0
販売物品仕入支出				0				0	0
雑費支出				0				0	0
給与手当支出									
リース料支出									
光熱水道費支出									
賃借料支出									
事業予備費支出			0					0	0
(2)管理費								6,502,978	6,502,978
会議費								560,500	560,500
給与手当								1,572,000	1,572,000
福利厚生費								251,520	251,520
旅費交通費								100,000	100,000
通信・発送費								679,200	679,200
消耗品費								525,694	525,694
会員支給品費								0	0
リース料								298,080	298,080
印刷製本費								776,160	776,160
光熱水料費								208,932	208,932
賃借料								1,056,720	1,056,720
租税公課								33,000	33,000
渉外費								200,000	200,000
雑費								241,172	241,172
(3)負担金								1,339,200	1,339,200
JCI負担金								135,200	135,200
日本JC負担金								460,000	460,000
地区協議会負担金								80,000	80,000
ブロック協議会負担金								240,000	240,000
国際協力資金支出								146,000	146,000
日本JC出向者負担金								0	0
We Believe購読料								240,000	240,000
その他LOM負担金								38,000	38,000
(4)管理運営予備費								-1,058,010	-1,058,010
経常費用計	150,000	1,100,000	1,250,000	2,913,832	450,000	540,000	342,000	4,245,832	7,842,178
当期経常増減額	-150,000	-1,100,000	-1,250,000	-2,913,832	-450,000	-540,000	-342,000	-4,245,832	4,437,822
2 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額									-1,058,010
一般正味財産期首残高									0
一般正味財産期末残高									-1,058,010

		実施事業等会計		その他の事業会計				計
		1	2	1	2	3	4	
		青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業	例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業	
真のしあわせを知る経営者育成委員会	真のしあわせを知る経営者育成事業の調査・研究・実践		300,000					720,000
	例会行事			60,000				
	例会行事			160,000				
	しまなみ3JGへの参画							
	クリスマス会 会員拡大の実践					200,000		
豊かな人材育成委員会	豊かな人材育成事業の調査・研究・実践		300,000					560,000
	家族会					100,000		
	ゆかた会			100,000				
	例会行事			60,000				
	会員拡大の実践							
社会開発委員会	地域と協働する防災教育啓蒙活動の調査・研究・実践	150,000						410,000
	尾道の伝統文化の調査・研究・実践							
	新年宴会					200,000		
	例会行事			60,000				
	会員拡大の実践							
会員拡大委員会	会員拡大の調査・研究・実践					40,000		260,000
	例会行事			60,000				
	例会行事			60,000				
	新入会員ガイダンスの調査・研究・実践				50,000			
	仮入会員研修の調査・研究・実践				50,000			
	会員拡大の実践							
夢・希望・憧れ委員会	夢見る大切さ促進事業の調査・研究・実践		400,000					790,000
	根幹から強くあり続けるJGの創造を目指した「2020年代活動指針」の策定						30,000	
	夏期講習					300,000		
	例会行事			60,000				
	会員拡大の実践							
総務広報委員会	例会・総会の設営及び運営						7,000	482,000
	全般的な庶務の遂行						72,000	
	新理事研修				50,000			
	例会行事			60,000				
	卒業例会			60,000				
	活動記録の整理・保存及び広報活動の実践						233,000	
	会員拡大の実践							
合計		150,000	1,000,000	740,000	450,000	540,000	342,000	3,222,000

一般社団法人尾道青年会議所 2020年度 一般収支修正予算(案) 管理費明細

項目	細目	金額	備考	計	前年度 修正予算	対比
会議費	理事会	180,000	15,000×12	560,500	559,400	100.2%
	次年度理事会	140,000	28,000×5			
	合同委員会	180,000	18,000×10			
	次年度室合同委員会	60,500				
給与手当	月額給料	1,512,000	給与900×140×12ヶ月	1,823,520	1,895,904	96.2%
	交通費	60,000	交通費5,000×12ヶ月			
		1,572,000				
福利厚生費	社会保険	251,520	(月給)×16%			
旅費交通費	交通費	100,000	LOMバス etc	100,000	100,000	100.0%
通信・発送費	葉書・年賀状・切手代等	425,600	切手代10,000(年間)、年賀状25,600(400枚) J C ライフ等発送費 390,000	679,200	669,200	101.5%
	電話料・FAX	243,600	N T T 17,500×12ヶ月、プロバダ(新しいサーバ)料33,600(年間)			
	その他	10,000	書留料、宅急便費等			
消耗品費	用紙代	82,944	1,728×4×12ヶ月	525,694	477,472	110.1%
	封筒代	52,250	長3 6,000部、角2 500部			
	トナー代	95,700	インクジェットプリンタ4,600×12回、トナー40,500			
	コピー機カウント料	244,800	20,400×12ヶ月(平均)			
	その他	50,000	点検修理調整費			
会員支給品費		—	新入会員バッジ・ネームプレート等	—	—	—
リース料	リース料	298,080	複合機24,840×12回	298,080	298,080	100.0%
印刷製本費	印刷製本費	776,160	会員手帳284,350円 J C ライフ466,290 拡大パンフレット25,520	776,160	705,888	110.0%
水道光熱費	電気代	147,600	12,300×12ヶ月(平均)	208,932	204,216	102.3%
	ガス代	8,760	730×12ヶ月(固定)			
	水道代	52,572	4,381×12ヶ月(固定)			
賃借料	事務所家賃	873,120	72,760×12ヶ月(固定)	1,056,720	1,037,280	101.9%
	駐車場	183,600	15,300×12ヶ月(1台分)(固定)			
租税公課	法人県民税	21,000	法人市民税申請により納税免除	33,000	22,900	144.1%
	印紙代	12,000	登記用10,000、謄本印鑑証明2,000			
渉外費	渉外費	200,000		200,000	200,000	100.0%
雑費	清掃、消検費	51,000	消防設備点検費、事務局内清掃費	241,172	207,628	116.2%
	警備費	35,040	2,920×12ヶ月(固定)			
	清掃費(共用部分)	105,132	8,761×12ヶ月(固定)			
	その他	50,000				
合 計				6,502,978	6,377,968	102.0%

一般社団法人 尾道青年会議所 事業計画（案）

審議 事項

事務局

専務理事：高橋 建太

(1) 議案名

2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 特別会員への入会（案）に関する件

(2) 事業名

2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 特別会員への入会

(3) 事業実施に至る背景

例年40歳で満期退会をされても、特別会員としてご指導・ご鞭撻を頂いております。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）2019年度一般社団法人尾道青年会議所を満期退会される、池田憲泰君 太田雄介君 勝島達君 新宅正章君 徳永剛志君 山本篤司君 宮地晃二郎君の以上7名の方々に定款第2章7条（2）及び運営規定第2章11条（1）により特別会員に入会して頂き、今後も一般社団法人尾道青年会議所へのご支援を頂く事を目的とします。

(5) 事業概要

a. 実施日時 2020年 1月 1日（水）

b. 場 所

c. 予算総額

d. 参加人員 内部 名 外部 名 計 名

（内部内訳：）

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 専務理事 高橋 建太

h. 実施手順・プログラム

2019年11月 8日（金）	2020年度	第4回正副理事長予定者会議	審議
2019年11月15日（金）	2020年度	第4回理事予定者会議	審議
2019年12月 5日（木）	2019年度	第12回理事会	追認
2020年 1月 1日（水）			入会

(6) 事業内容（目的達成のための手法説明）

各卒業予定者の意思を確認し、入会頂く。

(7) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

特別会員の皆様は、例年積極的に当会議所の事業に参加頂き現役会員にご指導を頂いております。

- (8) 審議のポイント
特別会員入会承認
- (9) 会議での意見とその対応
意見)
対応)
- (10) 他委員会への依頼事項等
- (11) 添付資料

第12回理事会 2019年12月 5日

一般社団法人 尾道青年会議所 事業計画（案）

審議 事項

委員会名 総務広報委員会

委員長名 山本 圭介

(1) 議案名

例会・総会の設営及び運営 事業計画（案）に関する件

(2) 事業名

1月例会開始時間の変更

(3) 事業実施に至る背景

新年宴会の開催にあわせて、例会の開始時間を変更する必要がある。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内） 早期に案内文書を発送することにより、通常と異なる例会開始時間をメンバーに周知する。

(5) 事業概要

a. 実施日時 2020年1月16日（木） 18:00～18:45

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額

d. 参加人員 内部73名 外部 名 計 名

（内部内訳：）

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 総務広報委員会 委員長 山本 圭介

h. 実施手順・プログラム

2019年11月 8日（金） 2020年度 第4回正副理事長予定者会議 審議

2019年11月15日（金） 2020年度 第4回理事予定者会議 審議

2019年12月 5日（木） 2019年度 第12回理事会 追認

2020年 1月16日（木） 1月例会 実施

(6) 事業内容（目的達成のための手法説明）

新年宴会実施のため、例会開始時間を18:00に変更し、新年宴会の案内とまとめて早期に案内文書を発送する。

(7) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

近年、新年宴会及び例会セレモニーの案内を一文書にまとめて発信したことにより、出席率の向上が期待できると考える。

(8) 審議のポイント

例会開始時間について

(9) 会議での意見とその対応
意見)
対応)

(10) 他委員会への依頼事項等

例会開始時間に変更となりますので、メンバーへの周知をお願いします。

(11) 添付資料

1月例会次第(案)

第12回理事会 2019年12月 5日

1月例会次第（案）

日時：2020年1月16日(木)

18:00～18:45

場所：尾道国際ホテル瑞宝の間

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 開会 | 18:00 |
| 2. 点鐘 | |
| 3. 国歌並びにJCソング斉唱 | |
| 4. JCIクリード唱和 | |
| 5. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 | |
| 6. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 | |
| 7. 紹介事項 | |
| 8. 配布資料の確認 | |
| 9. バッジ授与式 | 18:10 |
| 10. 理事長年頭挨拶 | |
| 11. 卒業生入場 | 18:20 |
| 12. 各種表彰 | |
| ① 2019年度理事長表彰 | |
| ② 2019年度満期退会者表彰 | |
| ③ 2019年度出向者表彰 | |
| ④ 2019年度皆出席者表彰 | |
| 13. 卒業記念品贈呈式 | 18:35 |
| 14. 卒業生退場 | |
| 15. 報告・依頼事項 | |
| 16. 連絡事項 | |
| 17. 事務局連絡 | |
| 18. 直前理事長総評 | |
| 19. 閉会 | 18:45 |
| 20. 点鐘 | |

一般社団法人 尾道青年会議所 事業計画（案）

審議 事項

委員会名：社会開発委員会

委員長名：小川 直紀

(1) 議案名

新年宴会 事業計画（案）に関する件

(2) 事業名

新年宴会 テーマ「飛躍～古くして、新しきもの～」

(3) 事業実施に至る背景

例年、OB会員・特別会員への周知とスケジュール調整のため早期に案内文書の発送をしています。

(4) 事業目的（趣旨）

a. （対外）

b. （対内）日時・場所を早期に決定し、案内文書を発送することによりOB会員・特別会員が出席しやすくすることを目的とします。

(5) 事業概要

a. 実施日時 2020年 1月16日（木） 19:00～21:00

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額

d. 参加人員 内部 名 外部 78名 計 78名

（外部内訳：特別会員28名 OB会員50名）

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 社会開発委員会 委員長 小川 直紀

h. 実施手順・プログラム

2019年11月 8日（金） 2020年度 第4回正副理事長予定者会議 審議

2019年11月15日（金） 2020年度 第4回理事予定者会議 審議

2019年12月 5日（木） 2019年度 第12回理事会 追認

2019年12月 6日（金） 案内文書送付

(6) 事業内容（目的達成のための手法説明）

年内中に案内を発送して、日時・場所の周知を行います。

(7) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

前年と同様に新年宴会の案内を年内に発送することで、多くのOB会員・特別会員の皆様に出席していただけるものと考えます。

(8) 審議のポイント

日時・場所について

- (9) 会議での意見とその対応
意見)
対応)
- (10) 他委員会への依頼事項等
- (11) 添付資料
新年宴会案内文（案）

第12回理事会 2019年12月 5日

尾 青 会 発 号
2019年12月 6日

特 別 会 員 各 位

一般社団法人 尾道青年会議所
2020年度 理事長予定者 加 度 亮 平
副理事長予定者 政 成 啓 行
委員 長予定者 小 川 直 紀

2020年 新年宴会のご案内

拝啓 師走の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、2020年度一般社団法人尾道青年会議所は加度理事長のテーマ「素にして上質」のもとスタート致します。

この度の新年宴会は「飛躍～古くして、新しきもの～」をテーマに掲げ、新たに始まる2020年度体制をご披露致します。また、OB会員・特別会員と現役会員が親睦と交流をより一層深め、尾道青年会議所が今後益々発展していくことを願い開催いたします。

つきましては、ご多忙とは存じますが万障お繰り合わせの上、何卒出席賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時 2020年 1月16日 (木) 18:30受付
19:00～21:00
場 所 尾道国際ホテル 2F
例 会 テーマ「飛躍～古くして、新しきもの～」
登 録 料 ￥6,000- (予定)
返 信 締 切 2019年12月19日 (木) 必着
返 信 先 一般社団法人 尾道青年会議所
FAX 0848-20-1112
返 信 方 法 FAXで事務局まで返信ください。

以上

.....き.....り.....と.....り.....せ.....ん.....

2020年新年宴会 (どちらかに○をしてください)

ご出席 ・ ご欠席

お名前: _____

尾 青 会 発 号
2019年12月 6日

OB 会 員 各 位

一般社団法人 尾道青年会議所
2020年度 理事長予定者 加 度 亮 平
副理事長予定者 政 成 啓 行
委員 長予定者 小 川 直 紀

2020年 新年宴会のご案内

拝啓 師走の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、2020年度一般社団法人尾道青年会議所は加度理事長のテーマ「素にして上質」のもとスタート致します。

この度の新年宴会は「飛躍～古くして、新しきもの～」をテーマに掲げ、新たに始まる2020年度体制をご披露致します。また、OB会員・特別会員と現役会員が親睦と交流をより一層深め、尾道青年会議所が今後益々発展していくことを願い開催いたします。

つきましては、ご多忙とは存じますが万障お繰り合わせの上、何卒出席賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時 2020年 1月16日 (木) 18:30受付
19:00～21:00
場 所 尾道国際ホテル 2F
例 会 テーマ「飛躍～古くして、新しきもの～」
登 録 料 ￥8,000- (予定)
返 信 締 切 2019年12月19日 (木) 必着
返 信 先 一般社団法人 尾道青年会議所
FAX 0848-20-1112
返 信 方 法 FAXで事務局まで返信ください。

以上

.....き.....り.....と.....り.....せ.....ん.....

2020年新年宴会 (どちらかに○をしてください)

ご出席 ・ ご欠席

お名前: _____